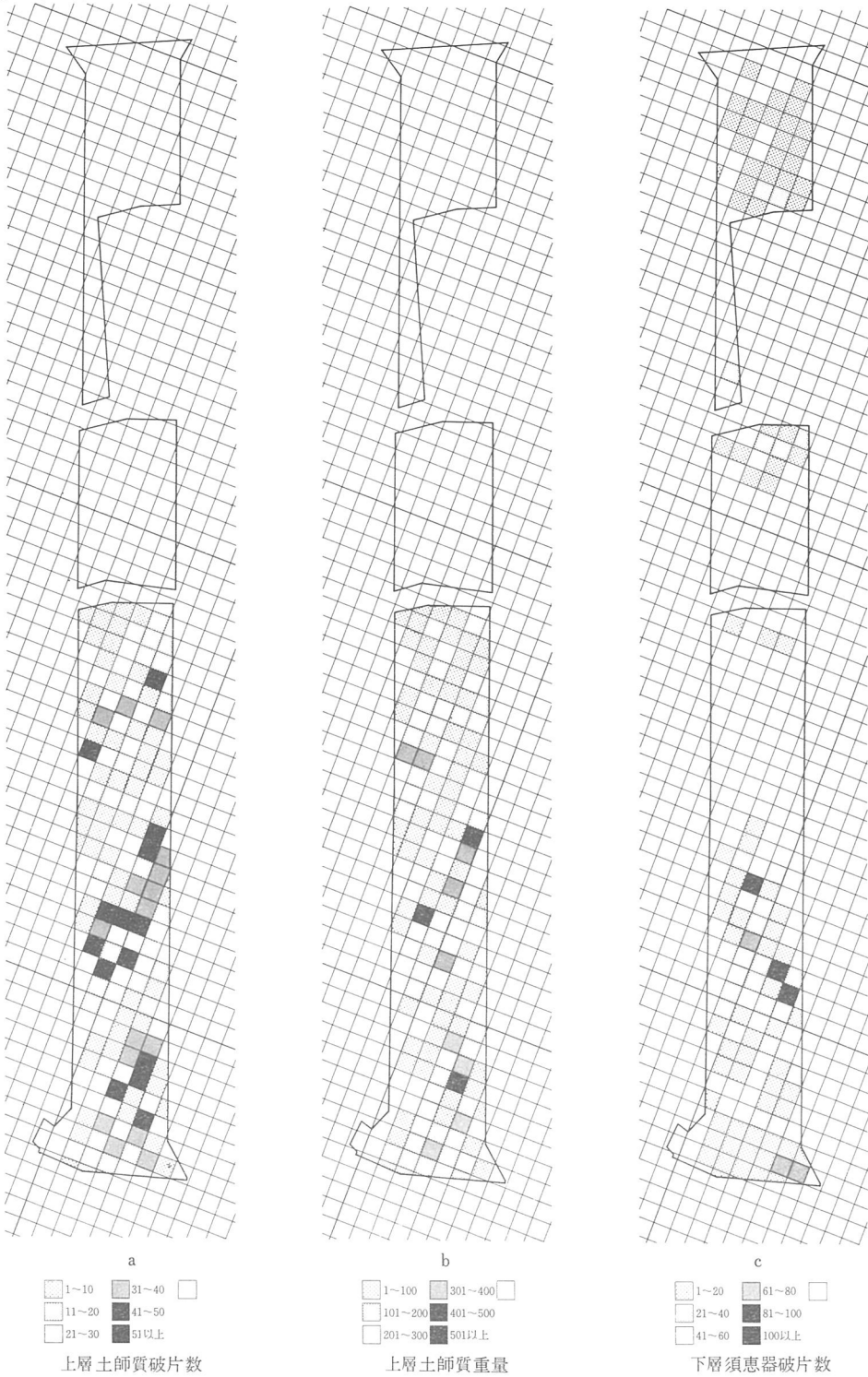
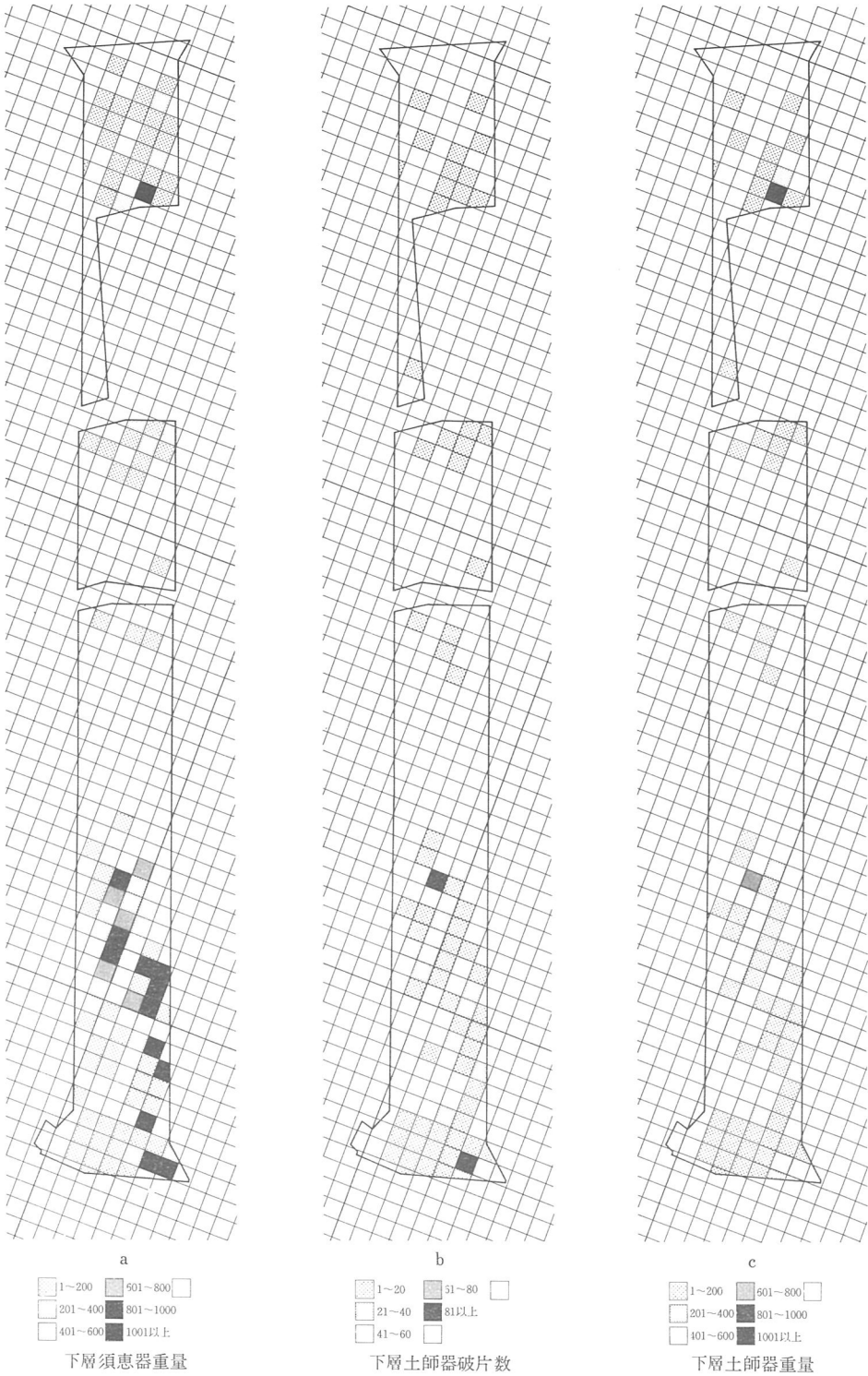


第IV章 調査成果

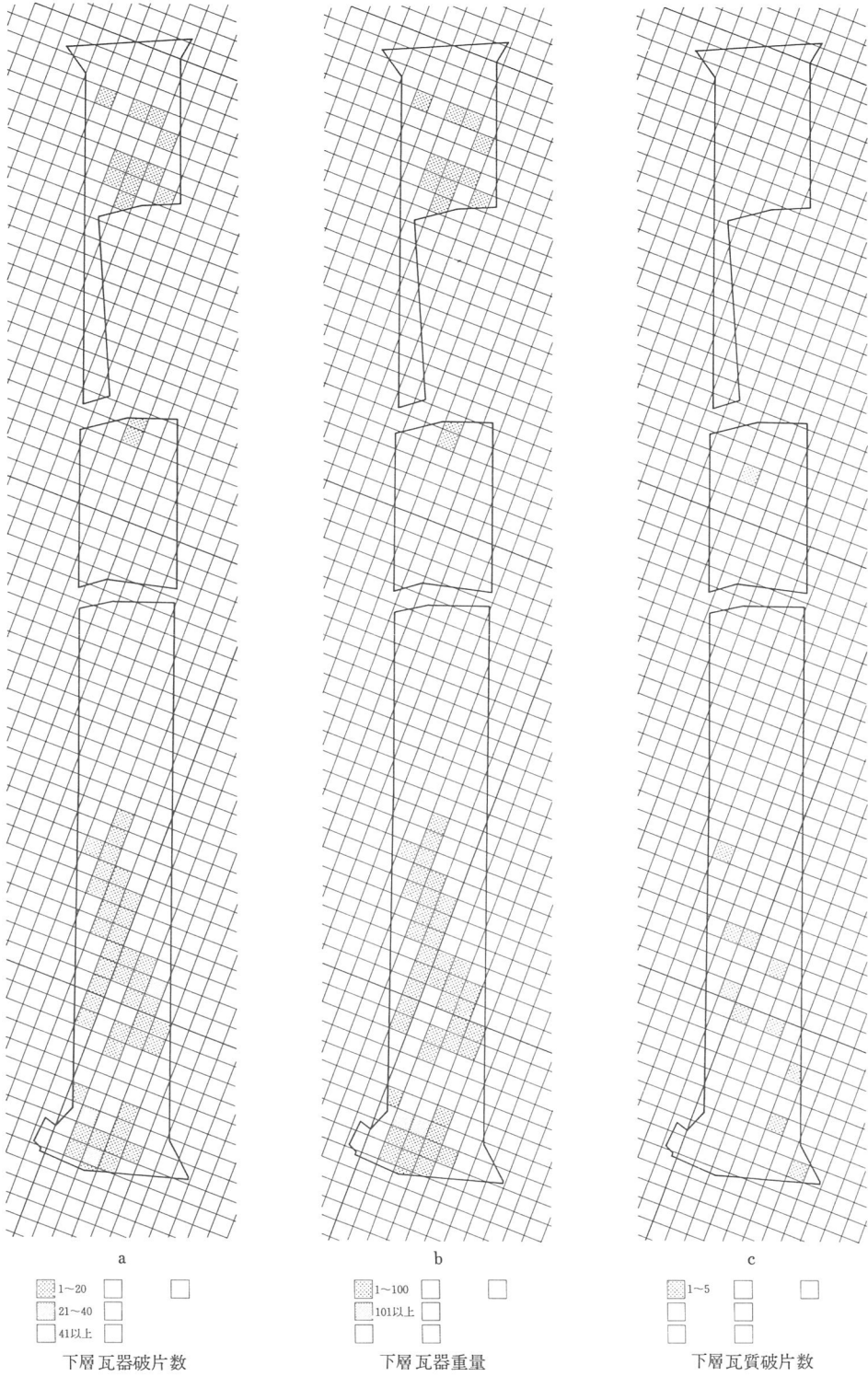


第177図 包含層出土遺物数量分布図5

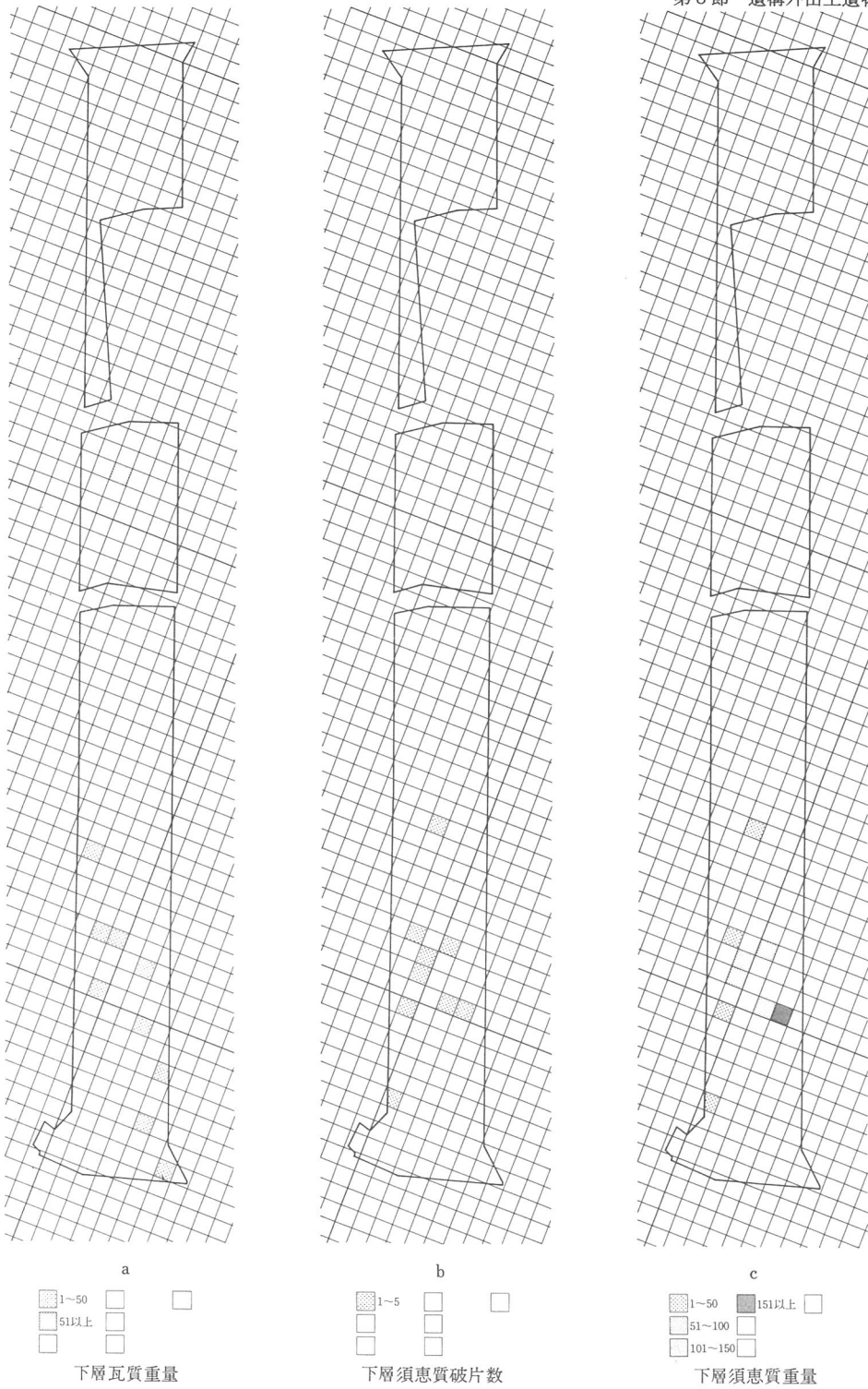


第178図 包含層出土遺物数量分布図6

第IV章 調査成果

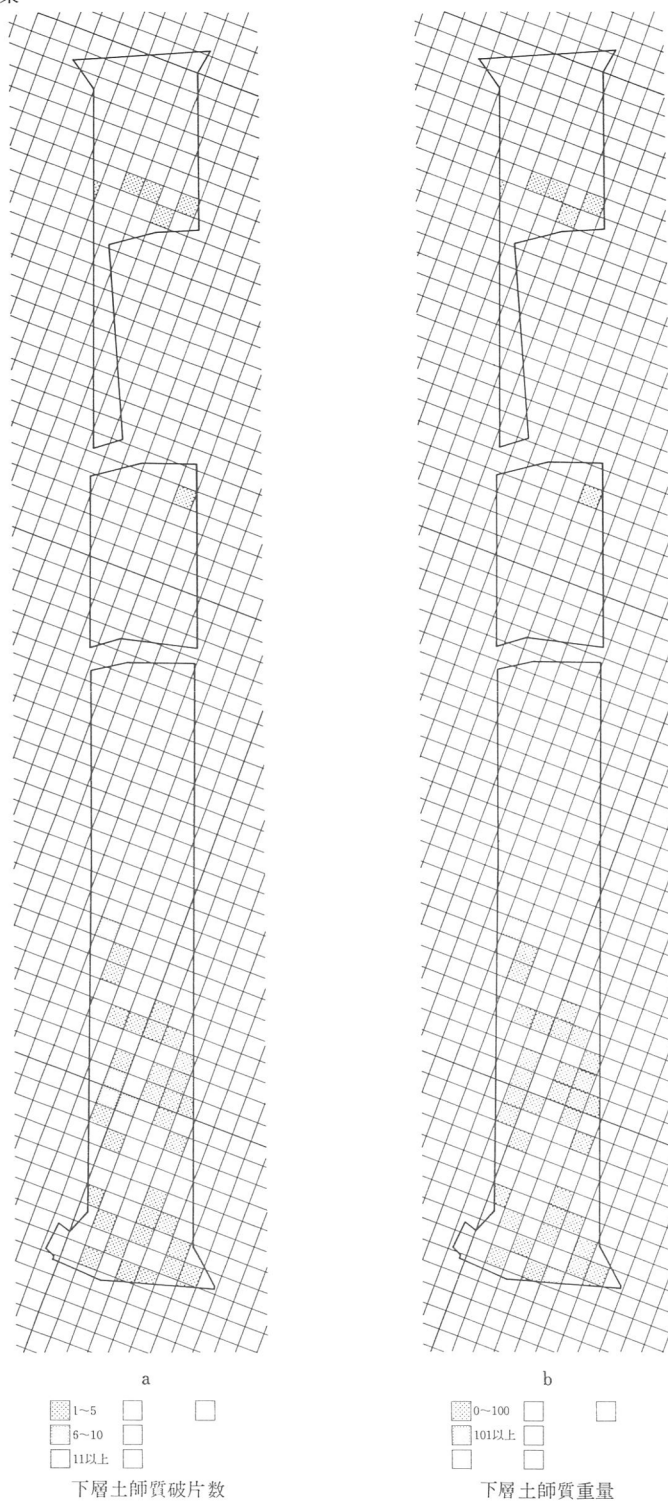


第179図 包含層出土遺物数量分布図7



第180図 包含層出土遺物数量分布図8

第IV章 調査成果



第181図 包含層出土遺物数量分布図9

調査区の西側に存在すると思われる中世の遺構の影響によるものと理解しておく。

包含層出土遺物の分布と遺構との関係 包含層の形成過程には様々なケースが存在するが、水込遺跡のように遺構を単純に覆う形で包含層が存在する場合、包含層からの出土量による遺物分布図は、その下に存在する遺構の密度と密接な関係を有していることが分かる。また、下層包含層の検討で明らかのように、時には遺構の時期決定を行う際の一要素となる可能性もある。今回は作成できなかったが、時期別の遺物出土量の分布図を作成すれば、柱掘方出土遺物が皆無か僅少な掘立柱建物の時期決定の際の参考になる場合もありえよう。例えば、B地区の北半部の包含層から出土した須恵器の大半は6世紀末～7世紀前半の所産であり、それ以降のものをほとんど含んでいない。したがって、この地区に存在する掘立柱建物の時期もこの時期にきわめて近いものと考えられるわけだが、実際、掘立柱建物の柱掘方出土遺物とも矛盾しなかった。同様に、A地区北半部の包含層から出土した須恵器の多くは8世紀～9世紀初頭の所産であった。これは、この付近に存在する掘立柱建物および3034-O S・5041-O Xの時期と矛盾しない。このように、包含層の遺物も操作の仕方によっては、掘立柱建物等の時期を推定する際の根拠の一つと成り得る場合が存在する。しかし、これはあくまでも遺構の時期の上限を示しているに過ぎないということはいうまでもない。

上記のことは、実は極めて当たり前のことなのではあるが、逆にそれが故に軽視されてきた嫌いがある。一般に、包含層出土の全遺物を数量化することは労多くして実りが少ないと考えられがちであるが、前述のような視点に立てば労を惜しむ必要も無くなるのではあるまいか。

## 第9節 製塩土器

水込遺跡の調査において、大量の製塩土器破片が出土した。そこで、一節を設けて報告することにした。

今回の調査で出土した製塩土器破片の総計は、4268+ $\alpha$ 点（口縁部破片774+ $\alpha$ 点・体部破片3494+ $\alpha$ 点）・23.382kgである。第72表にその内訳を示した。重量で比較した場合、遺構出土遺物が全出土遺物の約85.6%を占めている。遺構出土遺物の中でも、3034-O S・5041-O Xからの出土量が圧倒的に多く、両者の合計は遺構出土量の約87.9%を占めている。また、2022-O Oの出土数も注目される。そこで、まず、これらの遺構における出土状況について触れてみよう。

### 製塩土器の出土状況の検討

2022-O O 第77図の遺物出土状態図でも明らかなように、製塩土器は第78図に示した須恵器坏身・坏蓋等とともに、土坑の底面より出土している。しかしながら、器形を復元できるものは1点もなく、いずれも破片となって出土した。

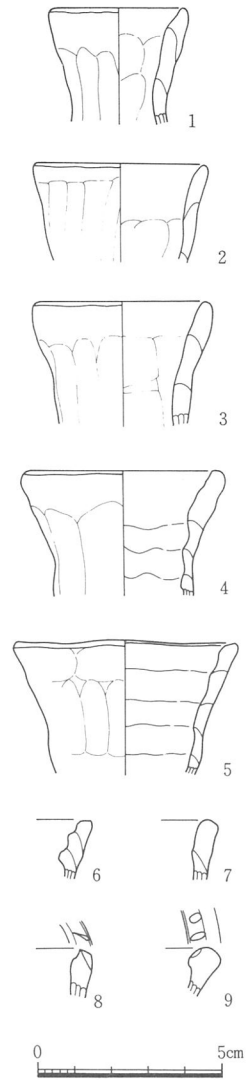
3034-O S 第72表で明らかなように、遺物はB11 J U・J V・K U・L Tに集中する。その中でも特にB11 K Uの出土量が多い。第4節で述べたように、溝は5041-O Xと重複している。このため、調査の初期の段階では両者を一体のものと考え、不明遺構（旧No.01-O X）として認識して遺物の取り上げを行っていた。調査が進行する過程で3034-O Sの存在が明らかになり、その時点から遺物の取り上げを分離して行うこととなった。しかし、溝を覆っていた5041-O Xの覆土の堆積は一様ではなく、両者の帰属が不鮮明のまま取り上げられた遺物も少なくない。したがって、3034-O S出土として取り上げられた遺物が確実にこの遺構に伴うかどうかは断定できない。そこで、3034-O S出土のものはこの溝の範囲内から出土した遺物として認識することに留めておきたい。

5041-O X 3034-O Sと同様に、遺物はB11 J U・J V・K U・L Tに集中し、第6節に掲げた遺物と混在する形で出土した。前述のように、遺物の集中する範囲は3034-O Sと重複する。しかしながら、3034-O Sと異なる点は、これらの遺物が始めから5041-O Xに伴うものとして取り上げられていることである。B11 K S・K Tの出土頻度がやや高いことなどをも考慮するならば、3033-O S・3034-O Sが埋没する過程で形成された凹地の中に製塩土器が集中的に堆積したと理解することが最も自然である。

以上のように、三者の出土状態を検討するならば、3034-O S・5041-O X出土の製塩土器は、3033-O S・3034-O Sが機能を失った後の所産と考えられる。そして、その時期をもう少し限定するならば、2022-O O出土の須恵器坏身・坏蓋がその時期を示しているものと思われる。

製塩土器の観察

製塩土器はその性格上モロイものが多く、いずれも小破片または細片となって出土した。したがって、全形を窺い知れるものは1点もない。第182図は口縁部の遺存状態が比較的良好なもの、もしくは口縁部の形態が特徴的なものを選んで図示したものである。2・3は上層包含層から出土し、それ以外は5041-O Xより出土した。いずれも、8世紀代の製塩土器に特徴的な砲弾形の形態を呈するものと思われる。成形は粘土紐の巻き上げか輪積みで、胎土に粗い砂粒を多量に含む。褐色または浅黄橙色を呈し、過度の2次焼成を受けたものの中には灰褐色や灰白色に変色したものもある。外面はヘラケズリ調整で、口縁部はヨコナデされる。内面は未調整で粘土紐の痕跡が顕著に認められるものと、ヘラケズリまたはナデ調整が施されるものがある。口縁部は外傾または外反し、口唇部を丸くおさめるもの(1~4・9)と面取りするもの(5~8)とがある。口唇部には稀に刻目を施すものがあり、幅が狭く深いもの(8)と丸く浅いもの(9)の二者が認められる。また、口縁部内面に段を有するものも稀に存在する。この段は粘土紐の突出部を強く撫でることによって成形されており、意図的に作出されたものと思われる。ここでは、これを「有段口縁」と仮称する。



第182図 5041-O X・上層包含層出土製塩土器実測図 (S=1/2)

製塩土器の数量処理

製塩土器は容量さえ分かれば、1個体当たりの1回の生産量が容易に概算できる。しかし、2次焼成を受けるという性格上完存するものは稀である。したがって、塩の生産量を算出するためには、まず出土した破片から個体数を割り出す必要がある。幸い製塩土器に



第IV章 調査成果

第72表 製塩土器計量表

遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要	遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要
			口	体						口	体		
2022-OO	B11HU	210	23	187	1000		5041-OX	B11JS	4	3	1	110	
2023-OO	B11KT	10	2	8	74		"	B11JT	87	15	72	358	
OO 合計		220	25	195	1074		"	B11JU	149	43	106	1048	
3030-OS	B11HS	6	1	5	44		"	B11JV	392	44	348	1117	
3032-OS	B11GT	2	1	1	8		"	B11JW	25	1	24	64	
"	B11ES	1	—	1	5		"	B11KS	142	27	115	796	
小 計		3	1	2	13		"	B11KT	209	27	182	766	
3033-OS	B11JS				15		"	B11KU	412	98	314	2450	
"	B11MT				15		"	B11KV	91	14	77	394	
"	B11TY				6		"	B11LS	3	1	2	19	
"	B17HF	1	1	—	15		"	B11LT	253	22	231	1648	
"	B17IR	1	1	—	13		小 計		2107	326	1781	10320	
"	B17IF				5		5050-OX	B11ER	10	5	5	78	
"	"				3		"	B11GS	70	11	59	362	
小 計		2+α	2+α	α	72		"	B11FS	5	1	4	49	
3034-OS	B11IW	18	1	17	141		小 計		85	17	68	489	
"	B11JU	146	27	119	807		5051-OX	B11GT	10	2	8	27	
"	B11JV	212	52	160	1376		5056-OX	B11HS	2	1	1	12	
"	B11JW	28	13	15	223		5058-OX	B11HU	1	1	—	11	
"	B11KT	17	7	10	136		5060-OX	"	5	4	1	54	
"	B11KU	367	136	231	2429		5068-OX	B11IT	6	1	5	49	
"	B11KV	65	15	50	271		5071-OX	B11IU	1	—	1	6	
"	B11LS	21	7	14	155		5101-OX	B11HF	1	1	—	13	
"	B11LT	364	27	337	1667		OX 合計		2220	353	1867	10987	
"	B11LV	7	3	4	80		6151-OP	B11FU	2	1	1	14	
小 計		1245	288	957	7285		6172-OP	"	1	—	1	2	
3040-OS	B11DX	1	—	1	3		6174-OP	B11FT	1	—	1	5	
3052-OS	B11FT	24	10	14	178		6179-OP	B11GU	1	—	1	6	
OS 合計		1281+α	302+α	979+α	7595		6191-OP	B11GS	5	2	3	31	
4001-OR	B11WY	1	—	1	2		6237-OP	B12QA	1	—	1	5	
"	B11VX	1	—	1	4		6633-OP	B06VO	2	1	1	8	
小 計		2	—	2	6		6890-OP	B11ES	1	1	—	4	
4002-OR	B11WX	1	1	—	12		6931-OP	B11FR	10	—	10	35	
OR 合計		3	1	2	18		6942-OP	B11FT	1	—	1	3	
5033-OX	B06YO	2	—	2	6		6951-OP	"	8	1	7	39	
5041-OX	B11FS	5	1	4	39		6954-OP	"	7	1	6	39	
"	B11GR	1	—	1	8		6956-OP	B11FU	1	—	1	2	
"	B11GS	3	—	3	18		6966-OP	B11FV	1	—	1	14	
"	B11GT	25	2	23	138		7003-OP	B11GU	1	—	1	4	
"	B11HR	2	2	—	32		7004-OP	"	1	—	1	10	
"	B11HS	3	—	3	45		7007-OP	"	1	—	1	6	
"	B11HT	19	4	15	146		7009-OP	"	1	—	1	4	
"	B11HU	45	4	41	255		7022-OP	B11HR	1	1	—	4	
"	B11IS	3	—	3	18		7025-OP	"	1	1	—	5	
"	B11IT	55	8	47	350		7060-OP	B11IS	2	—	2	8	
"	B11IU	44	2	42	113		7062-OP	B11IT	2	—	2	5	
"	B11IV	135	8	127	388		7091-OP	B11JT	1	—	1	6	

遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要	遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要
			口	体						口	体		
7115-OP	B11JU	24	4	20	84		上層	B11PY	7	1	6	78	
7314-OP	B11HR	1	—	1	2		下層	B11QW	3	—	3	10	
O P 合計		78	13	65	345		上層	B11QX	6	2	4	49	
遺構 総計		3802+ $\alpha$	694+ $\alpha$	3108+ $\alpha$	20019		"	B11QY	4	1	3	64	
下層	B11UP	1	—	1	8		"	B11RU	1	—	1	7	
"	B11UQ	1	—	1	8		"	B11RV	1	—	1	3	
上層	B11ER	6	2	4	55		"	B11RW	5	1	4	32	
"	B11ES	7	2	5	61		"	B11RX	3	—	3	14	
"	B11ET	1	—	1	3		上・下層	B11RY	2	—	2	34	
"	B11EU	2	1	1	9		下層	B11SX	7	1	6	41	
"	B11FR	7	2	5	58		上・下層	B11SY	9	2	7	82	
"	B11FS	5	3	2	77		下層	B11TX	6	1	5	29	
下層	B11FT	1	—	1	1		上・下層	B11TY	5	1	4	30	
上層	B11FV	4	3	1	45		上層	B11UX	6	1	5	29	
"	B11GR	4	1	3	39		下層	B11UY	2	2	—	20	
"	B11GS	5	1	4	40		上層	B11VY	3	—	3	20	
"	B11GT	4	3	1	38		下層	B11WY	1	—	1	6	
"	B11GU	3+ $\alpha$	?	3+ $\alpha$	50		上・下層	B11WY	7	—	7	20	
"	B11HS	5	—	5	56		下層	B11XY	1	—	1	9	
"	B11HT	2	—	2	5		上層	B11YY	2	1	1	6	
"	B11HU	1	1	—	4		"	B12QA	2	—	2	11	
"	B11HV	1	—	1	6		"	B12RA	2	—	2	6	
"	B11IS	6	—	6	44		"	B12RB	1	—	1	4	
"	B11IT	4	1	3	37		"	B12SA	3	1	2	25	
"	B11IU	21	3	18	157		"	B12TA	1	—	1	8	
"	B11IV	6	2	4	56		"	B12UA	1	—	1	6	
"	B11IW	2	—	2	17		"	B12VA	1	1	—	21	
"	B11JS	24	2	22	93		上・下層	B12WB	4	1	3	39	
"	B11JT	5	—	5	27		上層	B12WC	1	—	1	4	
"	B11JU	19	4	15	117		上・下層	B12XA	38	5	33	153	
"	B11JV	5	—	5	36		上層	B12XB	2	—	2	11	
"	B11JW	2	1	1	23		上・下層	B12XC	3	—	3	36	
上・下層	B11KT	35	4	31	296		下層	B12YC	1	—	1	4	
上層	B11KU	6	1	5	55		"	B17BC	1	—	1	14	
"	B11KV	5	1	4	52		上・下層	B17BD	5	—	5	14	
"	B11LS	2	—	2	25		上層	B17CC	1	—	1	5	
"	B11LT	3	—	3	10		"	B17CD	1	—	1	1	
"	B11LU	2	—	2	9		下層	B17CE	2	—	2	5	
"	B11LV	2	—	2	10		上層	B17DE	1	—	1	1	
"	B11LX	3	—	3	20		"	B17EE	2	1	1	20	
"	B11MT	9	1	8	102		"	B17EF	1	—	1	6	
"	B11MU	2	—	2	20		"	B17FB	1	—	1	14	
"	B11OU	2	1	1	35		下層	B17FE	1	1	—	10	
"	B11OV	1	—	1	4		上層	B17GC	1	—	1	6	
"	B11OY	1	1	—	13		上・下層	B17GD	3	—	3	13	
"	B11PU	1	—	1	1		下層	B17GE	1	—	1	4	
"	B11PX	2	1	1	11		"	B17HF	2	—	2	6	

第IV章 調査成果

遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要	遺構・層	地 区	総破片数	部位別数		総重量 (g)	摘 要
			口	体						口	体		
下 層	B17HG	1	1	—	4		不 明	B11 I S	3	—	3	13	
上 層	B17 I B	1	—	1	7		〃	B11 J S	4	1	3	38	
上・下層	B17 I C	2	1	1	17		〃	B11 J U	4	2	2	23	
上 層	B17 I D	2	—	2	19		〃	B11 P Y	2	—	2	17	
〃	B17 I F	2	—	2	5		〃	B17 A C	1	—	1	7	
〃	B17 I G	1	—	1	5		〃	東側溝	2	1	1	33	
〃	B17 J B	1	—	1	2		〃	西側溝	7	2	5	49	
〃	B17 J C	2	—	2	5		〃	南側溝	1	1	—	10	
〃	不明	6	1	5	28		〃	不 明	30	5	25	218	
包含層 総計		412	68	344	2955		遺構外・層不明総計		54	12	42	408	

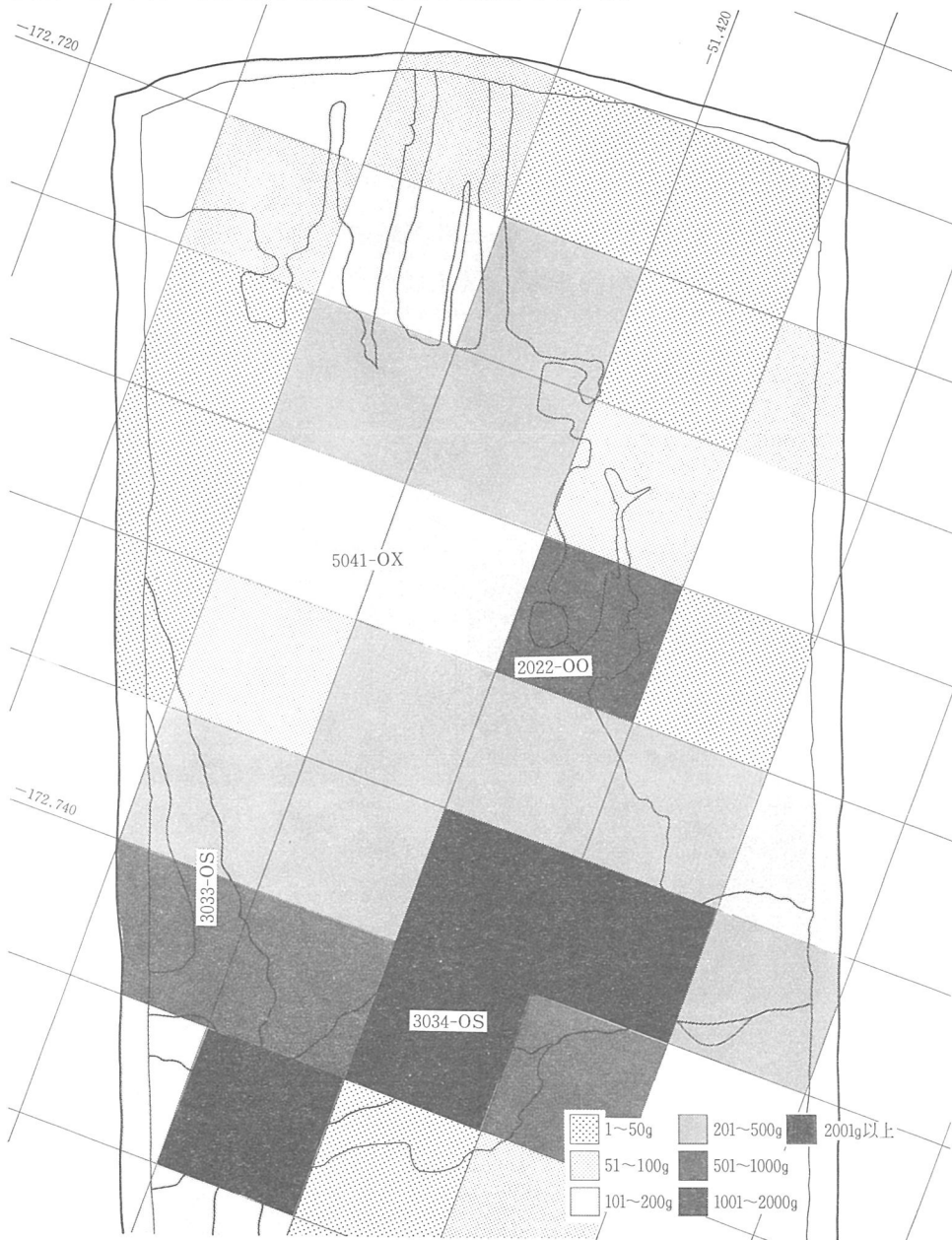
は個体差が少ないため、以下の操作を行うことによって個体数を復元することがある程度可能と思われる。

すでに、隣接する二俣池北遺跡の報告書において試みられているように、個体数を復元するためには出土破片の重量に注目する必要がある。一つの土器が複数の破片に割れた場合、破碎の仕方によって破片数は異なるが、その持つ重量には微小破片の損失を除いてもそれほど大きな変化はない。仮によく似た形態の5個の土器が破碎された場合、1個の重量が判明すれば、破片を接合しなくとも全遺物の総重量を1個の重量で除すれば簡単に個体数を求めることができる。この場合、破片数のみを数えても無意味なことはいうまでもない。ただし、これは全破片が存在するという条件が充たされたときのみ成立する。しかし、実際にはそのようなケースは稀で、破片が失われている可能性が高いことを前提として個体数を算出しなければならない。したがって、算出された個体数はあくまでも最少個体数を示しているにすぎない。そこで、これを補正するために口縁部の接合作業を行い、認識できる口縁部の最大個体数を数える。この口縁部の最大個体数と重量比による最少個体数とが一致することは稀であるが、求める個体数の近似値は両者の幅の中におさまる可能性は大きい。

しかし、机上で上記のような推論が可能であっても、一個体の重量をいかにして求めるかということが課題となる。仮に1個でも完形に復元できる個体が存在すれば、その重量を基準にして個体数を概算することも可能であるが、重量にも個体差が存在するため一筋縄では行かない。二俣池北遺跡の報告書の中で指摘されているように、複数の完形品が存在し、それらの平均重量が算出されることが最も望ましい方法と考えられる。

今回、第72表に口縁部破片数および総重量を掲載したことは上記のような考えに立脚し

た上でのことである。ただし、残念ながら本遺跡においては完形に復元できる個体が1点も存在しなかったため、基本的な数値を掲載し、個体数の復元は今後の課題としておきたい。今後、類似する形態の製塩土器が本遺跡の未発掘部分または周辺の遺跡において検出された時に、第72表が効力を発揮するものと期待している。



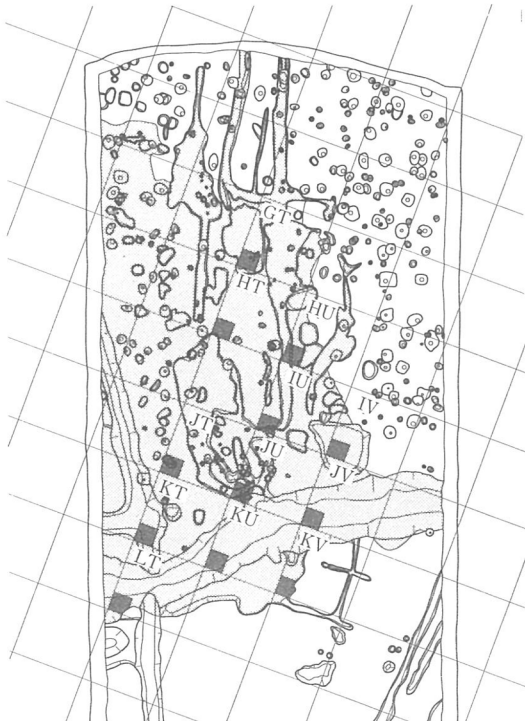
第183図 3034-OS・5041-OX周辺出土製塩土器グリット別重量分布図 (1/200)

## 第10節 植物遺存体

### 植物遺存体検出の経緯

A地区北半部の掘立柱建物が密集する地区の下層包含層を除去したところ、炭化物を多量に含んだ褐色土がかなり広範囲にわたって遺構面を薄く覆っていることが判明した(5041-OX)。試みにこの土を移植ごとに2杯程採取し、フローテーション(水選別法)を行ったところ炭化米1粒が検出された。そこで、5041-OXの覆土内にはなお多くの炭化種子が含まれている可能性が高いと判断し、各グリット毎に1㎡のサブグリットを設定し、土壤のサンプリングを実施した。第184図の淡い網掛けの部分5041-OXの範囲で、濃い網掛けの部分サブグリットの位置を示している。

### フローテーションの結果



第184図 5041-OX土壤サンプリング・グリット配置図(S=1/400)

5041-OX覆土の土壤サンプルは、土嚢袋にして150袋以上の量があった。フローテーションは5mm・3mm・1mmメッシュの篩を用いて行ったが、洗浄から選別までの作業に約4カ月を費やした。

一連の作業の結果、第73表に掲載した植物遺存体が検出された。表に掲載した以外にイネ科の種子と判断されるもの1点(B11KV)、イネ科の雑草と判断されるもの多数(B11JV)が検出されている。

### 植物遺存体の品種同定

選別された植物遺存体の大半は炭化しており、種子であるこ

第73表 5041-OX 出土植物遺存体一覧表

種 類	学 名	検出地区 (B11) と数量												摘 要	
		GT	HT	HU	IU	IV	JT	JU	JV	KT	KU	KV	LT		合計
イネ	<i>Oriza sativa</i> Linn.	41	11	4	6	34	5	10	20	5	44	8	12	200	図版 121
イネ?	" ?								1				1	2	
オオムギ	<i>Hordeum vulgave</i>				3	5	1	4	4		3	3	5	28	図版 122
コムギ	<i>Triticum</i>														
ムギ?					5	1			1					7	
モモ	<i>Prunus Persica</i> Batsch.						1	1				1		3	核 1、核片 2
スモモ?	<i>Prunus salicina</i> Lindley.			1										1	核 1
ウメ	<i>Prunus Mume</i>		1				1	1		1				4	核1、核片3、図版122
ブドウ	<i>vitis</i>							1		1	3			5	種子、栽培種の可能性有、図版122
ブドウ属?	" ?							1						1	種子
ノブドウ	<i>Ampelopsis</i>										1			1	種子
ウドカツラ	<i>Ampelopsis Leeoides</i>											1		1	種子
ヤマモモ科	<i>Myrica rubra</i>										1			1	種子
クルミ?	<i>Juglans</i>					1	1			1				3	果皮
イチイガシ	<i>Quercus gilva</i> Blume.								1					1	子葉 1 枚分
" ?	" ?											1		1	種子?
カシ属の幼果 (ドングリ)						1								1	イチイガシ?
			1					2	1	1				5	種子4、果皮1、カシ・ナラ不 <sub>可</sub> 区別
クスノキ	<i>Cinnamomus Camphora</i> .										1			1	種子
アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>											2		2	種子
ヒョウタン類	<i>Lagenaria siceraria</i> Stand.										1			1	種皮
マメ科?								1						1	種子
イヌビエ?	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>praticola</i>										2			2	種子、未炭化
コウゾ?	<i>Broussonetia</i>										1			1	種子、未炭化
イボ草	<i>Murdannia keisak</i>				1									1	種子、未炭化
イボ草?	" ?										1			1	種子
エノキ草?	<i>Acalypha australis</i>										2			2	種子
ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i>								1					1	果実、現生種の混入?
タデ属	<i>Polygonum</i> sp.							1	1					2	種子
スゲ属?	<i>Carex</i>		1											1	種子
バラ科	<i>Rosaceas</i>					1								1	トゲ

とが明らかなもの以外に木炭片の疑いの有るものも含まれていた。それらを選別する過程で、炭化米と思われるものとそれ以外のものに分け、それぞれについて専門家に種子の鑑定を依頼した。

炭化米については元農林省家畜衛生試験場総務部長、現在東京都国分寺市文化財審議委員である佐藤敏也先生に、それ以外の炭化種子については大阪市立大学理学部教授である

粉川昭平先生に鑑定を依頼した。

なお、第76表の炭化米の計測値は、佐藤先生の指導のもとに調査担当者の橋本が計測を行った結果である。また、本節の記述は両先生の助言のもとに橋本がまとめたものであり、文責は橋本にある。

#### イネ以外の植物遺体について

第73表に掲載したものの総計は80点である。このうち、イヌビエ?・コウゾ?・イボ草・イボ草?・ギシギシ等は現生種の混入の可能性が高い。ドングリとしたものは遺存状態が悪くカシ属・ナラ属の区別がつかなかったものである。?のものも同様に遺存状態が悪く断定できないものである。

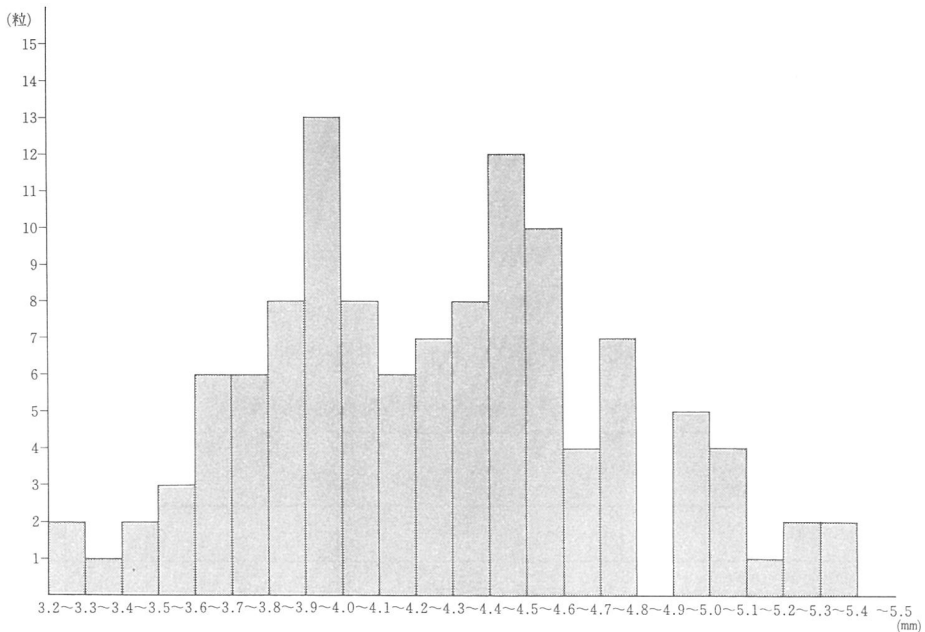
ムギ これらを除いた57点中、ムギの占める割合が約49%を占めていることが注目される。第I章第2節で触れたように『日本霊異記 中巻 第十』に「常鳥卵煮食以現得悪死報縁」という説話があり、その中で山直郷内に『一町程度の麦畑』が存在していたと思わせる記述がある。『日本霊異記』はあくまでも説話であって、史実とは言いがたい。しかし、この説話の時代設定が奈良時代であり、5041—OXの時期と重なるうえ、山直郷内の水込遺跡において多数のムギが検出されたという事実は、ことによるとこの説話が山直郷におけるムギの栽培について事実を伝えていた可能性も有りうるという点で些か興味深い。

ブドウ ブドウはVitisとAmpelopsisの2種が検出されている。粉川先生の鑑定によれば前者は嘴（beak）が発達しており栽培種の可能性が高いという。断定はできないが、栽培種であると仮定するならば、現在知られている日本における最古の栽培種のブドウということになる。和泉離宮とブドウの栽培を関連付ければ、興味深い新たな歴史像も描けるが即断は避けたい。

#### 炭化米（イネ）について

第73表に掲載したように200点の炭化米が検出された。その内、粒長（L）・粒幅（B）・粒厚（Th）が計測可能なものは116点であった（第76表）。その計測値を佐藤先生に送り分析して頂いた結果が第185・186図、第74・75表である。

粒長 米粒計測値中で最も変異が激しいのが粒長である。そこで、最短3.1mm未満から最長5.4mm以上をヒストグラムに作図したものが第185図である。この図には3.9mm以上4.0mm未満に13粒の第1の極があり、4.4mm以上4.5mm未満に第2の極がある。これは、



第185図 5041-OX出土炭化米粒長のヒストグラム (縦軸：粒数, 横軸：粒長)

粒の性格にバラツキがあることを示している。

粒形と大きさ並びに粒の構成 粒長のバラツキの原因を解くために、第74・75表を作成した。第74表の横軸の粒大とは粒長と粒幅の積 ( $L \times B$ )、縦軸の粒形とは粒長と粒幅の比 ( $L/B$ ) である。また、アルファベットと数字による表記は各炭化米の登録番号である。第75表は第74表の各分類の粒の個体数とその百分率である。

粒厚は稲粒の稔熟度合を示すもので、日本の稲一般の厚さは2.0mm前後である。粒厚が1.6mm以下のものは明らかに未熟粒である。第74表の中で下線を引いたものがこれに該当する。この表の中では狭長・長粒に未熟米が集中しており、36点中23点(約64%)と高率を占めている。また、短粒の極々小粒にも7点の未熟粒が存在している。つまり、粒長のバラツキの原因の一つは、未熟粒が焼かれて変形したものが多数含まれているためのものである。

稲品種 判定のメルクマールをなす粒形 ( $L/B$ ) を階層別に整理し、階層別の中心値を基にして計測合粒に対する百分比をとり、基準化したものが第186図である。この図によれば1.7以上1.8未満と2.1以上2.2未満のところにピークがあり、2極分解していることが分かる。この原因もおそらく未熟粒が多いことに起因しているものと思われる。したがって、5041-OX出土の炭化米にはJaponica Typeの変形粒が多く含まれているものと



第IV章 調査成果

思われる。

ただし、第76表で長粒とした7点はIndica Typeの可能性が極めて高い。第76表No.27・99はIndica Typeの未熟粒と考えられる。

長粒米 (Indica Type) について 弥生時代に日本にもたらされた米は、一般に短粒 (Japanica Type) とされている。ところが、8世紀代の遺跡から出土する炭化米の中には長粒米 (Indica Type) が含まれる確率が高くなり、平均すると全出土量の1割を占めるといふ。この現象の歴史的背景は今後検討する必要があるであろう。ところで、長粒米は痩せた土地にも適応性があり、中世の山城より出土する炭化米の多くが長粒米であることは周

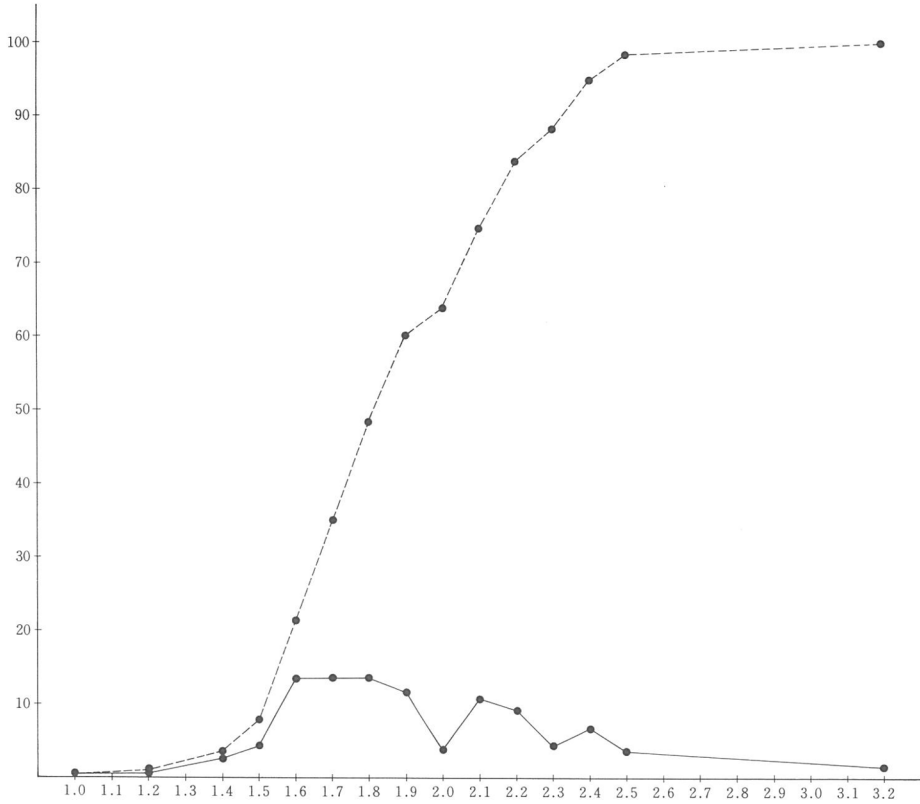
第74表 5041-O X 出土炭化米の粒形とその大きさ

粒形 Shape	粒大 Size	極々小 (Vv.s)		極小 (V.S)		小粒 (S)		中粒 (M)		合計 (%)
		8.00mm <sup>2</sup>		12.00mm <sup>2</sup>		16.00mm <sup>2</sup>				
狭長 (SL)	3.0~	B-12 ①								1 (0.87)
長 粒 (L)	2.6~3.0									①
	2.3~2.6	A-28, B-6, B-32 E-12, E-37 ⑤		A-13, A-24, A-45, A-46, D-32 D-48 ⑥		A-22 ①				⑫
	2.0~2.3	A-7, A-12, A-27 B-2 ④		A-1, A-5, A-8, A-14, A-42 A-43, A-48, B-8, B-10, B-27 B-39, C-30, D-5, D-17, D-22 D-29, D-30, E-29, E-32 ⑬						35 (30.43) ⑬
短 粒 (S)	1.8~2.0	B-29, C-28, C-41 C-44, C-48, D-4 D-45, E-39 ⑧		A-44, B-9, B-20, B-22, B-30 B-34, C-26, C-47, C-50, D-6 D-25, D-39, D-44, E-19 ⑭		B-3, C-31 ②				⑭
	1.6~1.8	A-9, A-21, A-30 B-43, C-13, C-16 D-2 ⑦		A-3, A-11, A-25, A-41, B-16 B-19, B-21, B-28, B-40, C-24 C-42, D-3, D-13, D-21, D-23 D-28, D-31, D-37, D-40, D-41 E-21, E-25, E-31, E-35 ⑮		A-29, B-25 (標準的粒) C-25, E-6, E-34 ⑤				76 (66.1) ⑮
	1.4~1.6	C-29 ①		A-10, B-38, C-14, D-36, D-46 D-49, E-33 ⑦		B-5, B-33, B-35 B-37, C-38, C-40 D-38 ⑦		E-13 ①		⑯
円粒 (R)	1.2~1.4	E-26 ①		E-4						⑳ 3
	1.0~1.2							B-36 ①		㉑ (2.61)
合計		27 (23.48)		71 (61.74)		15 (13.04)		2 (1.74)		115 (100)

注：アンダーラインのものは未熟粒。

第75表 5041-O X 出土炭化米の粒の構成

粒長 (SL)		長粒 (L)				短粒 (S)				円粒 (R)				合計	
極々小	小計	極々小	極小	小粒	小計	極々小	極小	小粒	中粒	小計	極々小	極小	中粒		小計
1	1(0.87)	1	25	9	35(30.44)	16	45	14	1	76(66.0)	1	1	1	3(2.61)	115(100)



第186図 5041-O X出土炭化米の粒種の変異 (L/B)

知のとおりである。律令体制下の和泉国は下国であり、作物の栽培にはあまり適していない土地柄であったらしい。長粒米とともに痩せた土地に適するムギの栽培が行われていたことなどを勘案するならば、水込遺跡の周辺においては意図的に長粒種のイネの栽培が行われた可能性が高いのではあるまいか。

第IV章 調査成果

第76表 5041-OX 出土炭化米計測値一覽表

No.	地区	L	B	T h	L/B	L×B	摘要	No.	地区	L	B	T h	L/B	L×B	摘要
1	B11G T	4.5	2.1	1.4	2.14	9.45	胚芽残存	61	B11J U	4.7	2.5	1.75	1.88	11.75	
2	"	4.2	2.5	1.65	1.68	10.5		62	"	3.8	1.95	1.4	1.95	7.41	胴割れ
3	"	4.4	2.0	(1.5)	2.2	8.8		63	"	3.5	2.2	1.95	1.59	7.7	
4	"	3.6	1.65	1.25	2.18	5.94	胚芽残存	64	"	4.3	2.0	1.9	2.15	8.6	
5	"	3.85	2.1	1.2	1.83	8.09	焼けぶくれ、未熟粒	65	"	5.25	2.85	2.05	1.84	14.96	胴割れ・焼け太り
6	"	3.9	2.35	1.95	1.66	9.17	焼け太り	66	B11J V	4.4	2.8	1.9	1.57	12.32	
7	"	4.0	2.7	1.85	1.48	10.8		67	"	4.55	3.15	2.2	1.44	14.33	
8	"	4.15	2.4	1.55	1.73	9.96		68	"	3.45	1.9	2.0	1.82	6.56	
9	"	3.8	1.7	1.35	2.24	6.46		69	"	4.1	2.4	1.85	1.71	9.84	
10	"	4.9	2.1	1.75	2.33	10.29	焼けぶくれ	70	"	3.85	2.0	1.6	1.93	7.7	
小計		41.3	21.6	15.45	19.47	89.46		小計	41.9	23.75	18.6	17.88	101.17		
11	B11G T	4.5	2.05	1.55	2.20	9.23	胴割れ	71	B11J V	4.05	2.1	1.45	1.93	8.51	
12	"	3.6	2.45	1.8	1.47	8.82		72	"	3.85	2.05	1.5	1.88	7.89	
13	"	3.75	2.1	1.7	1.79	7.88		73	"	4.55	2.4	(1.2)	1.90	10.92	
14	"	5.35	2.25	1.95	2.38	12.04	長粒	74	"	3.25	1.95	(1.35)	1.67	6.34	
15	"	5.01	2.1	1.8	2.39	10.52	長粒	75	"	4.7	2.5	1.9	1.88	11.75	焼け太り
16	"	3.65	2.2	(1.35)	1.66	8.03		76	"	3.6	1.85	1.7	1.95	6.66	
17	"	4.05	2.2	1.95	1.84	8.91	焼け太り	77	"	4.4	2.15	1.65	2.05	9.46	
18	"	4.6	2.0	1.6	2.3	9.2		78	"	3.95	2.2	1.55	1.80	8.69	焼けぶくれ
19	"	4.8	2.8	1.9	1.71	13.44		79	B11K T	4.15	2.45	1.85	1.69	10.17	胴割れ
20	"	3.85	2.15	1.7	1.79	8.28		80	"	4.45	2.15	1.55	2.07	9.57	
小計		43.16	22.3	17.3	19.53	96.35		小計	40.95	21.8	15.7	18.82	89.96		
21	B11G T	3.75	2.3	1.95	1.63	8.63	胚芽残存	81	B11K U	4.4	2.5	2.0	1.76	11.0	
22	HT	4.4	2.0	1.3	2.2	8.8	未熟粒	82	"	4.2	2.1	1.7	2.0	8.82	
23	"	4.9	2.25	2.95	2.18	11.03		83	"	4.1	2.55	1.75	1.61	10.46	
24	"	3.95	2.2	1.7	1.80	8.69	胴切れ	84	"	4.5	2.4	2.0	1.86	10.8	
25	"	4.7	2.0	1.4	2.35	9.4	未熟粒	85	"	4.2	2.55	1.75	1.65	10.71	焼け太り
26	"	5.4	2.2	1.9	2.45	11.88	長粒	86	"	5.0	2.3	1.7	2.17	11.5	長粒
27	"	5.0	2.3	1.6	2.17	11.5	長粒	87	"	4.35	2.05	1.65	2.12	8.92	焼けぶくれ
28	"	3.9	1.8	0.8	2.17	7.02		88	"	4.1	2.3	1.6	1.78	9.43	胴切れ
29	B11H U	4.8	2.65	2.05	1.81	12.72	計測時破損	89	"	4.9	2.0	1.7	2.45	9.8	長粒
30	"	4.35	2.95	1.9	1.47	12.83		90	"	3.95	2.5	1.8	1.58	9.88	
小計		45.15	22.65	17.55	20.23	102.5		小計	43.7	23.25	17.65	18.98	101.32		
31	B11H U	4.0	1.65	0.9	2.42	6.6		91	B11K U	3.95	2.35	2.0	1.68	9.28	
32	B11I U	4.35	2.1	1.9	2.07	9.14		92	"	4.45	2.9	1.95	1.53	12.91	胚芽残存
33	"	4.5	2.35	1.75	1.91	10.58		93	"	4.6	2.35	1.9	1.96	10.81	
34	"	4.2	2.05	1.55	2.05	8.61	胴割れ	94	"	3.95	2.35	1.85	1.68	9.28	
35	"	4.45	1.4	1.45	3.18	6.23	焼け太り	95	"	4.05	2.45	1.85	1.65	9.92	
36	B11I V	4.2	2.45	1.85	1.71	10.29		96	"	4.3	2.35	1.9	1.83	10.11	胴切れ
37	"	3.85	2.4	2.05	1.60	9.24	焼け太り	97	"	3.7	1.95	2.0	1.90	7.22	
38	"	3.9	2.15	1.75	1.81	8.39	胚芽残存	98	"	3.5	2.35	2.0	1.49	8.23	胴割れ
39	"	4.05	2.3	1.85	1.76	9.32	胴切れ	99	"	4.9	2.0	1.4	2.45	9.8	長粒、未熟?
40	"	4.35	2.25	2.1	1.93	9.79	胚芽残存	100	"	3.9	2.65	1.8	1.47	10.34	胴割れ
小計		41.85	21.1	17.15	20.44	88.19		小計	41.3	23.7	18.65	17.64	97.9		
41	B11I V	4.5	2.7	1.9	1.67	12.15	胴切れ	101	B11K U	3.4	2.45	1.85	1.39	8.33	
42	"	4.7	2.25	1.5	2.09	10.58		102	"	4.6	2.85	2.25	1.61	13.11	
43	"	4.0	2.35	2.2	1.70	9.4		103	"	3.8	1.6	0.9	2.38	6.08	
44	"	3.8	2.05	1.55	1.85	7.79	胴切れ	104	"	5.1	3.3	2.45	1.55	16.83	焼けぶくれ
45	"	5.2	2.7	2.0	1.93	14.04		105	B11K V	4.5	2.45	2.05	1.84	11.03	
46	"	4.0	1.7	1.35	2.35	6.8		106	"	4.4	2.7	2.0	1.63	11.88	胴切れ
47	"	4.25	2.95	2.05	1.44	12.54	胴割れ	107	"	3.7	2.25	1.65	1.64	8.33	"
48	"	4.55	2.45	2.0	1.86	11.15	胚芽残存	108	"	3.05	2.45	1.85	1.24	7.47	焼け太り
49	"	4.6	2.9	1.95	1.59	13.34		109	B11L T	4.4	2.1	1.4	2.10	9.24	未熟粒
50	"	4.5	2.35	1.9	1.91	10.58		110	"	3.95	2.45	1.7	1.61	9.68	
小計		44.1	24.4	18.4	18.39	108.37		小計	40.9	24.6	18.1	16.99	101.98		
51	B11I V	4.45	3.0	2.1	1.48	13.35	胴割れ	111	B11L T	4.25	2.05	1.45	2.07	8.71	
52	"	3.95	2.45	1.95	1.61	9.68	"	112	"	3.95	2.5	2.0	1.58	9.88	
53	"	4.1	2.0	2.0	2.05	8.2	胴切れ	113	"	4.75	2.65	1.85	1.79	12.59	
54	"	4.3	2.4	1.85	1.79	10.32	胴割れ	114	"	3.75	2.2	1.65	1.70	8.25	
55	"	3.2	2.0	1.7	1.6	6.4		115	"	4.0	1.7	1.4	2.35	6.8	
56	B11J T	3.7	2.15	1.5	1.72	7.96		116	"	3.5	1.9	1.75	1.84	6.65	胚芽残存
57	"	3.65	2.4	1.85	1.52	8.76		小計	24.2	13.0	10.1	11.33	52.88		
58	"	3.3	2.05	1.5	1.61	6.77		合 計	488.51	266.35	202.65	216.33	1128.5		
59	B11J U	4.4	2.7	1.6	1.63	11.88		平 均	4.21	2.30	1.75	1.86	9.73		
60	"	4.95	3.05	1.95	1.62	15.1	焼け太り								
小計		40.0	24.2	18.0	16.63	98.42									

## 第V章 考察

### 第1節 水込遺跡の集落の変遷について

第187図1は水込遺跡と二俣池北遺跡4・5区の遺構配置図を合成したものである。これによれば、両者は同一の集落跡と考えた方が自然である。しかも、二俣池北遺跡4・5区北方の3区においては遺構が存在しないこと、また、水込遺跡のA地区南端部においても遺構密度が低いことなどから、この集落跡の南北の範囲はこれらの調査によってほぼ確認できたことになる。つまり、この二つの調査は、一つの集落跡に幅約20m・長さ約400mに及ぶ大トレンチを入れる結果になった。したがって、本来ならば遺跡名は一本化されるべきであり、二俣池北遺跡の調査区のうち1～3区の範囲についてはその名称を踏襲しても、4・5区については水込遺跡の中に入れて考えるべきであろう。

第IV章第2節で報告したように、水込遺跡の掘立柱建物群等はⅦ期に区分できる。それを骨子として、水込遺跡の集落の変遷はⅦ期に区分できるものと思われる。第187・188図は二俣池北遺跡4・5区の調査成果を含めた水込遺跡の遺構変遷図である。

I期 6世紀後半から7世紀初頭。0002・0003-OD・2012-OOの重複によって最低a～cの3小期に分かれる。I a期には0003-ODが、I c期には0002・0004-OD・1008-OBが該当する。0001・0005-ODは、出土遺物が皆無のため、帰属時期を明らかにできないが、二俣池北遺跡の調査成果に基づけば、竪穴住居は壁溝を有するものの方がそうでないものよりも古いという傾向が認められるので、0001・0005-ODはI a期に帰属するものと考えておきたい。なお、I a期は二俣池北遺跡4・5区のI期に、I b・I c期は二俣池北遺跡4・5区のII期に相当するものと思われる<sup>1)</sup>。

II期 7世紀初頭から中葉。二俣池北遺跡4・5区III期に相当する。1002・1004・1005・1006・1010・1011・1014・1028-OBの8棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。1002・1004・1005・1006-OBは整然と配置されており、当該期の中心的建物群と考えられる。柱掘方出土遺物を検討すれば、1010・1011・1014・1028-OBは前記の建物群よりもやや後出するものと思われる。なお、3033-OS出土遺物の大半は7世紀中葉から後半の所産であるが、B11QX出土須恵器坏(第115図114)の存在等を考慮するなら

ば、当該期には既に存在していたものと思われる。したがって、1002・1004・1005・1006－OBと3033－OSの出現が水込遺跡における集落変遷の第1の画期と考えられる。

Ⅲ期 7世紀中葉から後半。二俣池北遺跡4・5区Ⅳ期に相当する。1003・1012・1013・1016・1021・1024・1029・1030・1031－OBの9棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。建物の配置は南北に分離し、調査区内においてはⅤ期までこの景観が踏襲される。南の一群は総柱建物の1016－OBを中心として、北側に1012・1013－OBがL字型、南側に1021・1024－OBが並棟に配置されている。3033－OSを挟んで、東側には倉（1029・1030－OB）が2棟存在する。また、集落の中心から南に離れた位置に、3033－OSと平行するように1031－OBが存在する。

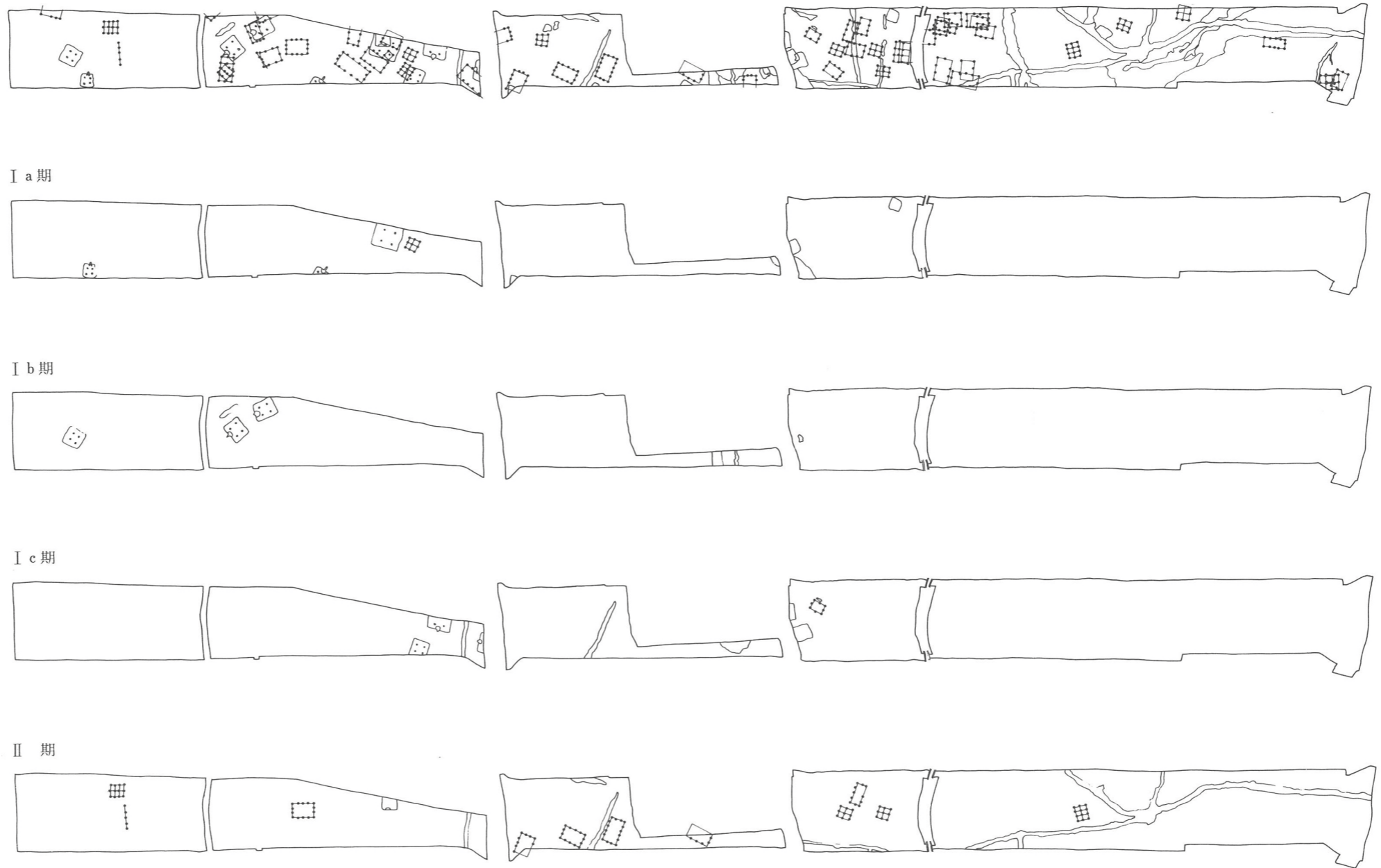
Ⅳ期 7世紀後半から8世紀前半。二俣池北遺跡4・5区Ⅴ期に相当する。1015・1017・1019・1026・1027・1034－OBの6棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。Ⅲ期の1016・1021・1024－OBがそれぞれ立て替えられて1017・1019・1026－OBとなる。また、集落の南端に1034－OBが建てられる。3046－OSはこれを区画する溝と考えられる。3033－OSは擁壁調査の一括遺物（第126図）の時期まで存続していたことは明らかであるが、8世紀初頭には機能を失っていた可能性が高い。約一世紀の間機能を果たした3033－OSに代わって3034－OSが掘削された。3034－OS掘削の契機は明らかではないが、この溝の出現は水込遺跡における集落の変遷の第2の画期の指標となる。

Ⅴ期 8世紀前半から中葉。二俣池北遺跡4・5区Ⅵ期に相当する。1001・1007・1009・1020・1022・1025－OBの6棟の掘立柱建物がこの時期に該当するものと思われる。1001－OBは出土遺物が皆無のため時期決定は困難ではあるが、二俣池北遺跡5480・5600－OBの主軸方向との相関性から当該期に含めておく。1020・1022・1025－OBはⅣ期のまとまりをほぼ踏襲しているが、それ以外の建物の配置は散漫である。なお、1020－OBは建直しが行われているため、a・bの2小期に分かれる可能性もある。3034－OSに投棄された遺物の多くは、後述するように平城京編年の平城Ⅲと様式が一致するものと考えられ、8世紀中葉から埋没が開始されたものと思われる。

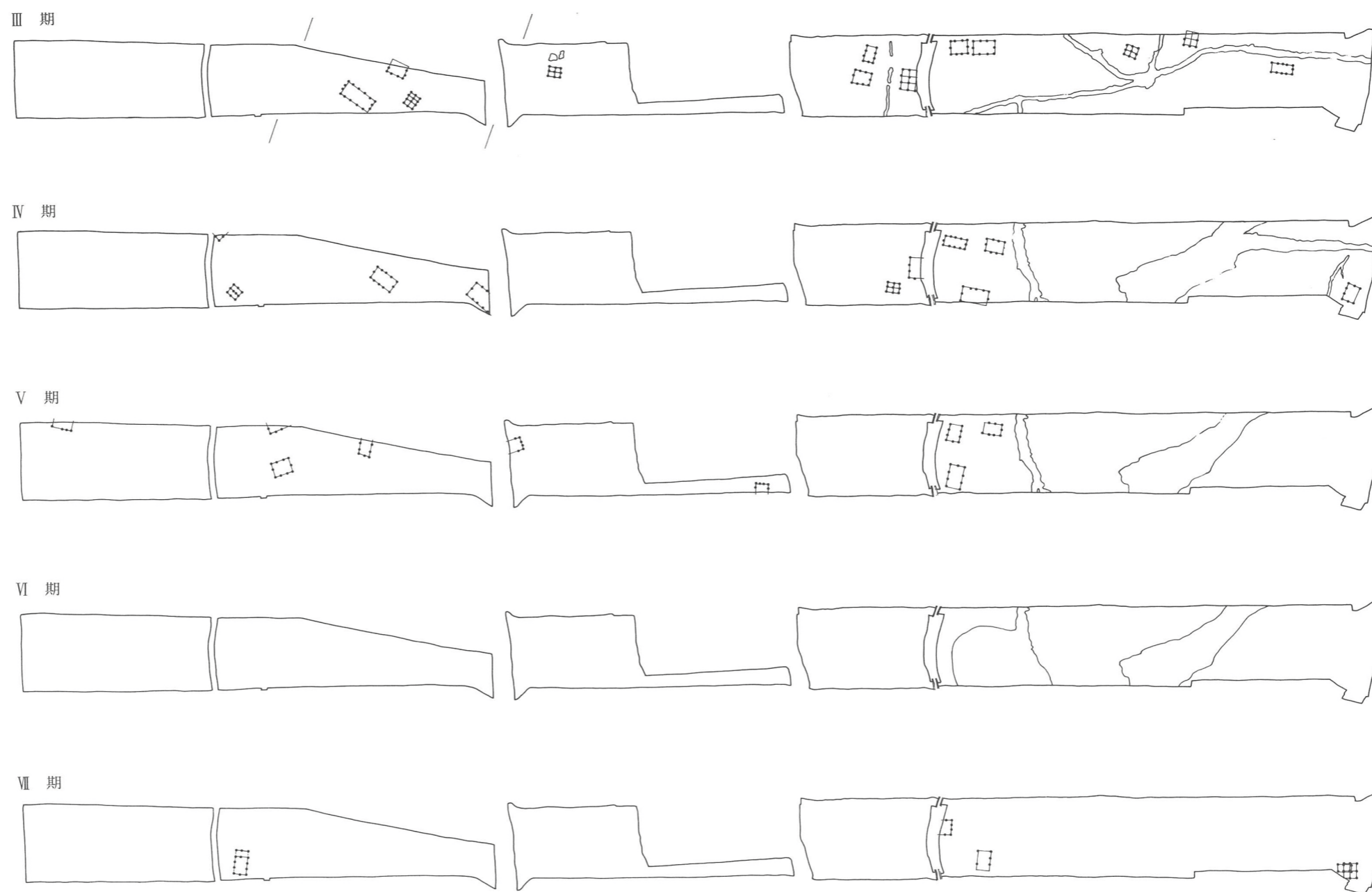
Ⅵ期 8世紀中葉から9世紀前半。5041－OXが形成された時期で、水込遺跡における古代集落の廃絶時期と考えられる。当該期の建物が調査区内では確認できなかったが、調査区外に存在する可能性が極めて高い。5041－OXの形成は水込遺跡における集落変遷の第3の画期である。

Ⅶ期 12世紀中葉から後半。1018・1023・1032・1033－OBの4棟の掘立柱建物がこの時

遺構配置図



第187図 集落変遷図1 (S=1/1500)



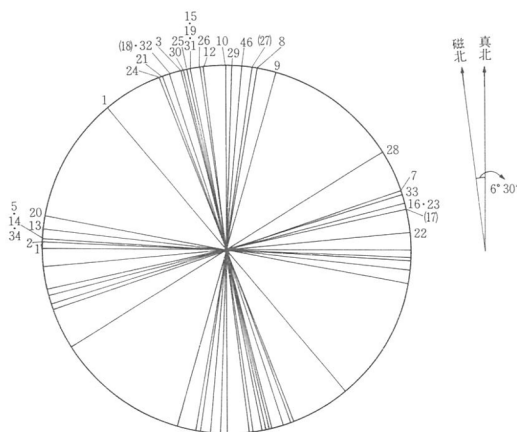
第188図 集落変遷図2 (S=1/1500)

期に該当するものと思われる。1032・1033—OBの重複によってa・bの2小期に分かれるが、前後関係は明らかではない。二俣池北遺跡4・5区Ⅶ期の5700—OBの時期は明らかではないが、一応当該期に含めておくこととする。

## 第2節 山直郷における水込遺跡の位置付け

前節で述べたように、水込遺跡は6世紀後半に竪穴住居を中心とする集落として成立し、9世紀初頭ごろまで連綿と継続した集落跡と考えられる<sup>2)</sup>。ところで、分布調査と(財)大阪府埋蔵文化財協会が行っている発掘調査の成果に基づけば、推定山直郷域には山直北遺跡・三田遺跡・上フジ遺跡・二俣池北遺跡・水込遺跡・黒石遺跡・山直中遺跡・芝ノ垣外遺跡等の古墳時代から奈良時代にかけての遺跡が存在する。これらの遺跡群において、水込遺跡はどのように位置付けられるのであろうか。

まず、前記の遺跡の中で調査成果が公表されているものについて検討してみよう。推定山直郷域の最北端に位置する山直北遺跡は9世紀代を中心とした集落跡である。底を持つ大型掘立柱建物や斎串の出土など注目される遺構・遺物が検出されている。その南に隣接する三田遺跡は、B地区において5世紀末葉から7世紀前半にかけての竪穴住居と掘立柱建物から成る集落跡が、また、C地区において8世紀後半から11世紀前半にかけての集落跡が検出されている。上フジ遺跡は開析谷を隔てて、三田遺跡B地区の南に隣接する遺跡である。集落の消長は三田遺跡B地区とほぼ同様で、自然地形による制約を度外視するならば、両者を一つの集落として括ることも可能である。上フジ遺跡の北端に位置し、7世紀代の所産と考えられる3間×5間の掘立柱建物は、おそらく三田遺跡B地区の集落を構成した集団の居住空間の南限を示すものであろう。二俣池北遺跡4・5区と水込遺跡については前述のとおりである。水込遺跡より南に存在する山直中遺跡は12世紀以降の中世集落跡と考えられ、また、芝ノ垣外遺跡においては8世紀代の溝が1本検出されているのみである。



第189図 掘立柱建物方位図（カッコ内は方位不確定）





第190図 牛滝川流域の古代集落遺跡 (S=1/25000)

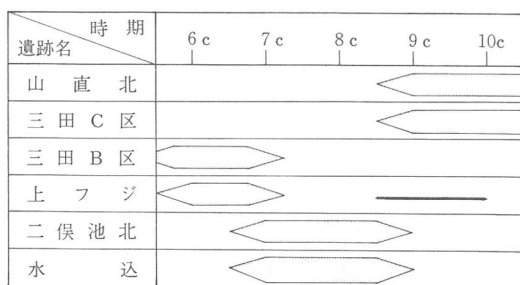
1. 山直北遺跡,
2. 三田遺跡C-2・3区,
3. 三田遺跡B区,
4. 上フジ遺跡,
5. 二俣池北遺跡4-5区,
6. 水込遺跡,
7. 摩湯山遺跡,
8. 田治米廃寺

各遺跡の内容は限られた調査範囲の中でしか把握できないにしても、ある程度の傾向を看取することが可能である。

前述の山直郷における各集落跡の消長をまとめたものが第191図である。これをみると、遺跡毎の消長は重なり合う事無く、各集落跡の推定中心時期が時期ごとに相違していることが読み取れる。つまり、5世紀末葉から7世紀初頭にかけては三田遺跡B地区が、7世紀前半から8世紀中葉にかけては水込遺跡（二俣池北遺跡4・5区を含む）が、8世紀後半から10世紀前半にかけては山直北遺跡が、それぞれ当該地域の中心的な位置を占める集落として存在していたと考えられるのである。

そこで、三田遺跡が中心的集落として存在した時期を、ここで便宜的に山直郷第Ⅰ期、続く水込遺跡の時期を第Ⅱ期、山直北遺跡の時期を第Ⅲ期とし、各期の内容を検討する中で山直郷における水込遺跡の位置付けについて考えてみたい（第190図参照）。

第Ⅰ期 第Ⅰ期以前の推定山直郷域には、和泉郡域において最大規模を誇る前方後円墳、摩湯山古墳（全長200m）が存在する。摩湯山古墳の築造時期は4世紀後半と考えられているが、三田遺跡C地区において4世紀代の土坑墓群が検出されており、両者の関係が注目されている。この土坑墓を形成した集団の集落は確認されていないが、三田遺跡周辺に存在することが予測される。おそらく、その集落の集団は摩湯山古墳の築造になんらかの形で関与していたのではあるまいか。摩湯山古墳以後の大型古墳の築造は、推定八木郷域の久米田古墳群に移る。山直郷域においては、これを契機として、4世紀末葉から5世紀後半にかけて集落が形成されない断絶期が存在するらしい。したがって、第Ⅰ期は山直郷域内に再度集落が形成され、それが定着する時期と位置付けることができよう。ただし、第Ⅰ期の集落は竪穴住居を主体として構成されるものであり、同時期に掘立柱建物を主体として構成される集落及び地域と比較するならば、山直郷域は後進的または開発途上の地域であったと考えられる。



第191図 推定山直郷域における古代集落変遷模式図

ところで、第Ⅰ期における集落の形成の要因は何であったのだろうか。この点については性急に結論を出すことはできないが、幾つかの条件が重なった上での未開拓地の開発を契機とするものであったという想定には大過あるまい。なお、それらの条件として、陶

邑の操業に伴う人口圧、地方豪族の梃子入による入植等々、様々なモデルが想定できる。

第II期 6世紀後半には水込遺跡においても堅穴住居を主体とした集落が形成され、牛滝川を溯上する形で流域の開発が促進されたものと推定される。そして、7世紀に入ると水込遺跡には正方位をとり、整然と配置された掘立柱建物群（1002・1004・1005・1006－O B）が出現する。この第II期を境として三田遺跡B地区の集落は一時期衰退した模様で、代わって以後8世紀中葉にかけて牛滝川中流域に位置する水込遺跡が山直郷域における中心的な集落として存在したらしい。水込遺跡内を南北に縦走する3033－O Sは、この集落周辺の灌漑用水としての機能を果たしたものと考えられ、この溝の掘削が7世紀代の牛滝川中流域の開発において重要な役割を担っていたことは想像に難くない。換言すれば、3033－O Sの掘削によって牛滝川中流域の開発が達成されたと言えよう。したがって、第II期は牛滝川中流域の開発期にあたり、それを担った集団の中心的集落が水込遺跡であったと言えよう。また、そのことは、3033－O Sが機能を失った後に掘削された3034－O Sから多数の墨書土器が、また、包含層中からは4点の円面硯が出土し、この集落内に識字能力を有する成員が存在していたことによっても裏付けられるであろう。

第III期 水込遺跡における8世紀後半の3034－O Sの埋没および5041－O Xの形成は、この集落の衰退を象徴しているものと考えられる。前述したように、これに呼応するように山直北遺跡、三田遺跡C地区において集落が形成され、山直北遺跡は以後9世紀代を通じて山直郷域において中心的集落として存在したらしい。結論を急げば、この現象は、おそらく和泉国の成立と密接な関わりを有していたものと考えられる。和泉国の成立の経緯については第I章第2節において詳述したので、ここでは重複を避けるが、それは天平寶字元年（757）であり、国府の本格的な整備はそれ以後になされたものと思われる。したがって、山直郷域の有力者（山直氏？）は国府が整備されてゆく過程で、国府との関わりからそこより近い場所に居住域を設けたのであろう。つまり、第III期は和泉国府の成立によって、山直郷域の集落が再編成された時期と捉えることができよう。

### 第3節 出土土器について

本書において実測図を掲載した土器の総数は850点である。また、石器・土製品等、土器以外の遺物で掲載したものは26点であった。これらの遺物の中でも、3033－O S・3034

—OS・5041—OX出土の遺物は、遺構それぞれの重複関係が明らかであり、そのうえ大量の遺物が出土したことによって、当該地域の標識資料となりうる内容を有している。そこで、本節ではこれらの遺物を中心として若干の考察を試みることにする。

### 1. 3033—OS・3034—OS・5041—OX出土遺物の時期

3033—OS 時期決定の指標となる須恵器坏は、飛鳥・藤原編年のI～Vの全てを含んでおり、この溝が約1世紀の間機能し続けていた事を物語っている。一括資料として把握できるものは、3033—b—OS出土の第113図104～110・第114図111～113と第126図262～273のみである。前者は土師器坏Cの出土によって飛鳥・藤原編年のIII・IV期に、後者は須恵器壺蓋や坏Bの出土によって飛鳥・藤原編年のV期に該当するものと思われる。

3034—OS この遺構の時期決定の根拠となるものは、須恵器坏である。第192図5の須恵器坏Bの径高指数は30であり、平城宮編年の平城宮IIIの様式と近似する。出土遺物の中には若干の時間幅が存在するようであるが、一括投棄された遺物は8世紀中葉の所産と見て大過あるまい。

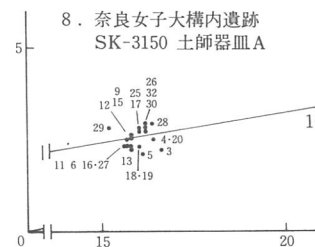
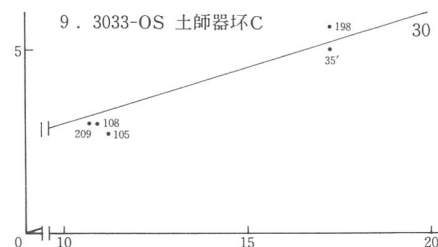
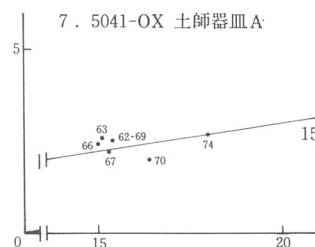
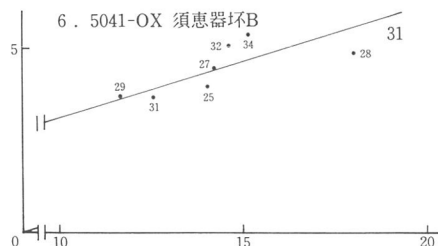
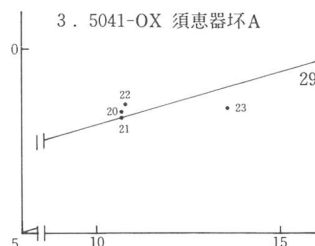
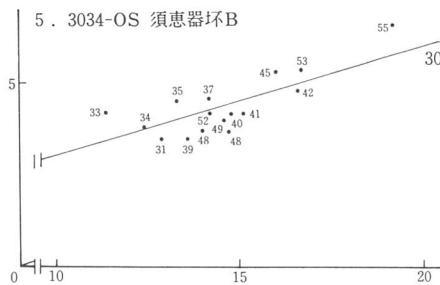
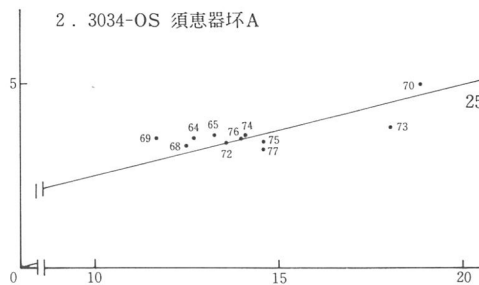
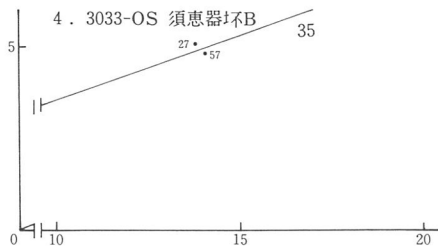
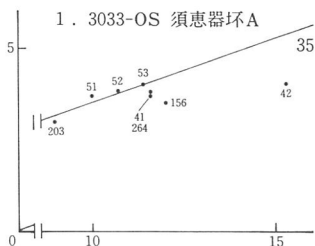
5041—OX この遺構の時期決定の根拠となるものは、土師器皿である。第192図7の土師器皿Aの径高指数は15であるが、これは奈良女子大学構内遺跡S K3150出土遺物の径高指数（第192図8）に近似し、様式的には一致するものと考えられる。このS K3150出土遺物は平城宮編年の平城宮V～VIと考えられており、5041—OXの埋没もこの時期、つまり8世紀後半から末葉に開始されたものと思われる。

### 2. 3033—OS・3034—OS・5041—OX出土遺物の比較

第193図は、3033—OS・3034—OS・5041—OX出土土器の各々の器種別占有率を示している。個体数の推計は、第IV章第9節で述べた方法が理想的ではあるが、その方法を行うにあたっての条件が充たされていないため、ここでは以下に述べる方法によって器種別個体数を算定し、遺構別の器種別占有率を求め百分率で示した。

遺構出土遺物は可能なかぎり接合し、実測図を書いたものは当然のことながら1点として数える。問題になるのは破片で、これについては基本的には口縁部と底部の数を数え、その数の多い方をとる。高坏については依存率の高い脚部の数を推定個体数とする。したがって、ここに示した推定個体数は最大値に近い値を示しているものとする。なお、第193図では、坏と皿の区別が付けにくい破片も多数存在するため、壺・甕・坏・皿・高坏・

第V章 考察

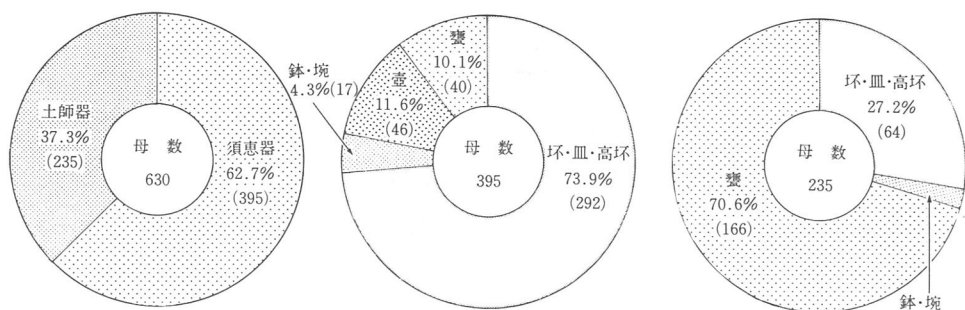


各資料の提示

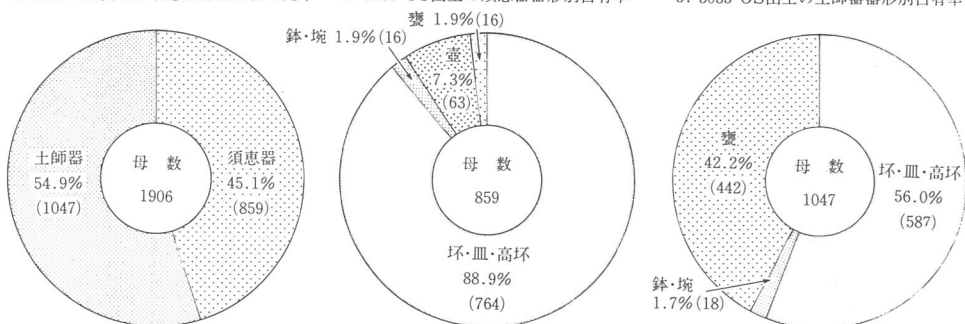
- 1 : 41・42・51・52・53・156・203・264
- 2 : 64・65・68・69・70・72・73・74・75・76・77
- 3 : 20・21・22・23
- 4 : 27・57
- 5 : 31・33・34・35・37・38・39・40・41・42・48・49・52・53・55
- 6 : 25・27・28・29・31・32・34
- 7 : 62・63・66・67・69・70・74
- 8 : 3・4・5・6・9・11・12・13・15・16・17・18・19・20・25  
26・27・28・29・30・32
- 9 : 35・105・108・198・209

(8は、引用文献の表1の№と、他は本報告の各遺構の実測図№)と一致する。

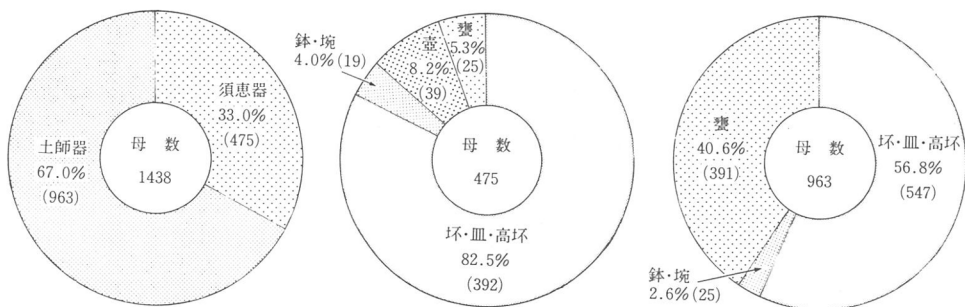
第192図 須恵器・土師器の坏・皿径高指数 (縦軸：器高，横軸：口径)



1. 3033-OS出土の須恵器と土師器の比率 2. 3033-OS出土の須恵器器形別占有率 3. 3033-OS出土の土師器器形別占有率



4. 3034-OS出土の須恵器と土師器の比率 5. 3034-OS出土の須恵器器形別占有率 6. 3034-OS出土の土師器器形別占有率



7. 5041-OX出土の須恵器と土師器の比率 8. 5041-OX出土の須恵器器形別占有率 9. 5041-OX出土の土師器器形別占有率

第193図 3033-O S・3034-O S・5041-O Xの出土土器器種別・器形別占有率

鉢・碗という形で表現した。

第193図から読み取れる内容は、以下のとおりである。

- ①須恵器と土師器の占有率を見ると、時期が新しくなるにつれて、土師器の占有率が高くなる。
- ②須恵器の器形別占有率を見ると、8世紀代の方が鉢・皿・高杯の占有率が高くなる。
- ③土師器の器形別占有率を見ると、7世紀代は甕の占有率が極めて高い。8世紀代には、

坏・皿・高坏の占有率が増加するが、甕も依然として約40%前後の高い占有率を示している。

以上のことから、水込遺跡においては、日常容器の器種別占有率が8世紀代になって逆転するという現象を指摘することができる。おそらく、その原因は煮沸容器が減少したためではなく、土師器坏・皿・高坏の数量が増加した結果であろう。このような現象は、当遺跡に限ったことではなく、畿内一円の当該時期の遺跡に敷衍できることではあるが、にもかかわらず、依然として8世紀中葉における須恵器坏・皿・高坏の占有率は、土師器のそれを凌駕している。他地域の遺跡と比較できるデータの提示がないため、一概には言えないが、おそらくそれは須恵器生産地が至近距離に存在することに起因しているのであろう<sup>3)</sup>。

#### 第4節 5041-O Xの性格について

本節では、水込遺跡における古代集落の終焉の象徴とも言える5041-O Xの性格について若干の所見を述べておきたい。

**製塩土器** まず、5041-O Xの性格を考える手掛りは、ここより出土した大量の製塩土器にある。そこで、初めに現在の海岸線から直線距離にして約7 km内陸部に入った水込遺跡から出土した製塩土器の性格について考えてみたい。

第IV章6節で述べたように、A地区北端部における炭化物を含む褐灰色土層の広がりを5041-O Xとして把握した。5041-O Xの東側には掘立柱建物が密集しているが、この部分は若干遺構検出面が高い。つまり、この層は調査区西側の浅い窪み内に堆積したものと考えるのが自然である。ここに炭化物層が堆積するためには、周辺に存在する掘立柱建物が火災に遇ったか、または、その場所で火を用いた行為を行ったかのいずれかの理由が考えられるが、製塩土器がこの中から多量に出土したことや2022-O Oの出土状態等を重視するならば、前者よりも後者の蓋然性の方が高いと言えよう。つまり、製塩土器と炭化物層とは密接な関係を有するものと考えるのである。

ところで、内陸部から多量の製塩土器が出土する例は、本遺跡に限らず奈良県布留遺跡や平城京跡等が著名である。いずれも、土器製塩を行うためには海岸部から多大な労力を要して海水を運搬するか、遺跡の周辺に鹹水の泉がなければならぬわけだが、どちらの可能性もあまり高いとは言えない。土器製塩の条件を充たさないにもかかわらず製塩土器が多量に出土する遺跡の性格については、海岸部で煎熬された塩を製塩土器に詰めた状態

で内陸部へ運搬し、再度熱処理を施して使用したという説が有力である。水込遺跡の製塩土器についてもその蓋然性は高いと考えられる。

それでは、海岸部の生産地よりもたらされた塩は、本遺跡内においてどのように処理されたのであろうか。残念ながら、調査時にはそのような目的意識を伴った形での調査を行っていないため、この点についてはいきおい状況証拠から推論する以外術がない。

**炭化米** 第IV章第10節において詳述したように、5041-O X覆土の土壌サンプルからは多くの木炭片とともに200点にのぼる炭化米が検出された。それらの鑑定結果によれば、炭化米の中には多くの未熟米が含まれているという。炭化米が検出された同時期の他の遺跡と比較した場合、水込遺跡における未熟米の検出率は極めて高く特異である。このことは、未熟米のついた穂先が意図的に燃やされていたことを示唆しているのではなかろうか。

**遺構** ところで、5041-O Xの範囲内には土坑・溝・小pit・不明遺構等が密集する。それらと製塩土器との関係は如何なるものなのであろうか。少なくとも、2022-O Oでは底面に密着した状態で出土した。また、5073-O Xの底面直上には厚さ約5 cm程の炭層が帯状に堆積していた。しかしながら、どの遺構にも底面が加熱を受けたという痕跡は認められなかった。

**特異な出土遺物** 5041-O Xの覆土中よりかなりの量の自然礫が出土している。その多くは大阪層群中に含まれる自然礫であったが、その中に極僅かではあるが加熱痕跡を有するものが存在した。また、砂岩系の礫の中には、何かを磨いた痕跡を有するものが数点存在した。その他、土錘・蛸壺等の漁猟具、燃えさし、小鍛冶に関連すると思われる鉄滓等が出土している。

**5041-O Xの性格** 以上のことから、5041-O Xでは自然礫を用いた固型塩の加熱処理や小鍛冶等、主に火を用いる作業空間として使用されていたものと推測される。その際、焼き付けのために藁が用いられたため、まとまった量の炭化米が検出されたものと思われる。また、2022-O Oの出土状態を勘案するならば、それに伴う祭祀行為もこの場所で行われていたのかもしれない。



【註】

- 1) 二俣池北遺跡の報告書の中でII期とされた遺構については、さらに2小期の細分の可能性が指摘されている。今回の調査によって、竪穴住居は少なくとも3小期に分離することが可能となったため、本書では二俣池北遺跡II期とされた遺構をI b期とI c期に分離することにした。
- 2) 水込遺跡は、広瀬和雄の言う長期型集落に分類される。
- 3) ただし、今回対象とした各遺構の性格が異なるため、遺構の性格に出土遺物が規制されている可能性もあり、その点を考慮する必要があることは言うまでもない。

引用・参考文献

- 村田修三・坪之内徹 1986 『奈良女子大学構内遺跡発掘調査概報』Ⅲ (奈良女子大学)
- 奈良国立文化財研究所 1976 「平城宮発掘調査報告」Ⅶ 『奈良国立文化財研究所学報』  
第二十六冊
- 奈良国立文化財研究所 1983 「平城宮発掘調査報告」Ⅺ 『奈良国立文化財研究所学報』第40冊
- 広瀬和雄 1989 「畿内古代の集落」 『国立歴史民俗博物館研究報告』第22集
- 宮崎泰史 1986 「二俣池北遺跡発掘調査報告書」 『(財)大阪府埋蔵文化財協会調査報告書』  
第45輯

## 第Ⅵ章 まとめ

### 1. 調査によって明らかにされたこと

水込遺跡の調査によって、以下の内容が明らかとなった。

- ① 水込遺跡は、6世紀後半から9世紀初頭にかけて継続する集落跡（長期型集落）である。
- ② 水込遺跡は、和泉国和泉郡の推定山直郷域に存在する。
- ③ 水込遺跡の北側に隣接する二俣池北遺跡4・5区は、水込遺跡と同一の集落跡である。
- ④ 水込遺跡の集落の変遷は、大きくⅦ期に区分される。さらに、集落の画期は、大きくⅢ期に区分される。第Ⅰ期は6世紀後半で、4世紀後半に途絶えた集落が再び形成され定着する時期。第Ⅱ期は7世紀初頭頃で、牛滝川流域の開発期で、水込遺跡が開発を担った集団の中心的集落として存在した時期。第Ⅲ期は8世紀末葉頃で、集落の衰退期。
- ⑤ 水込遺跡は、推定山直郷域における集落の変遷の中で、第Ⅱ期の中心的集落として位置付けられる。
- ⑥ 水込遺跡の集落の衰退は、和泉国府の成立と密接に関係する可能性が高い。
- ⑦ 3033-OS・3034-OS・5041-OX出土遺物は、現段階では、推定山直郷域における各時期の基準資料となりうる。
- ⑧ 水込遺跡からは11点の墨書土器と4点の円面硯が出土しており、遺跡の成員の中には識字能力を有するものが存在した可能性が高い。
- ⑨ 水込遺跡の集落内では、8世紀後半に固型塩の熱処理が行われていた。
- ⑩ 水込遺跡の集落内では、8世紀後半に小鍛冶が行われていた。
- ⑪ 5041-OX出土の炭化米中には、長粒米（Indica）が含まれていた。
- ⑫ 5041-OX出土のブドウの種子は、栽培種の可能性がある。

### 2. 今後の課題

以上の事実が明らかになったが、今後に残された課題も多い。以下に、それを列挙してまとめに代える。

- ① 和泉国内における水込遺跡の位置付け。つまり、同時期の集落跡である万町北遺跡や

池田寺遺跡などとの関係を、検出した遺構や出土遺物の検討を通して把握することができるかどうか。

- ② 広瀬和雄によって指摘された長期型集落の出現する背景を、水込遺跡の場合、如何に理解するか。これは、山直郷の成立と密接な関係をもつものと思われる。
- ③ 水込遺跡を中核とする7・8世紀の山直郷域の郷の実態を如何に把握するか。これは、鬼頭清明が指摘する「郷・村・集落」の定義とも関わりをもつものと思われる。
- ④ ③と関連して、郷域内の集団関係は如何なるものであったのか。例えば、3033-OSの掘削は、当時とすれば相当の労力を要したものと思われるが、果たして水込遺跡の集団のみで、それを達成することができたのだろうか。
- ⑤ 3033-OSから3034-OSへの転換は、水込遺跡の集落変遷の画期と密接な関係を有していると思われるが、この転換をどのように理解するか。
- ⑥ 3034-OS出土の土師器坏の中には、黒色処理を施された搬入品と考えられる一群が存在するが、それはどの地域からもたらされたものなのか。これと関連して、今回は、時間の制約から行うことができなかったが、将来的には河内や大和との土師器の比較を行う必要があるだろう。
- ⑦ 7・8世紀の遺跡から出土する炭化米の中に約1割程度含まれる長粒米の存在を如何に理解するか。つまり、長粒米が果たした歴史的意義を如何に理解すれば良いのか。
- ⑧ 5041-OX出土のブドウの種子が確実に栽培種と判断された場合、和泉におけるブドウ栽培の歴史的意義を如何に考えるのか。その際、和泉離宮の存在が重要な鍵を握る可能性がある。

# 出土遺物觀察表



第77表 0003-O D 出土遺物観察表

挿 図 No. 図版	層 位 地 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	(内面) 色 調 (外面 断面)	残 存 率	摘 要
第12図 1 図版—	B06UO	須恵器 坏身	(13.0) (2.3)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) 10GY6/1 (緑灰色) 10GY6/1 (緑灰色)	7%	

第78表 1019-O B 出土遺物観察表

第36図 1 図版—	B11IU	土師器 坏	(15.0) (3.0)	口縁部内外面ヨコナデ? 底部内外面ナデ? 器面磨減 顕著、調整不明	白色細砂粒2.0mm 以下の赤色粒子を 含む	中	10YR7/1 (灰白色) 10YR7/1 (灰白色) 7.5YR7/6 (橙色)	5%未満	6159-OP
第36図 2 図版—	B11FU	土師器 甕	(12.9) (4.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ? 器面磨減顕 著、調整不明	2.0mm以下の赤褐 色、白色砂粒を含 み4.0mm位の茶色 砂粒も含む	中	7.5YR8/4 (浅黄橙色) 7.5YR6/8 (橙色) 7.5YR6/8 (橙色)	5%未満	6162-OP 口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡

第79表 1022-O B 出土遺物観察表

第40図 1 図版—	B11FS	土師器 甕	(22.6) (5.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(4本/cm)、内 面ヘラケズリ? 頸部内面横 ハケ(3本/cm)口唇部面取り	5mm以下の砂粒 (白・赤色砂粒)を 含む	中	10YR8/1 (灰白色) 10YR8/1 (灰白色) 10YR7/6 (浅黄褐色)	5%未満	6185-OP
------------------	-------	----------	-----------------	---	-----------------------------	---	--	------	---------

第80表 1026-O B 出土遺物観察表

第45図 1 図版18	B11HV	須恵器 坏身	(10.2) (2.75)	口縁部・体部内外面ヨコ ナデ、底部外面ヘラケズリ	1.0mm以下の白色 砂粒を含み密	硬	5B7/1 (明青灰色) 5B7/1 (明青灰色) 5B7/1 (明青灰色)	10%未満	6211-OP
-------------------	-------	-----------	------------------	-----------------------------	----------------------	---	--	-------	---------

第81表 1028-O B 出土遺物観察表

第48図 1 図版42	B11OW	須恵器 坏蓋	(6.2) 2.15	口縁部・頂部内外面クロ 回転ナデ	微砂粒を含み密	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	20%	6229-OP 外面自然釉 付着
第48図 2 図版—	B11OV	須恵器 高坏	(8.2)	脚部外面クロ回転ナデ、 浅い沈線2本、内面ナデ、 しぼり痕跡	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 10R3/3 (暗赤褐色)	15%	6233-OP 脚部 2段2方透 し
第48図 3 図版—	B11OV ~PV	須恵器 甕	(22.2) (5.9)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、器面磨減顕著、口唇部 面取り	1.0mm位の白色砂 粒を少し含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	5%未満	6231-OP 6223-OP 埋土に同個、 片を含む

第82表 1032-O B 出土遺物観察表

第53図 1 図版42	B17HB	瓦器 埴	(15.8) 5.4 (5.6)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ? 器面磨減顕 著、調整不明	1.0~3.0mm以下の 小石を多く含む	軟	5YR8/4 (淡橙色) 2.5YR7/4 (淡赤橙色) 5YR8/4 (淡橙色)	30%	6263-OP
第53図 2 図版—	B17HA	瓦器 埴	(17.6) (3.1)	口縁部内外面ヨコナデ→ヘ ラミガキ	細砂粒を含み密	硬	N6/0 (灰色)[炭素] N6/0 (灰色)[炭素] 2.5GY8/1 (灰白色)	8%未満	6258-OP

第83表 1033-O B 出土遺物観察表

第55図 1 図版42	B17IB	土師器 皿	9.4 1.4	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ? 器面磨減顕 著、調整不明	1.0mm以下の白色 粒0.5mm以下の黒 色粒を赤色酸化粒 を含む	硬	2.5Y8/2 (灰白色) 10YR7/3 (にぶい黄橙色) 10YR6/3 (にぶい黄橙色)	50%	6269-OP
第55図 2 図版42	B17HB	瓦器 埴	(15.4) 5.05 5.6	口縁部内外面ヨコナデ、体 部・底部内外面ナデ? 器面 磨減顕著、調整不明	2.0mm以下の砂粒 (赤、白色粒子)を 含む	中	N4/0 (灰色)[炭素] N4/0 (灰色)[炭素] 2.5GY8/1 (灰白色)	15%未満	6266-OP

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	(内面) 色 調 (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第55図 3 図版一	B17IB	瓦器 塊	(15.4) (5.5)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面ナデ、指頭圧痕、内 面ナデ→ヘラミガキ 器面磨滅顕著	微砂粒、白色粒子 を含み密	中	N4/0 (灰色)[炭素] N4/0 (灰色)[炭素] 2.5GY8/1 (灰白色)	15%	6265-OP
第55図 4 図版一	B17IB	瓦器 塊	(14.4) 4.7 (5.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面ナデ、指頭圧痕、内 面ナデ→ヘラミガキ、底部 内面ナデ→暗文、外面ナデ 器面磨滅顕著	細砂を含み密	硬	N4/0 (灰色) N4/0 (灰色) 10Y8/1 (灰白色)	15%	6269-OP

第84表 2002-00 出土遺物観察表

第58図 1 図版42	B06CK	須恵器 坏蓋	(10.0) 3.35	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を少し含み密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	15%	
第58図 2 図版一	B06CK	須恵器 坏身	(9.2) (2.1)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	黒色粒子を含み密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	6%未満	外面自然釉 付着
第58図 3 図版一	B06CK	須恵器 高坏	(2.6) (13.9)	脚裾部内外面ロクロ回転ナ デ、脚端部面取り	1.0mm以下の白色 砂粒を少し含み密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	5%未満	脚部
第58図 4 図版一	B06CK	須恵器 壺	(11.0) (6.4)	口頸部内外面ロクロ回転ナ デ、外面沈線1本	2.0mm以下の砂粒 を少し含み密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	3%未満	

第85表 2003-00 出土遺物観察表

第58図 5 図版42	B06DL	須恵器 坏身	(9.9) (3.0)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ、底部外面ヘラ切り未 調整	2.0mm以下の砂粒 を含み密	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	25%	外面自然釉 付着
-------------------	-------	-----------	----------------	--	--------------------	---	--	-----	-------------

第86表 2006-00 出土遺物観察表

第60図 1 図版42	B06HK	須恵器 坏身	(12.0) 3.5	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、底部内面ナ デ、外面ヘラケズリ(L)	0.5~3.0mm大の白 色粒子(シャモット?)を多く含む	中	N5/0 (灰色) N6/0 (灰色) N5/0 (灰色)	20%	底部外面に ヘラ記号
-------------------	-------	-----------	---------------	--	----------------------------------	---	-------------------------------------	-----	---------------

第87表 2008-00 出土遺物観察表

第61図 1 図版42	B06OK ・OL・ PK・PL	須恵器 坏身	(11.6) 3.3	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、底部内面ナ デ、外面ヘラケズリ(L)	2.0mm未満の白・ 黒色砂粒を含む	軟	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	
-------------------	------------------------	-----------	---------------	--	-----------------------	---	--	-----	--

第88表 2009-00 出土遺物観察表

第64図 1 図版42	出土地点 不明	須恵器 坏蓋	(11.0) 3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、頂部外面ヘラ切 り→ナデ	白色微粒を多く含 む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	45%	
第64図 2 図版42	B06QL	土師器 高坏	(13.4) 6.4 (7.4)	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨滅顕著、調整不明	0.5~1.0mm大の白 色粒を多く含む	硬	7.5YR5/6 (明褐色) 7.5YR5/6 (明褐色) 7.5YR5/6 (明褐色)	30%	

第89表 2010-00 出土遺物観察表

第66図 3 図版118	B06SM ・TM・ SN	須恵器 壺	(4.3)	体部内外面ロクロ回転ナデ	2mm以下の白色砂 粒を含む	硬	5B5/1 (青灰色) 5B4/1 (暗青灰色) 5B5/1 (紫灰色)	10%未満	体部外面に ヘラ記号
--------------------	---------------------	----------	-------	--------------	-------------------	---	--	-------	---------------

第90表 2011-〇〇 出土遺物観察表

第66図 1 図版一	B06SM ・SN	土師器 甕	— — —	体部内外面・把手部ナデ	1.0mm以下の白色 粒子を多く含む	硬	2.5YR5/6 (明赤褐色) 2.5YR5/6 (明赤褐色) 10YR3/1 (黒褐色)	—	把手
------------------	--------------	----------	-------------	-------------	-----------------------	---	---	---	----

第91表 2012-〇〇 出土遺物観察表

第68図 1 図版43	B06UO	須恵器 坏蓋	(14.4) 4.75 —	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、頂部内面ナデ、 外面ヘラケズリ→ロクロ回 転ナデ	1～3mm大の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	80%	
第68図 2 図版43	B06UO	土師器 坏	(13.0) 3.6 7.5	口縁部内外面ヨコナデ?底 部内外面ナデ?器面磨減顕 著、調整不明	2mm大の赤褐色粒 と1mm大の黒色粒、 1～2mm大の茶色 粒を含む	軟	7.5YR7/6 (橙色) 7.5YR6/6 (橙色) 7.5YR7/6 (橙色)	80%	

第92表 2013-〇〇 出土遺物観察表

第71図 1 図版43	B06VW	土師器 坏	(14.2) 5.45 —	口縁部内外面ヨコナデ?底 部内外面ナデ?器面磨減顕 著、調整不明	1～2mm大の小石 と1mm以下の白色 粒を多く含む	中	5YR6/6 (橙色) 5YR6/6 (橙色) 5YR6/6 (橙色)	30%	
第71図 2 図版43	B06UR	土師器 高坏	(15.8) (4.1) —	口縁部内外面ヨコナデ?坏 部内外面ナデ?器面磨減顕 著、調整不明	2mm以下の砂粒 (赤色・白色粒子) を多く含む	硬	7.5YR7/6 (橙色) 7.5YR7/6 (橙色) 7.5YR7/6 (橙色)	12%	坏部

第93表 2015-〇〇 出土遺物観察表

第72図 1 図版110	上層 B06WO	須恵器 坏身	(10.4) 2.2 —	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	1mm以下の白色砂 粒を含む	軟	7.5YR7/1 (灰白色) 7.5YR7/1 (灰白色) 7.5YR7/1 (灰白色)	5%以下	
第72図 2 図版43	B06XO	土師器 甕	19.8 (33.1) —	口縁部内外面ヨコナデ、体部 外面縦or斜ハケ(10本/cm)体 部外面上半部ヘラケズリ→横 or斜ハケ(13本/cm)下半部ヘ ラケズリ→斜ハケ(7本/cm)	2mm以下の砂粒 (白色・赤色粒子) を含む	中	10YR5/2 (灰黄褐色) 10YR5/2 (灰黄褐色) 10YR6/3 (ぶい黄褐色)	70%	体部内面に オコゲ付着 外面に黒斑

第94表 2017-〇〇 出土遺物観察表

第76図 1 図版一	B06WO	須恵器 甕	— (3.2) —	体部内面ロクロ回転ナデ、 外面ヘラケズリ、沈線2本 底部外面ヘラケズリ(L)	1.5mm以下の白色 砂粒と9.0mm位の 小石を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	15%	
------------------	-------	----------	-----------------	--	-----------------------------------	---	--	-----	--

第95表 2022-〇〇 出土遺物観察表

第78図 1 図版43	B11HU	須恵器 坏蓋	13.6 2.7 —	口縁部・頂部内外面ロクロ 回転ナデ、外面ヘラケズリ →ロクロ回転ナデ	細砂粒を多く含む (1mm以下)白	硬	2.5GY7/1(明オリーブ灰色) 2.5GY7/1(明オリーブ灰色) —	—	ほぼ完形
第78図 2 図版44	B11HU	須恵器 坏蓋	14.4 2.05 —	口縁部・頂部内外面ロクロ 回転ナデ、外面ヘラケズリ →ロクロ回転ナデ 器面磨減顕著	1mm以下の白色砂 粒を含む	やや 軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	80%	
第78図 3 図版一	B11HU	須恵器 坏身	(12.6) (2.6) —	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	白色細粒を含み密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	8%未満	
第78図 4 図版43	B11HU	須恵器 坏身	(13.2) 4.05 (9.8)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナデ、 器面磨減顕著	密	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	40%	
第78図 5 図版	B11HU	須恵器 坏	— — —	底部内面ナデ、外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 2.5YR5/3(ぶい赤褐色)	—	底部外面に ヘラ記号
第78図 6 図版43	B11HU	土師器 坏	(13.1) 3.45 —	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ	1mm以下の白色粒 子を含む	中	7.5YR6/8 (橙色) 7.5YR6/8 (橙色) 7.5YR6/8 (橙色)	20%	



挿図 No. 図版	層位 地区	器種 器形	l. 法量 h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第78図 7 図版—	B11HU	土師器 皿	(17.6) 2.2	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ	細砂(白色粒子)を 含む	硬	7.5YR6/6 (橙色) 7.5YR6/6 (橙色) 7.5YR6/6 (橙色)	6%未満	
第78図 8 図版43	B11HU	土師器 皿	(19.0) 2.0	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ?外面ヘラケズ リ?器面磨滅顕著	1mm以下の白色砂 粒を含む	中	5YR5/6 (明赤褐色) 5YR5/6 (明赤褐色) 5YR5/6 (明赤褐色)	25%	
第78図 9 図版—	B11HU	土師器 甕	(16.0) (7.75)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(4本/cm)、内 面ヘラケズリ?底部内面斜 ハケ、口唇部面取り	1mm以下の赤色粒 子・白色粒子を含 む	中	2.5YR8/2 (灰白色) 2.5YR5/4 (にぶい赤褐色) 2.5YR5/4 (にぶい赤褐色)	10%	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡、器面 磨滅顕著、

第96表 2023-00 出土遺物観察表

第80図 1 図版44	B11KT	須恵器 坏身	15.2 5.1 9.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナデ	緻密	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	80%	
第80図 2 図版—	B11KT	土師器 坏	(11.9) (2.7)	口縁部内外面ヨコナデ	2mm以下の白色砂 粒を多く含む	中	7.5YR7/2 (明褐灰色) 7.5YR7/3 (にぶい橙色) 7.5YR7/3 (にぶい橙色)	10%	
第80図 3 図版44	B11KT	土師器 皿	(14.5) 2.25	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、底部外面指 頭圧痕	1mm以下の白色粒 を多く含む	中	5YR8/2 (灰白色) 5YR8/2 (灰白色) 5YR6/8 (明赤褐色)	40%	
第80図 4 図版44	B11KT	土師器 皿	(18.8) 1.7	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、底部外面指 頭圧痕、器面磨滅顕著	2mm以下の白色砂 粒を含む	中	5YR5/2 (灰褐色) 5YR7/4 (にぶい橙色) 5YR7/4 (にぶい橙色)	10%	
第80図 5 図版44	B11KT	土師器 甕	(16.0) 5.1	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦の斜ハケ(7本/cm) 内面ナデ、口唇部面取り	1mm以下の白色砂 粒を含む、密	中	10YR6/1 (褐灰色) 10YR6/1 (褐灰色) 10YR6/2 (灰黄褐色)	10%	体部外面ス ズ付着、口 縁部内面吹 きこぼれ痕 跡

第97表 2024-00 出土遺物観察表

第81図 1 図版—	B12TB	土師器 甕	(6.2)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(6本/cm)内面 横ハケ、器面磨滅顕著	1mm以下の白色砂 粒を含む	中	7.5YR6/6 (橙色) 7.5YR6/6 (橙色) 7.5YR6/6 (橙色)	3%未満	
------------------	-------	----------	-------	---	-------------------	---	---	------	--

第98表 3006-0S 出土遺物観察表

第84図 1 図版44	B06GI	須恵器 坏蓋	12.0 3.4	口縁部内外面・頂部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(L)	細砂粒を含む0.1 mm位の白色粒を少 し含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	80%	頂部外面に ヘラ記号
第84図 2 図版44	B06GH	須恵器 坏身	(10.8) 3.6	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、底部外面ヘ ラケズリ(L)	1mm~4mmの白色 砂粒を含む	軟	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	

第99表 3007-0S 出土遺物観察表

第86図 1 図版—	B06HJ	須恵器 坏蓋	(13.4) 3.7	口縁部内外面・頂部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(L)	黒色・白色粒子を 多く含む	硬	N6/0 (灰色) N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	25%	
第86図 2 図版44	B06HJ	須恵器 坏蓋	(17.0) 3.9	口縁部内外面・頂部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(R)	白色・黒色粒子を 含む	硬	N7/0 (灰白色) 5B6/1 (青灰色) N7/0 (灰白色)	20%	
第86図 3 図版44	B06HJ	須恵器 高坏	(4.15)	坏部内面・脚部内外面ロク ロ回転ナデ	2mm以下の白色砂 粒を含む、密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	脚部
第86図 4 図版44	上層 B06HK	土師器 甕	(22.2) (14.7)	口縁部内外面ヨコナデ?体 部外面斜ハケ(7本/cm?)内 面ヘラケズリ?口唇部面取 り	3mm大の砂粒を多 く含む	中	2.5YR8/3 (淡黄色) 5YR6/8 (橙色) 2.5YR8/3 (淡黄色)	12%未満	器面磨滅顕 著、調整不 明

第100表 3021-O S 出土遺物観察表

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第88図 1 図版45	B06VN	須恵器 坏蓋	(11.7) 4.9 —	口縁部内外面・頂部内面 クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ヘラケズリ(L)	0.1mm大の白色砂 粒を0.1~1.0mm大 の黒色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	45%	
第88図 2 図版45	B06VN	須恵器 坏蓋	12.7 4.0 —	口縁部内外面・頂部内面 クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ヘラケズリ(L)	細砂粒を多く含む 1.0mm大の白色粒 も含む	硬	5PB7/1 (明青灰色) 5PB7/1 (明青灰色) 5PB6/1 (青灰色)	80%	
第88図 3 図版45	B06VN	須恵器 甕	(12.0) (6.8)	口頸部内外面クロ回転ナ デ、外面に浅い沈線2本	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	15%未満	
第88図 4 図版45	B06UN ・VN	須恵器 壺	(13.0) 3.5 —	口頸部内外面クロ回転ナ デ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	5%未満	高坏脚部の 可能性有
第88図 5 図版—	B06VN ・UN	須恵器 高坏	— (8.9)	坏部内面ナデ、脚部内外 面クロ回転ナデ、外面に浅 い沈線2本、脚部内面上半 部しぼり痕跡	2mm以下の白色砂 粒を多く含み密	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	30%	脚部 無孔
第88図 6 図版45	B06VN	須恵器 壺	— (2.2) (11.0)	高台部内外面クロ回転ナ デ、焼成後外からの穿孔2 孔以上	1mm以下の白色砂 粒を少し含み密	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	高台部 30%弱	脚部に穿孔
第88図 7 図版44	B06VN	須恵器 甕	(25.8) (6.8)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、体面当て具痕	1mm以下の白色粒 を含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	7%未満	6519-OPの出土 遺物と整合、口縁 部内外面体部外面 自然釉付着
第88図 8 図版—	B06VN	土師器 甕	(20.5) (35.0) 丸底	口縁部外面ヨコナデ。内面 ヨコナデ後ハケ? 肩部外面 斜ハケ。内面ヘラケズリ? 底部外面ハケ? 内面ヘラケ ズリ?	径6mm以下の砂礫 を多量に含む	中	10YR8/2 (灰白色) 10YR8/2 (灰白色) 7.5YR7/6 (橙褐色)	15%未満	器面磨滅顕 著

第101表 3022-O S 出土遺物観察表

第91図 1 図版—	B06WN	須恵器 坏蓋	(11.0) (3.0)	口縁部内外面クロ回転ナ デ	1mm以下の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	13%未満	
第91図 2 図版—	B06WN	須恵器 坏蓋	(13.0) (3.1)	口縁部内外面・頂部内面 クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ	1mm以下の白色砂 粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	10%	
第91図 3 図版45	B06WN	須恵器 坏身	(9.0) 3.4 —	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナデ、底部外面ヘ ラ切り→ナデ	細砂粒を多く含み、 1.0mmの白色粒も 含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) —	100%	外面自然釉 付着、 120.2g
第91図 4 図版—	B06WN ・XN	須恵器 坏身	(11.0) 3.8 —	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナデ、底部外面ヘ ラ切り→部ヘラケズリ	2mm以下の白色砂 粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	25%	
第91図 5 図版—	B06WN	須恵器 高坏	— (6.8)	坏部内面クロ回転ナデ、 脚部内外面クロ回転ナデ 外面に浅い、沈線2本、脚 部内面上半部しぼり痕跡	1mm大の白色砂粒 を含み密	硬	10BG5/1 (青灰色) 10BG5/1 (青灰色) 10BG5/1 (青灰色)	20%	2段2方透 し脚部
第91図 6 図版45	B06WN	須恵器 大甕	42.6 (88.8)	口頸部外面クロ回転ナデ →描文→浅い沈線2本1 組3単位、内面クロ回転 ナデ、体部外面タタキ→カ キ目、内面当て具痕	0.5mm以下の白色 粒、5mm以下の砂 粒を含む	硬	N7/0 (灰色) N8/0 (灰白色) —	55%	P-1,3,16~40、 42~45,47~ 56,58,59,61 ~66,68~72
第91図 7 図版45	B06WN	土師器 坏	(10.9) (4.3)	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨滅顕著、調整不明	1mm以下の白色粒 子を多く赤色粒子 を少なく含む	やや軟	7.5YR7/3(にぶい橙 色) 7.5YR7/3(にぶい橙 色) 7.5YR7/3(にぶい橙 色)	25%	
第91図 8 図版45	B06XN	土師器 坏	(12.0) (3.65)	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨滅顕著、調整不明	2mm以下の白色砂 粒を多く含む	中	7.5YR6/6 (橙 色) 7.5YR6/6 (橙 色) 7.5YR6/6 (橙 色)	45%	底部外面に 黒斑

第102表 3027-O S 出土遺物観察表

挿図 No. 図版	層地区	器種 器形	法量 l. h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第97図 1 図版—	B11A T	須恵器 坏蓋	(10.2) 2.6	口縁部内外面・頂部内面 クロ回転ナデ? 外面ヘラ切 り→ナデ? 器面磨減顕著、 調整不明	0.5mm以下の白色 粒と黒色微粒を含む	軟	10Y8/1 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	
第97図 2 図版46・47	B11B T	須恵器 坏蓋	10.5 3.3	口縁部内外面・頂部内面 クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り未調整(R)	1~2mm大の白色 粒を多く含む、5 mm大の灰色粒を若 干含む	軟	7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色)	90%	外面ヘラ記 号
第97図 3 図版46・47	B11B P	須恵器 坏蓋	10.6 (3.5)	口縁部内外面・頂部内面 クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ヘラケズリ	2mm大の白色粒を 含む	硬	10Y5/1 (灰色) 10Y5/1 (灰色) 10Y5/1 (灰色)	60%	
第97図 4 図版46・47	B11B P	須恵器 坏蓋	(11.2) 3.3	口縁部内外面クロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラ切り未調整	密	硬	5B4/1 (暗青灰色) 5B4/1 (暗青灰色) 5B3/1 (暗青灰色)	25%	
第97図 5 図版46・47	B11B P	須恵器 坏蓋	(11.1) (3.4)	口縁部内外面・頂部内面 クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ヘラケズリ	砂粒を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	20%	
第97図 6 図版46・47	B11B P	須恵器 坏身	9.15 3.25	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り→一部ナデ外 面自然袖付着	白色砂粒を含む	硬	5B7/1 (明青灰色) 5B7/1 (明青灰色)	100%	底部外面に ヘラ記号 148.2g
第97図 7 図版—	B11B P	須恵器 坏身	(9.4) 3.2	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り未調整(R)	1~2mmの白色・ 褐色粒を含む	硬	N7/0 (灰色) N7/0 (灰色) N7/0 (灰色)	60%	
第97図 8 図版46・47	B11B P	須恵器 高坏	10.9 5.2 6.8	坏部・脚部内外面クロ回 転ナデ? 器面磨減顕著、調 整不明	細砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	80%	
第97図 9 図版—	B11B P	須恵器 高坏	— (3.2) 7.3	坏部・脚部内外面クロ回 転ナデ? 器面磨減顕著、調 整不明	2~4mm大の褐色 粒を多く含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	30%	
第97図 10 図版46・47	B11B P	須恵器 高坏	9.6 6.1 7.4	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラケズリ、脚部内外 面クロ回転ナデ	2mm大の白色粒を 若干含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	
第97図 11 図版—	B11B P	須恵器 高坏	— (5.4) 7.5	坏部内面ナデ、脚部内外 面クロ回転ナデ、外面に浅 い沈線1本	密	硬	5B5/1 (青灰色) 5B5/1 (青灰色) 5B5/1 (青灰色)	45%	脚部 脚部外面に 自然袖付着
第97図 12 図版46・47	B11B P	須恵器 壺	15.7 23.2	口頸部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ目、内面 当て具痕、底部内面ナデ、外面 ヘラケズリ、器面磨減顕著	細砂粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	95%	頸部外面に ヘラ記号
第97図 13 図版46	B11A T	須恵器 甕	(28.1) (62.0)	口頸部外面クロ回転ナデ→櫛 描文→2本1対の沈線2組、内 面クロ回転ナデ体部外面タ タキ→カキ目、内面当て具痕	1mm以下の白色砂 粒を含み密	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) 5RP6/1 (紫灰色)	40%	底部に歪み
第97図 14 図版—	B11B P	土師器 高坏	— (4.8)	脚部外面ナデ? 内面横ハケ、 (8本/cm)しぼり痕跡あり、 外面磨減顕著	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	中	7.5YR8/3 (浅黄褐色) 10YR8/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色)	25%	脚部
第98図 15 図版46	B11B R	須恵器 甕	— (56.4)	口縁部外面クロ回転ナデ→櫛 描文→浅い沈線2本単位、計4本、内面 クロ回転ナデ、頸部内面ナデ、体部 外面タタキ→カキ目、内面当て具痕	4.0mm以下の白色 小石・粒子を多く 含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) N6/0 (灰色)	65%	

第103表 3030-O S 出土遺物観察表

第100図 1 図版—	B11H S	須恵器 坏身	(13.2) 3.55 (10.0)	口縁部内外面・底部内面 クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り未調整	白色粒子を含み密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	15%未満	
-------------------	--------	-----------	--------------------------	-------------------------------------	----------	---	--	-------	--

第104表 3031-O S 出土遺物観察表

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	法 量 1. h. b.	調 整	胎 土	焼成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第100図 5 図版一	B11FS	土師器 皿	(11.2) 1.85 —	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨減顯著、調整不明	1mm以下の砂粒・ 赤色粒子を少量含 み密	中	7.5YR7/6 (橙色) 7.5YR7/6 (橙色) 7.5YR7/6 (橙色)	30%	

第105表 3032-O S 出土遺物観察表

第100図 2 図版一	B11FT	土師器 杯	(13.5) (2.7) —	口縁部内外面ヨコナデ	0.5mm以下の白色 粒を多く含む	中	5Y8/2 (灰白色) 5Y8/2 (灰白色) 5YR5/8 (明赤褐色)	10%	
第100図 3 図版47	B11FT	土師器 皿	(13.6) 3.3 —	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、器面磨減顯 著	3mm位の白色小石2.5 mm位の黒褐色小石、 2mm以下の白・赤褐 色砂粒を含む	中	7.5YR4/6 (褐色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色) 7.5YR4/6 (褐色)	15%	口縁部外面 黒斑あり
第100図 4 図版48	B11GT	土師器 杯	(14.9) 3.2 —	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨減顯著、調整不明	2mm以下の赤褐色・ 白色砂粒(シャモット か?)を含む	中	2.5YR6/8 (褐色) 5YR7/4 (にぶい橙色) 5YR7/4 (にぶい橙色)	25%	

第106表 3033-O S 出土遺物観察表

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調  (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第105図 1 図版69	B11J R	土師器 甕	口径(39.5) 器高6.4	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ、内面ヘラケ ズリ? 器面磨減顕著	0.5~2mm大の白・ 灰色砂粒を含む	中	10YR4/2 (灰黄褐色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色) 2.5Y6/1 (黄灰色)	6%未満	
第105図 2 図版52	B11J S ・JR	須恵器 坏蓋 <sup>(a)</sup>	口径10.9 器高3.5	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部ヘラ切り未調 整(L)	粗砂粒(2~4mm白 色)を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	90%	歪み顕著
第105図 3 図版55	B11J S	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径(9.2) 器高3.7	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、底部ヘラ切 り→回転ヘラケズリ(R)	細砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	外面自然釉 付着
第105図 4 図版56	B11J S	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径9.1 器高3.6	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部ヘラ切り未調 整(R)	微砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	100%	
第105図 5 図版56	アゼ B11J S	須恵器 坏身	口径(9.6) 器高3.9	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り 未調整(R)	2mm以下の白色砂 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	歪み顕著
第105図 6 図版56	B11J S	須恵器 坏身	口径(10.1) 器高(3.6)	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部ヘラ切り未調 整(R)	0.5~1mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 7.5Y8/1 (灰白色)	25%	
第105図 7 図版56	B11J S	須恵器 坏身	口径(11.3) 器高4.2	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	2~5mm以下の白・ 黒・茶色砂粒を含 む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	45%	
第105図 8 図版119	B11J S	須恵器 甕	口径(17.2) 器高(4.1)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) 5PB5/1 (青灰色) N7/0 (灰白色)	5%	外面ヘラ記 号
第105図 9 図版—	B11J S	土師器 坏	口径(18.2) 器高(7.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体部 内面ナデ、外面ヘラケズリ→ヘラ ミガキ、体部内面2段放射状暗 文・螺旋状暗文	0.5~2mm大の白 色砂粒を多く含み、 0.5~2mm大の褐 色砂粒を含む	中	10YR8/2 (灰白色) 2.5YR5/6 (明赤褐色) 2.5YR6/6 (褐色)	15%未満	
第105図 10 図版61	B11J S	土師器 高坏	口径(8.3) 底径10.2	脚柱部外面ヘラケズリ、内 面ナデ、裾部外面ナデ・爪 形圧痕多数あり、内面布目 圧痕	0.5~2.0mm大の白・ 灰・褐色砂粒を多 く含む	中	5YR7/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/8 (明赤褐色)	50%	脚部
第105図 11 図版69	アゼ B11J S	土師器 甕	口径(28.8) 器高(10.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内面ヘラケズリ、外面ナ デ? 器面磨減顕著	0.5~5.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 10YR8/2 (灰白色)	4%未満	
第105図 12 図版62	B11K T	土師器 鉢	口径(19.1) 器高11.1	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ? 器面磨減顕 著	0.5~4mm大の白・ 灰・褐・黒色砂粒 を多く含む	やや 軟	5YR6/4 (にぶい褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色)	20%	
第105図 13 図版—	B11K T	須恵器 坏身	口径10.9 器高4.0	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部内面ナデ、外 面ヘラ切り未調整(R)	白色微砂粒を多く 含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	60%	
第106図 14 図版52	B11K S (地区不明)	須恵器 坏蓋	口径(10.1) 器高3.5	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部外面ヘラ切り →ヘラケズリ(R)	2~3mm以下の白・ 黒色粒子を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	50%	
第106図 15 図版52	B11K S	須恵器 坏蓋	口径(10.4) 器高3.2	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部外面ヘラ切り →ヘラケズリ(R)・ナデ	2mm以下の白・黒 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第106図 16 図版52	B11K S	須恵器 坏蓋	口径(10.6) 器高3.4	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部外面ヘラ切り (L)→ナデ	4~7mm以下の白 色砂粒を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	
第106図 17 図版56	B11K S	須恵器 坏身	口径(8.4) 器高3.3	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ヘラケズリ(R)	1mm以下の白・黒 色粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	40%	
第106図 18 図版56	B11K S	須恵器 坏身	口径(9.4) 器高3.0	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り 未調整(L)	2~4mm以下の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調  (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第106図 19 図版56	B11K S	須恵器 坏身	口径10.0 器高3.6 底径7.0	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	1~4mmの白・灰・ 黒色粒を含む	硬	N4/0 (灰色) N4/0 (灰色) 10YR3/4 (暗褐色)	95%	西側側溝よ り出土
第106図 20 図版56	B11K S	須恵器 坏身	口径(9.7) 器高3.6 —	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	西側側溝よ り出土
第106図 21 図版56	B11K S	須恵器 坏身	口径(9.6) 器高3.3 —	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	2mm以下の白・黒 色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	35%	
第106図 22 図版—	B11K S	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径(10.3) 器高3.1 底径(6.0)	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	緻密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 2.5YR4/4 (にぶい赤褐色)	30%	坏(G)の可 能性あり、 歪み顕著
第106図 23 図版56	B11K S	須恵器 坏蓋	口径(9.4) 器高3.75 —	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部外面ヘラ切り 未調整(L)	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	5PB4/1 (暗青灰色) N6/0 (灰色) 2.5YR5/2 (灰赤色)	80%	
第106図 24 図版56	B11K S	須恵器 坏身	口径(10.4) 器高3.7 —	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部内面ナデ、外 面ヘラ切り(L)→ナデ	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	80%	
第106図 25 図版56	B11K S	須恵器 坏身	口径(11.5) 器高4.0 —	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り 未調整(L)	白色粒子を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 7.5R4/3 (にぶい赤褐色)	25%	西側側溝よ り出土、や や歪む
第106図 26 図版57	B11K S	須恵器 坏蓋	口径(11.9) 器高4.0 —	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部外面ヘラ切り →ナデ	2mm以下の白・黒 色粒子を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	45%	やや歪む 外面火摩
第106図 27 図版—	B11K S	須恵器 坏身	口径(13.9) 器高5.1 底径(8.6)	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ヘラズリ→ロクロ回転 ナデ	2~4mm以下の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	
第106図 28 図版61	B11K S	須恵器 高坏	口径(5.4) 器高(12.0) 底径(12.0)	坏底内面ナデ、脚内外面ロ クロ回転ナデ	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を多く含む、 0.1~2.5大の灰色 砂粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	脚部 50%	脚部
第106図 29 図版—	B11K S	須恵器 皿	口径(25.0) 器高(4.2) —	口縁部内外面、体部内外面 ロクロ回転ナデ、体部外面 ヘラズリ(L)	2.0mm以下の白色 砂粒を含み密	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	3%未満	
第106図 30 図版—	B11K S	須恵器 横瓶	口径(15.5) 器高(9.5) —	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	0.1~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	6%未満	
第106図 31 図版64	B11K S	須恵器 長頸壺	口径(9.8) 器高(8.8) —	口頸部内外面ロクロ回転ナ デ	1.0~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y5/1 (灰色)	25%未満	内外面自然 釉付着
第106図 32 図版—	B11K S	須恵器 平瓶	口径(12.5) 器高(11.9) —	口頸部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	0.1~1.5mm大の白・ 黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) 10Y5/1 (灰色) N7/0 (灰白色)	5%未満	口頸・体部 内外面自然 釉付着
第106図 33 図版62	B11K S ・L T	須恵器 鉢	口径(25.0) 器高(17.7) 底径(12.2)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ? 底部外面ヘラケ ズリ? 器面磨減顕著	2.0mm以下の白・ 黒色粒子を多く含 む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	30%	5041-OX と接合(B11LT)
第106図 34 図版68	B11K S	土師器 坏	口径(15.0) 器高4.9 —	口縁部内外面ヨコナデ、器 面磨減顕著	0.5~1.0mm大の白 色、2.0mm大の灰 色砂粒を含む	中	10YR5/4 (にぶい黄褐色) 10YR5/3 (にぶい黄褐色) 7.5YR5/6 (明褐色)	75%	
第106図 35 図版68	B11K S	土師器 坏	口径(17.3) 器高5.0 —	口縁内外面ヨコナデ、体部外面ヘ ラケズリ→部ヘラミガキ、体部内面 ナデ、底部外面ヘラケズリ→ハケ(7 本/ea)、体部内面放射状縮文	0.5~1.0mm大の白 色、灰色砂粒を含 む	中	5YR6/6 (橙色) 2.5YR5/6 (明赤褐色) 5YR6/6 (橙色)	55%	磨減顕著
第106図 36 図版69	B11K S ・G R	土師器 甕	口径(16.7) 器高(7.9) —	口頸部内外面ヨコナデ、頸部外面斜 ハケ(12本/ea)、口縁部内面ヨコナ デ→ヨコハケ(10本/ea)、器面磨減 顕著、未調整	0.5~3.0mm大の白・ 黒・赤色砂粒を含 む	軟	10YR8/3 (浅黄色) 2.5YR8/3 (浅黄色) 2.5YR8/2 (灰白色)	10%未満	5041-OXと 接合(B11GR) 口縁部内面ス ス付着
第107図 37 図版62	B11L T ・H R ・I S	須恵器 皿	口径(26.9) 器高5.3 —	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、外面ヘラケズリ(L)	2.0mm以下の砂粒 を含み粗い	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	25%	5041-OXと 接合(B11HR- IS)、底部外 面ヘラ記号

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調	(内面) (外面 (断面)	残 存 率	摘 要
第107図 38 図版57	B11LT	須恵器 坏身	口径(9.5) 器高3.4	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り 未調整(R)	1.0~5.0mm以下の 白色砂粒を多く含 む	硬	N5/0 N6/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	40%	
第107図 39 図版57	最下層 B11LT	須恵器 坏身 <sup>(c)</sup>	口径9.8 器高3.9	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り、 未調整(R)	緻密	硬	N8/0 N7/0	(灰白色) (灰白色)	50%	
第107図 40 図版57	B11LT	須恵器 坏身	口径(10.7) 器高4.0	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ヘラケズリ(R)	1mm以下の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 N7/0 N6/0	(灰色) (灰白色) (灰色)	35%未満	
第107図 41 図版57	最上層 B11LT	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径11.6 器高3.8	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り 未調整(R)	3.0mm大の白色粒 を多く含む	硬	N8/0 5Y6/1	(灰白色) (灰色)	80%	
第107図 42 図版57	最下層 B11LT	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径(15.3) 器高(4.0)	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り (R)→ナデ、体部外面に浅 い沈線2本	1~5mmの白・黒 色砂粒を多く含む	硬	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	95%	
第107図 43 図版60	B11LT	須恵器 坏	口径11.9 器高4.5 底径6.6	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ロクロ回転ナデ	0.1~2.0mm位の白・ 茶色砂粒あり	中	N8/0 N8/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	80%	5041-OX と接合 (B11LT)
第107図 44 図版63	B11LT	須恵器 甕	口径(23.7) 器高(19.2)	口縁部内外面ロクロ回転ナデ、体部 上半外面タタキ→カキ目(部)、体部 下半外面タタキ→カキ目(種)内面当 て具痕、体部外面に浅い沈線2本	1.0mm以下の白色 粒と2.0mm以下の 黒色粒を含む	硬	N6/0 N6/0 N8/0	(灰色) (灰色) (灰白色)	25%	
第107図 45 図版66	B11LT ・JR ・JS	須恵器 甕	口径(17.8) 器高(27.4)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ、内面 当て具痕	0.5~2.0mm位の灰 色砂粒を含む	軟	N8/0 N6/0 N8/0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	35%	
第107図 46 図版—	B11LT	土師器 坏	口径(16.9) 器高6.4	口縁部内外面ヨコナデ?器 面磨減顕著、調整不明	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	7.5YR7/6 5YR6/6 5YR6/6	(橙色) (橙色) (橙色)	12%未満	
第108図 47 図版52	B11MT	須恵器 坏蓋	口径9.9 器高2.9	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部ヘラ切り→ナ デ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 N6/0 N7/0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	95%	
第108図 48 図版52	B11MT	須恵器 坏蓋	口径(10.9) 器高3.5	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部ヘラ切り未調 整(L)	0.5~1.5mm大の白・ 黒色砂粒を含む	中	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	50%	
第108図 49 図版52	B11MT	須恵器 坏蓋	口径(12.3) 器高3.6	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、頂部ヘラ切り→ナ デ?	0.5~1.5mm大の白・ 灰色砂粒を含む	軟	N8/0 N8/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	65%	
第108図 50 図版—	上層 B11MT	須恵器 坏蓋	口径(10.2) 器高(2.2)	口縁部内外面・頂部内面ロ クロ回転ナデ、頂部外面ヘ ラケズリ(L)	0.5mm大の白色砂 粒を含む	やや 軟	N8/0 N8/0 N6/0	(灰白色) (灰白色) (灰色)	45%	
第108図 51 図版57	B11MT	須恵器 坏身	口径10.0 器高3.7	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	N8/0 N7/0 5Y4/1	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	90%	外面自然釉 付着
第108図 52 図版57	B11MT	須恵器 坏身 <sup>(c)</sup>	口径10.7 器高3.8	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り 未調整(R)	4.0mmの白色粒を 含む	硬	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	70%	
第108図 53 図版—	B11MT	須恵器 坏身	口径(11.4) 器高4.95	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 N6/0 N7/0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	45%	底部外面へ ラ記号
第108図 54 図版—	上層 B11MT	須恵器 坏身	口径(10.6) 器高3.8	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	硬	N8/0 N7/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	25%	
第108図 55 図版57	上層 B11MT	須恵器 坏身	口径10.1 器高4.0 底径7.6	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、体部外面ヘ ラケズリ(R)、底部外面ヘ ラ切り→ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	中	N8/0 N7/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	95%	
第108図 56 図版57	B11MT	須恵器 坏身	口径(10.4) 器高4.1	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ナデ?器面磨減顕著	0.5~1.0mm大の白・ 灰色砂粒を含む	軟	2.5Y7/3 2.5Y7/4 2.5Y7/3	(浅黄色) (浅黄色) (浅黄色)	80%	

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	法 量 l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第108図 57 図版60	上層 B11MT	須恵器 坏	口径14.1 器高4.8 底径9.1	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ヘラケズリ→ロクロ回転 ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	中	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) 7.5R2/2 (極青色)	75%	
第108図 58 図版60	B11MT	須恵器 坏	口径(13.7) 器高(4.0)	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り →ヘラケズリ→ロクロ回転 ナデ	0.5~3.0mm大の白・ 赤色粒子を含む	中	5B5/1 (青灰色) 5B5/1 (青灰色) 10R5/2 (灰赤色)	50%	
第108図 59 図版62	B11MT ・LS	須恵器 皿	口径(20.4) 器高(3.4)	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラケズ リ(L)	0.5mm大の白色砂 粒を含む、6mm角 の礫も含まれる	中	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	15%未満	5041-OX と同一個体 (B11LS)
第108図 60 図版62	B11MT	須恵器 皿	口径(23.8) 器高(5.2)	口縁・体部内外面ロクロ回 転ナデ? 底部外面ヘラケズ リ? 器面磨減顕著	0.5~3.0mm大の白・ 灰色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	
第108図 61 図版62	B11MT	須恵器 鉢	口径(15.6) 器高8.5 底径(8.5)	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面ロクロ回転ナデ、 体部外面下半部・底部ヘラ ケズリ、器面磨減顕著	0.5mm大の白色砂 粒を含む	軟	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y6/1 (灰色)	45%	
第108図 62 図版62	B11MT	須恵器 鉢	口径(21.7) 器高9.5 底径(10.8)	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面ロクロ回転ナデ? 体部外面下半部・底部ヘラ ケズリ? 器面磨減顕著	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	軟	N3/0 (暗灰色) N3/0 (暗灰色) N6/0 (灰色)	10%	
第108図 63 図版64	上層 B11MT	須恵器 壺	器高(17.9)	頸部内外面・体部外面上半部・ 体部内面ロクロ回転ナデ、体部 外面下半部ヘラケズリ(R)底部 外面ロクロ回転ナデ	2.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色)	55%	体部外面自 然釉付着
第108図 64 図版65	B11MT	須恵器 横瓶	器高(22.1)	外面タタキ→カキ目、内面 当て具痕	1.0~4.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	70%	
第109図 65 図版—	上層 B11MT	須恵器 横瓶	口径(12.0) 器高(3.1)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頸部内面当て具痕	0.5~1.5mm大の灰 色砂粒を含む	中	N5/0 (灰色) N4/0 (灰色) N5/0 (灰色)	30%未満	口縁部内面 ヘラ記号
第109図 66 図版—	B11MT	須恵器 甕	口径(21.8) 器高(4.0)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	0.5~1.0mm大の白・ 黒色粒子を含む	中	N5/0 (灰色) N4/0 (灰色) N5/0 (灰色)	5%未満	
第109図 67 図版65	B11MT ・NU	須恵器 平瓶	器高(15.5) 底径7.9	口縁部内外面・体部外面上半部・体 部内面ロクロ回転ナデ、体部外面下 半部ヘラケズリ(L)、底部外面ヘラ 切り→ナデ、頸部に沈線2本	白色微粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	90%	頸部外面~ 体部外面上 半部自然釉 付着
第109図 68 図版—	上層 B11MT	須恵器 平瓶	器高(13.0) 底径8.8	口縁部内外面・体部外面上半部・体 部内面ロクロ回転ナデ、体部外面下 半部ヘラケズリ(L)、底部外面ヘラ 切り→ナデ	白色微粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	60%	
第109図 69 図版65	B11NT ・MT	須恵器 壺	口径(8.5) 底径9.8	体部内外面ロクロ回転ナデ、 底部内面ナデ、外面ヘラケ ズリ→ロクロ回転ナデ、体 部外面に浅い沈線6本	0.5~3.0mm大の灰 色砂粒を多く含み、 5.0mm角の小石も 含む	中	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	40%未満	高台部に径 約3.0mmの 穿孔3
第109図 70 図版62	上層 B11MT ・NT	須恵器 鉢	器高(9.4) 底径8.0	体部内外面ロクロ回転ナデ? 底部外面ヘラケズリ? 器面 磨減顕著	0.5~2.0mm大の白・ 灰色砂粒を含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 5Y6/1 (灰色)	40%	B11MT
第109図 71 図版—	B11MT	土師器 坏	口径(19.4) 器高3.5	口縁部内外面ヨコナデ、器 面磨減顕著、調整不明	0.5mm大の白色砂 粒、赤色粒子を多 く含む	中	10YR8/1 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色)	10%未満	
第109図 72 図版—	B11MT	土師器 坏	口径(19.6) 器高(3.0)	口縁部内外面ヨコナデ、器 面磨減顕著、調整不明	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色) 7.5YR4/4 (褐色)	10%	口縁部外面 黒斑
第109図 73 図版73	B11MT	土師器 甕	口径(14.1) 器高11.0	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上半部ナデ、下半部 斜ハケ(14本/cm)	2.0mm未満の赤・ 白粒子、チャート、 小石等を含む	中	10YR7/2(にぶい黄褐色) 10YR7/2(にぶい黄褐色) 5YR5/4(にぶい赤褐色)	65%	体部外面ス ス付着
第109図 74 図版—	B11MT	土師器 甕	口径(25.2) 器高(6.9)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(10本/cm)内 面ヘラケズリ→ナデ	0.5~1.0mm大の白・ 褐色砂粒・黒雲母 粒を含む	中	10YR4/2 (灰黄褐色) 10YR7/2(にぶい黄褐色) 7.5YR7/4(にぶい褐色)	6%	
第109図 75 図版—	B11MT	土師器 甕	口径(20.7) 器高(13.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(16本/cm)、内 面ヘラケズリ	3.0mm以下の小石 を含む	中	5YR7/4(にぶい褐色) 5YR7/4(にぶい褐色) 5YR7/4(にぶい褐色)	25%	体部外面黒 斑あり、ス ス付着



挿図 No. 図版	層 地 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面 断面)	残 存 率	摘 要
第110図 76 図版72	B11MT	土師器 甕	口径(34.4) 器高(10.6)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(12本/cm)内 面ヘラケズリ、頸部内面斜 ハケ(12本/cm)	0.5~3.0mm大の白・ 灰色砂粒を多く含 む	中	5Y6/1 (灰色) 2.5Y8/1 (灰白色) 5Y6/1 (灰色)	5%未満	
第110図 77 図版66	B11MT	須恵器 甕	口径(19.6) 器高29.0	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0~2.0mm位の赤・ 灰色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	30%	
第110図 78 図版66	第2層 B11MT ・ER・PX	須恵器 甕	口径24.2 器高(27.9)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	0.5~2.0mm位の灰 色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	B11ER ・MT ・PX
第111図 79 図版58	B11NU	須恵器 坏身	口径(9.9) 器高3.9	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色)	55%	
第111図 80 図版65	B11NU	須恵器 壺	器高(11.7) 底径5.4	体部外面上半部・内面クロ 回転ナデ、体部外面下半 部・底部外面手持ちヘラケ ズリ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	体部外面上 半部自然袖 付着
第111図 81 図版—	中層 B11NU	須恵器 壺	器高(7.8) 底径(10.8)	体部内面・脚部内外面クロ 回転ナデ、体部外面ヘラ ケズリ(R)	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	5%未満	
第111図 82 図版—	B11NU	須恵器 鉢	口径(19.5) 器高(20.1)	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面クロ回転ナデ、 体部外面下半部ヘラケズリ (R)口唇部面取	0.1~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	軟	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色)	10%未満	
第111図 83 図版69	B11NU	土師器 甕	口径(22.5) 器高(7.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(9本/cm)内 面ヨコハケ(9本/cm)	0.5~1.5mm大の白 色、0.5~2.5mm大 の灰色褐色砂粒を 含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 10YR8/1 (灰白色) 7.5YR6/6 (褐色)	3%	口縁部内外 面自然袖付 着
第111図 84 図版—	B11NU	須恵器 甕	口径(38.8) 器高(13.0)	口縁部外面クロ回転ナ デ→ヘラ描沈線文、内面クロ 回転ナデ	0.5~3.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5Y4/1 (灰色) 5Y4/3 (暗オリーブ色) 5Y7/1 (灰白色)	5%未満	
第111図 85 図版—	B11NU ・MT・OX ・LT	須恵器 甕	口径(36.2) 器高(15.4)	口縁部外面クロ回転ナ デ→櫛描文(4本単位)・ヘラ 描沈線文、内面クロ回転 ナデ	0.5~7.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	25%	
第112図 86 図版68	B11OU	須恵器 坏身	口径(10.5) 器高2.9	口縁・体部内外面クロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り (L)→ナデ	0.5~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	55%	
第112図 87 図版—	B11OU	須恵器 坏身	口径(9.7) 器高(3.4) 底径(7.2)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	15%	口縁部外面 自然袖付着
第112図 88 図版58	B11OU	須恵器 坏身	口径(11.2) 器高4.4	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	2.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	30%	
第112図 89 図版55	B11OU	須恵器 坏身 <small>内</small>	口径9.0 器高2.8	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	0.1~2.0mmの細砂 粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	100%	107.6g
第112図 90 図版—	B11OU	須恵器 高坏	器高(10.0)	脚部内外面クロ回転ナ デ、外面に沈線2本	0.1~3.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N4/0 (灰色) 5P5/1 (紫灰色)	20%	脚部 長脚2段2 方透し
第112図 91 図版—	B11OU ・PY(V)	須恵器 甕	口径(14.4) 器高6.7	口頸部内外面クロ回転ナ デ、頸部外面の一部に波状 文、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	2.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	10YR5/1 (灰色) N7/1 (灰白色) N7/1 (灰白色)	8%未満	口頸部・体 部外面自然 袖付着
第112図 92 図版—	B11OU	須恵器 甕	口径(22.2) 器高(4.5)	口縁部内外面クロ回転ナ デ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N4/0 (灰色) N6/0 (灰色)	5%未満	
第112図 93 図版66	下層 B11OU ・OV・RH ・B12VA	須恵器 甕	口径(27.1) 器高(12.7)	口頸部外面クロ回転ナ デ→ヘラ描文、口縁部内面 クロ回転ナデ、頸部内面当 て具痕	1.0mm以下の白 色粒を2.0~3.0mm の白色粒も少し含 む	硬	N3/0 (暗灰色) N3/0 (暗灰色)	20%未満	B11RX 4001-OR と接合 (B12VA)
第112図 94 図版—	下層 B11OU	須恵器 壺	器高(6.6) 底径(8.2)	体部外面上半部・体部内 面クロ回転ナデ、体部外面 下半部・底部外面ヘラケ ズリ(L)底部内面ナデ	0.5~3.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N6/0 (灰色) 7.5R4/2 (灰白色)	15%未満	底部外面へ ラ記号

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内 面) (外 面) (断 面)	残 存 率	摘 要
第112図 95 図版—	B11OV	須恵器 壺	口径(13.2) 器高(5.6)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頸部外面カキ目、口縁 部外面に沈線2本	0.5~2.0mm位の白 色砂粒を含む	中	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) 7.5Y7/1 (灰白色)	5%未満	
第112図 96 図版—	B11OX	須恵器 甕	口径(13.2) 器高(5.6)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	3.0mm以下の白色 砂粒を含む	中	5B7/1 (明青灰色) 5B7/1 (明青灰色) 5PB3/1 (暗青灰色)	15%未満	
第112図 97 図版55	B11RW	須恵器 坏身	口径(10.0) 器高2.95	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	0.1~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	45%	
第112図 98 図版66	下層 B11RW ・SX B12UR	須恵器 甕	口径(19.1) 器高(7.2)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	15%未満	B11SX・ B12UA 頸部外面ヘ ラ記号
第113図 99 図版—	B11NY	須恵器 坏身	口径(12.9) 器高3.3 底径6.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	1.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	35%	外面自然釉 付着
第113図 100 図版61	B11NY	須恵器 高坏	器高(6.4) 底径(13.4)	坏部内面ナデ、脚部内外面 ロクロ回転ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%未満	脚裾部
第113図 101 図版63	下層 B11NY	須恵器 短頸壺	口径(10.2) 器高3.3	口頸部・体部外面上半部・ 内面ロクロ回転ナデ、体部 外面下半部・底部外面ヘラ ケズリ(L)	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) 5R5/1 (赤灰色)	60%	内外面自然 釉付着
第113図 102 図版64	下層 B11NY	須恵器 壺	器高(9.5) 底径12.6	体部内面ロクロ回転ナデ、 体部外面ヘラケズリ、底部 内外面ナデ、底部外面ヘラ 記号	2.0mm以下の白色 粒を含む	硬	5PB7/1 (明青灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	30%未満	内外面自然 釉付着
第113図 103 図版60	下層 B11OY	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径14.3 器高4.9 底径8.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	1.0mm大の白色粒 を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	内外面自然 釉付着
第113図 104 図版51	B11PX	土師器 坏	口径(11.1) 器高2.5	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、体部内面放 射状暗文	0.5~1.0mm大の白・ 灰色砂粒を含む	中	10YR8/2 (灰白色) 7.5YR6/3 (にぶい褐色) 2.5YR6/6 (褐色)	20%	
第113図 105 図版51・68	B11PX	土師器 坏	口径11.2 器高2.7	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、体部内面放 射状暗文	0.5mm大の白・赤 色砂粒を含む	中	10YR7/2(にぶい黄褐色) 10YR7/2(にぶい黄褐色) 10YR7/1 (灰白色)	55%	
第113図 106 図版51・68	B11PX	土師器 坏	口径(11.5) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、体部内面放 射状暗文	0.5mm大の白・赤 色砂粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 10YR7/1 (灰白色) 5YR5/4 (にぶい赤褐色)	30%	
第113図 107 図版51・68	B11PX	土師器 坏	口径(11.0) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、体部内面放 射状暗文	0.5mm大の白・赤 色砂粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 7.5YR7/2 (明褐色) 5YR6/6 (褐色)	25%	
第113図 108 図版51・68	B11PX	土師器 坏	口径10.9 器高3.0	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内面ナデ、底部外面ヘラ ケズリ、体部内面放射状暗 文	2.0mm以下の白・ 黒・赤色粒子を含む	中	5YR8/4 (淡褐色) 5YR8/4 (淡褐色)	95%	
第113図 109 図版—	B11PX	土師器 皿	口径(14.7) 器高(2.6)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部外面ヘラケズリ	3.0mm以下の赤褐 色砂粒・1.5mm以 下の白色砂粒を含む	中	2.5Y7/3 (淡黄色) 2.5Y8/3 (淡黄色) 2.5Y8/3 (淡黄色)	10%	
第113図 110 図版51・67	B11PX	須恵器 甕	口径28.0 器高(23.9)	口縁部内外面、体部内面ロ クロ回転ナデ、体部外面タ タキ、器面磨滅顕著	0.1~2.0mm位の灰 色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	
第114図 111 図版51・73	B11PX	土師器 甕	口径(15.9) 器高(13.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜or縦ハケ(8本/cm) 内面斜ヘラケズリ	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	10YR7/3(にぶい黄褐色) 10YR7/3(にぶい黄褐色) 10YR7/3(にぶい黄褐色)	12%未満	外面スス・ 内面オコゲ 付着
第114図 112 図版51・64	B11PX	須恵器 壺	器高(9.8) 底径10.0	体部外面ヨコナデ・ヘラケ ズリ、内面ロクロ回転ナデ、 底部外面手持ちヘラケズリ、 体部に浅い沈線2本	2.0mm以下の白色 粒を含む	硬	10R5/6 (赤色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	30%未満	
第114図 113 図版51・66	B11PX	須恵器 甕	口径(26.8) 器高49.0	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0~5.0mm位の白 色砂粒を含む	中	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	80%	口縁部歪み 大

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	l, h, b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第115図 114 図版55	B11Q X	須恵器 坏身	口径(12.4) 器高(3.9)	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナデ、底部外面へ ラケズリ(L)	0.5~2.5mm大の白 色砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	
第115図 115 図版65	B11Q X	須恵器 長頸壺	— 器高(14.2)	体部外面上半部・内面クロ 回転ナデ? 体部外面下半 部ヘラケズリ? 体部外面に 沈線2本・器面磨滅顕著	3.0mm以下の白・ 褐色粒と1.0mm以 下の赤色酸化粒を 含む	やや 軟	7.5YR8/4 (浅黄褐色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5YR8/4 (浅黄褐色)	65%	
第115図 116 図版52	下層 B11R X ・S X	須恵器 坏蓋	口径(10.1) 器高3.3 —	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部外面ヘラ切 り→ナデ	2.0mm以下の白色 粒と1.0mm以下の 黒色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	B11S X
第115図 117 図版67	B11R X	須恵器 甕	口径(16.2) 器高(7.6)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色)	20%未満	
第115図 118 図版—	下層 B11R X	須恵器 高坏	— 器高(11.8)	坏部内面ナデ、脚部内外 面クロ回転ナデ、脚部外 面に沈線2本	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N3/0 (暗灰色) N8/0 (灰白色)	10%未満	2段2方透 し
第115図 119 図版52	B12T A	須恵器 坏蓋	口径11.0 器高3.6 —	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部外面ヘラ切 り→ナデ	2.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	10Y7/1 (灰白色) 10Y7/1 (灰白色) N6/0 (灰色)	60%	
第115図 120 図版66	B12T A	須恵器 甕	口径(21.5) 器高(7.8)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	10%未満	
第115図 121 図版—	B11T Y	須恵器 坏身	口径(10.1) 器高(2.1)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ	白色微粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色)	10%	
第115図 122 図版61	B11T Y	須恵器 坏	口径(14.8) 器高3.0 —	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→クロ回転ナデ	0.5~1.5mm大の白・ 黒色粒子を含む	硬	5B4/1 (暗青灰色) 5B4/1 (暗青灰色) 5B5/1 (青灰色)	20%	123と同個 の可能性あり
第115図 123 図版61	B11T Y	須恵器 高坏	— 器高(5.6) 底径9.8	坏部・脚部内外面クロ回 転ナデ	3.0mm大の白色粒 を含む	硬	5B5/1 (青灰色) 5B5/1 (青灰色) N6/0 (灰色)	50%	122と同個 の可能性あり
第115図 124 図版—	B11T X	須恵器 甕	口径(30.6) 器高(4.2)	口縁部外面クロ回転ナ デ→櫛描波状文、内面クロ 回転ナデ	0.2mm位の白色砂 粒を含む	硬	5Y7/1 (灰白色) 5Y4/2 (灰オリーブ色) 5Y7/1 (灰白色)	5%未満	内外面自然 釉付着
第116図 125 図版52	下層 B11S X B12V~WB	須恵器 坏蓋	口径(9.7) 器高3.1 —	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	0.5mm大の白・黒 砂粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色) N5/0 (灰色)	55%	B11S X
第116図 126 図版—	B11S X	須恵器 坏蓋	口径(10.1) 器高(2.6)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ	白色微粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	15%	
第116図 127 図版58	B11S X B12U A	須恵器 坏身	口径9.0 器高3.2 —	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面ヘラケズリ、 (R)底部内面ナデ、外面ヘ ラ切り未調整(R)	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色) 2.5GY8/1 (灰白色)	55%	
第116図 128 図版55	B11S X	須恵器 坏身	口径(9.9) 器高3.0 —	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	2.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) 5GY7/1 (明オリーブ灰色) —	20%	外面自然釉 付着
第116図 129 図版58	B11S X	須恵器 坏身	口径10.2 器高4.5 —	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	2.0mm以下の白・ 黒色粒子を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	60%	
第116図 130 図版—	B11S X	須恵器 坏身	口径(10.8) 器高5.0 —	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラケズリ(L)	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	
第116図 131 図版—	B11S X ・TY・ HD	須恵器 甕	口径(14.1) 器高(5.5) —	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	0.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	6%未満	
第116図 132 図版—	B11S X	須恵器 壺	口径(19.6) 器高(3.2) —	口縁部内外面クロ回転ナ デ、口縁部外面に櫛描波状 文の痕跡あり	3.0mm以下の白色 砂粒と2.0mm以 下の黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	5%未満	口縁部外面 一部に櫛描 波状文痕跡

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	法 量 l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面 断面)	残 存 率	摘 要
第116図 133 図版70	下層 B11S X	土師器 甕	口径(14.2) 器高(7.2)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→ヨコハケ(9本/ cm)、体部外面縦or斜(9本/ cm)内面ヘラケズリ	0.5~1.5mm大の白・ 灰色砂粒を多く含む	中	2.5Y6/2 (灰黄色) 5YR6/4 (にぶい褐色) 2.5Y6/6 (褐色)	8%未満	外面スス・ 内面オコゲ 付着
第116図 134 図版70	下層 B11S X	土師器 甕	口径(23.2) 器高(5.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(16本/cm)、 内面ヨコor斜ハケ(14本/cm) →ヘラケズリ	0.5~1.0mm大の白・ 赤色粒子を含む	中	7.5YR6/3(にぶい褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色)	8%未満	外面スス・ 内面オコゲ 付着
第116図 135 図版70	下層 B11S X ・ P X	土師器 甕	口径(28.3) 器高(11.6)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→ヨコハケ(10本/ cm)体部外面斜ハケ(11本/ cm)内面ヘラケズリ	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	中	5YR6/4 (にぶい褐色) 7.5YR5/3 (にぶい褐色) 2.5YR5/4(にぶい赤褐色)	6%	B11S X 外面スス付 着
第116図 136 巻頭図版2	上層 B11S X	陶器 坏身	— —	口縁部内外面クロ回転ナ デ→施釉	微砂粒を含む	硬	— (緑色) — (緑色) N7/0 (灰白色)	—	緑釉
第116図 137 図版—	下層 B11T Y ・ U Y	須恵器 坏蓋	口径(12.4) 器高3.2	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部外面ヘラ切 り→ナデ	3.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	35%	B11U Y
第116図 138 図版53	B11T Y	須恵器 坏蓋	口径(12.8) 器高3.75	口縁部・体部内外面ヨコナ デ、頂部外面ヘラ切り未調 整(R)	1.0~3.0mmの白・ 灰・黒色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰色)	90%	
第116図 139 図版—	B11T Y	須恵器 壺	口径(15.3) 器高(5.8)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕、器面磨 減顕著	3.0mm以下の砂粒 を多く含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	6%未満	
第116図 140 図版67	下層 B11T Y	須恵器 甕	口径(19.6) 器高(7.3)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0mm以下の白・ 黒色微粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N5/0 (灰色)	10%	
第117図 141 図版65	B11T Y	須恵器 壺	— 口径(8.8) 器高4.8	口頸部・体部・底部内外面 クロ回転ナデ、頸部・体 部外面に各浅い沈線2本	5.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	5Y5/1 (灰色) 5Y5/1 (灰色) 5Y5/1 (灰色)	70%	底部外面ヘラ 記号 口頸部内外面 自然釉付着
第117図 142 図版—	B11T Y	須恵器 壺	— 器高(6.8)	体部内外面クロ回転ナデ、 体部外面沈線2本と沈線間 に刻み目	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 10R3/2 (暗赤褐色)	13%未満	
第117図 143 図版63	上層 B11T Y	須恵器 鉢	口径(25.6) 器高18.2 底径18.2	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面クロ回転ナデ、 体部外面上半部・底部ヘラ ケズリ(L)口縁部1本・体部2	0.5~1.5mm大の白・ 灰色砂粒を含む	軟	7.5Y7/1 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	60%	
第117図 144 図版—	B11T Y	土師器 甕	口径26.3 器高(11.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(8本/cm)体部 内面上半部ナデ、多数の指 頭圧痕、下半部ヘラケズリ	0.5~1.5mm大の白・ 灰・黒色砂粒を含む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/8 (明赤褐色)	30%	
第117図 145 図版—	下層 B12U A	須恵器 坏蓋	口径(7.0) 器高(2.5)	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナデ、頂部ヘラケ ズリ(L)	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	10Y6/1 (灰色) 10Y6/1 (灰色) 10Y6/1 (灰色)	15%未満	
第117図 146 図版—	下層 B12U A	須恵器 甕	口径(19.3) 器高(4.4)	口縁部内外面クロ回転ナ デ	0.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色) N4/0 (灰色)	5%未満	
第117図 147 図版63	下層 B12U A ・ Y C	須恵器 鉢	口径(19.6) 器高(9.9)	口縁部内外面・体部内面・外面上 半部クロ回転ナデ、底部内面ナデ、 体部外面下半部・底部外面ヘラケ ズリ(R)体部外面に沈線1本	白・黒色微粒を含 む	硬	N4/0 (灰色) N3/0 (暗灰色) N8/0 (灰白色)	25%	
第117図 148 図版—	下層 B12V B	須恵器 坏蓋	口径(10.8) 器高(3.9)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部ヘラ切り→ ナデ	1.0mm以下の白・ 黒色粒と4.0mm位 の白色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	20%	
第117図 149 図版58	B12V B ・ W B	須恵器 坏身	口径9.7 器高3.8	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整	緻密	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	65%	
第117図 150 図版—	B12V B	須恵器 高坏	— 器高(5.4)	坏部内面ナデ?脚部内外面 クロ回転ナデ	0.1~2.0mm位の黒 色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	30%	2段3方透 し
第117図 151 図版—	下層 B12V B	須恵器 壺?	口径(11.7) 器高(4.1)	口縁部内外面クロ回転ナ デ	1.0mm以下の白色 砂粒を少量含む	硬	2.5GY7/1(明オリーブ灰色) 2.5GY7/1(明オリーブ灰色) 2.5GY7/1(明オリーブ灰色)	—	

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第117図 152 図版67	B12VB ・WB	須恵器 甕	口径(21.0) 器高(7.9)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕、器面磨 減顯著	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N3/0 (暗灰色)	15%	
第118図 153 図版54	B11UY	須恵器 杯蓋	口径8.9 器高2.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、頂部ヘラ切り→ ヘラケズリ→ナデ	3.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	50%	
第118図 154 図版58	B11UY	須恵器 坏身	口径(9.1) 器高3.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	2.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	外面自然釉 付着
第118図 155 図版58	下層 B11UY	須恵器 坏身	口径(10.1) 器高3.8 底径(6.4)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	3.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	
第118図 156 図版58	B11UY B12VB ・VW	須恵器 坏身	口径12.0 器高3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラケズリ(L)	3.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	5B6/1 (青灰色) 5B5/1 (暗青灰色) N7/0 (灰白色)	50%	外面自然釉 付着
第118図 157 図版64	最上層 B11UY	須恵器 壺	口径8.8 器高7.4	口頸部内外面ロクロ回転ナ デ、頸部内面の一部にヘラ ケズリ	0.5~2.0mm位の白・ 灰色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N5/0 (灰色)	40%	内外面自然 釉付着
第118図 158 図版63	B11UY B12VA	須恵器 壺	口径(16.6) 器高(14.0)	口縁部・体部上半部内外面 ロクロ回転ナデ、体部外面 下半部カキ目、内面ヘラケ ズリ、体部に沈線1本	0.1~3.0mm位の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%未満	
第118図 159 図版62	下層 B11UY B12UA	須恵器 坏身	口径(26.1) 器高6.2	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、底部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ(L)、器面磨減顕 著	3.0mm以下の黒色 砂粒(小石)を含む	硬	10Y7/1 (灰白色) 10Y6/1 (灰白色)	60%	B11UY
第118図 160 図版一	下層 B11UY B12XC	土師器 鉢	口径(26.6) 器高(4.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ?体部内面に 放射状暗文、器面磨減顯著	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	中	5YR6/6 (橙色) 2.5YR6/6 (橙色) 5YR6/6 (橙色)	13%未満	B11UY
第118図 161 図版一	B11UY	土師器 坏	口径(16.2) 器高(4.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面ヘラケズリ→一部ヘ ラミガキ、内面ナデ、内面 に放射状暗文	0.5~1.0mm大の白 色砂粒・黒雲母粒 を含む	中	2.5Y7/3 (浅黄色) 2.5Y7/3 (浅黄色) 2.5Y7/3 (浅黄色)	20%	
第118図 162 図版70	下層 B11UY	土師器 甕	口径(23.2) 器高(8.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(14本/cm)、 内面斜ハケ(4本/cm)→ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒、0.5~3.0 mm大の褐色砂粒を 含む	中	7.5YR7/4(にぶい)橙色 7.5YR5/3(にぶい)褐色 2.5Y8/2 (灰白色)	6%未満	外面スス付 着
第118図 163 図版一	B11UY	土師器 甕	口径16.4 器高(12.9)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部~底部外面縦or斜ハケ(6 本/cm)体部内面ヘラケズリ →ナデ	0.5~2.0mm位の白 色砂粒を多く含む	中	2.5Y8/2 (灰色) 10YR8/3 (灰色) 2.5Y8/2 (灰色)	60%	
第118図 164 図版70	B11UY	土師器 甕	口径(23.8) 器高(9.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(12本/cm)、 内面斜ヘラケズリ、頸部内 面横ハケ(10本/cm)	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色) 7.5YR7/6 (褐色)	13%未満	
第118図 165 図版70	下層 B11UY	土師器 甕	口径(17.8) 器高(7.1)	口縁部内外面ヨコナデ、内 面ヨコナデ→横ハケ(8本/ cm)体部外面斜ハケ(12本/ cm)内面ヘラケズリ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒・赤色粒子 を含む	中	2.5Y7/3 (浅黄色) 2.5Y7/3 (浅黄色) 5YR6/6 (褐色)	5%未満	
第118図 166 図版一	下層 B11UY B17HD	土師器 鉢	口径(28.7) 器高14.6	口縁部内外面ヨコナデ、体 部~底部外面ヘラケズリ? 内面ナデ、器面磨減顯著	3.5mm以下の白・ 黒・褐色粒と赤色 酸化粒を含む	硬	7.5YR8/4 (浅黄褐色) 7.5YR8/4 (浅黄褐色) 5YR6/8 (褐色)	17%	3046-OS と接合 B11UY
第119図 167 図版一	B12WC	須恵器 坏蓋	口径(9.8) 器高3.7	口縁部・体部内外面ヨコナ デ、頂部外面ヘラ切り(R) →ナデ	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	
第119図 168 図版58	B12WC	須恵器 坏身	口径(9.2) 器高3.8	口縁部・体部内外面ヨコナ デ、底部外面ヘラ切り→ヘ ラケズリ(R)	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) 10Y3/2 (オリープ黒色) N8/0 (灰白色)	50%	外面自然釉 付着 歪み顯著
第119図 169 図版一	B12WC	須恵器 平瓶	口径(7.0) 器高(5.3)	口頸部内外面ロクロ回転ナ デ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	10%以下	
第119図 170 図版一	B12WC	須恵器 甕	口径(23.8) 器高(7.2)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ?体部外面タタキ、内面 ナデ?器面磨減顯著	0.5~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	軟	5Y6/1 (灰色) 5Y6/1 (灰色) 5Y6/1 (灰色)	5%未満	

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第119図 171 図版73	B12WC ・XC	土師器 甕	口径(14.2) 器高(10.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(4本/cm)、内 面ヘラケズリ、	2.0mm位の粗い砂 粒を多く含む、赤 色粒子を含む	中	2.5Y8/3 (淡黄色) 5YR4/4 (にぶい赤褐色) 2.5Y8/3 (淡黄色)	25%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第119図 172 図版73	B12WC ・XC	土師器 甕	口径16.0 器高15.7	口縁部内外面ヨコナデ? 体 部外面ナデ、内面ヘラケズ リ、底部外面斜ハケ(8本/ cm)器面磨滅顕著	2.0mm以下の小石、 赤色粒子細砂粒を 多く含む	中	2.5YR8/3 (淡黄色) 2.5YR8/3 (淡黄色) 2.5YR8/3 (淡黄色)	60%	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第119図 173 図版54	B12XC	須恵器 坏蓋 <small>(a)</small>	口径7.0 器高(2.3)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部ヘラケズリ →クロ回転ナデ	細砂粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	90%	つまみ欠 外面自然釉 付着
第119図 174 図版—	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.0) 器高3.2	口縁部・体部内面クロ回 転ナデ、体部外面ヘラケズ リ(R)、頂部外面ヘラ切り (R)→ナデ	3.0mm以下の白・ 黒色粒子を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	40%	
第119図 175 図版53	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.6) 器高3.3	口縁部・体部内面クロ回 転ナデ、体部外面ヘラケズ リ、頂部外面ヘラ切り→ナ デ	2.0~3.0mmの白色 砂粒と赤色砂粒を 含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) 10YR5/2 (灰黄褐色)	50%	
第119図 176 図版53	B12XC	須恵器 坏蓋	口径(10.6) 器高3.3	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部外面ヘラ切 り→ナデ、器面磨滅顕著	2.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	軟	2.5GY7/1 (明オーブ灰) 7.5Y7/1 (灰白色) 7.5Y7/1 (灰白色)	40%	
第119図 177 図版55	B12XC	須恵器 坏身	口径(9.0) 器高2.9	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	0.5mm以下の白・ 黒色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	45%	
第119図 178 図版58	B12XC	須恵器 坏身	口径(10.1) 器高2.8	口縁部・体部内面クロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切り 未調整(R)	2.0mmの以下の白・ 黒砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	35%	
第119図 179 図版59	B12XC	須恵器 坏身	口径(10.7) 器高(3.4)	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整	0.1~1.0mm位の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) 2.5YR5/2 (灰赤色)	30%	口縁部歪み 大
第119図 180 図版59	B12XC	須恵器 坏身	口径(10.0) 器高3.8	口縁部・体部内面クロ回 転ナデ、底部内面ナデ、外 面ヘラ切り→手持ちヘラケ ズリ	2.0~4.0mm以下の 白色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N6/0 (灰色)	60%	底部外面ヘ ラ記号
第119図 181 図版—	B12XC	須恵器 坏身	口径(10.2) 器高3.1	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	0.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	25%	底部外面ヘ ラ記号
第119図 182 図版54	B12XC	須恵器 皿	口径(24.4) 器高4.2	口縁部内外面・底部内面 クロ回転ナデ? 底部外面ヘ ラケズリ? 器面磨滅顕著	0.5~2.5mm大の白 色砂粒を含む	軟	N8/0 (灰白色) N4/0 (灰色) 5Y8/1 (灰白色)	20%	
第119図 183 図版62	B12XC	須恵器 皿	口径25.0 器高5.35	口縁部内外面クロ回 転ナデ、底部内面ナデ、外 面ヘラケズリ(L)底部外面ヘ ラ記号	0.5~1.5mmの白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	65%	口縁部歪み 大 口縁部外面 自然釉付着
第119図 184 図版61	B12XC	須恵器 高坏	口径15.7 器高10.9 底径(10.6)	坏部・脚部内外面クロ回 転ナデ	若干の微砂	硬	N5/0 (灰色) 5B4/1 (暗青灰色) N5/0 (灰色)	70%	
第119図 185 図版71	B12XC	土師器 甕	口径(14.7) 器高8.7	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(14本/cm) 内面ヘラケズリ、頸部内面 横ハケ(16本/cm)	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	10YR4/2 (灰黄褐色) 5YR6/4 (にぶい橙) 2.5YR6/6 (橙)	10%	
第119図 186 図版71	B12XC	土師器 甕	口径(13.1) 器高(6.9)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(14本/cm) 体部外面縦or斜ハケ(10本/ cm)内面ヘラケズリ	0.5~1.0mm大の白・ 褐色砂粒(シャモッ ト?)を含む	中	10YR8/3 (浅黄褐色) 7.5YR7/2 (明褐灰色) 5YR6/6 (橙)	7%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第119図 187 図版71	B12XC	土師器 甕	口径(14.9) 器高(4.8)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(16本/cm) 体部外面縦or斜ハケ(16本/ cm)内面ナデ	0.5~1.5mm大の白・ 褐色砂粒を含む	中	10YR3/3 (暗褐色) 5YR6/3 (にぶい橙) 10YR3/3 (暗褐色)	10%	体部内面オ コケ付着 外面磨滅顕 著
第120図 188 図版53	B12YC	須恵器 坏蓋	口径(11.2) 器高3.8	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部ヘラ切り未 調整(L)	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	70%	
第120図 189 図版—	下層 B12YC	須恵器 坏身	口径(9.7) 器高3.7	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部ヘラ切り→ ナデ	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) N6/0 (灰色)	30%	

挿図 No. 図版	層位 地区	器種 器形	l. h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第120図 190 図版67	下層 B12Y C	須恵器 甕	口径(15.3) 器高(11.8)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	白・黒色微粒を含む	硬	10YR4/1 (褐灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	15%	
第120図 191 図版53	B17 A D	須恵器 坏蓋 <sup>(a)</sup>	口径(10.7) 器高3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、頂部外面ヘラ切 り→一部ヘラケズリ(R)	0.1~2.0mmの白・ 黒色細砂粒を多く 含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	95%	
第120図 192 図版53	B17 A D	須恵器 坏蓋	口径(11.0) 器高(3.6)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、頂部外面ヘラ切 り→ヘラケズリ→ナデ	2.0~4.0mm以下の 白・黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	外面自然釉 付着
第120図 193 図版59	B17 A D ・ B D	須恵器 坏身	口径9.0 器高3.0	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整	0.5~1.5mm大の白・ 黒色粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	55%	内外面自然 釉付着
第120図 194 図版—	B17 A D ・ B D	須恵器 坏身	口径(11.25) 器高(3.6)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(L)	0.1~1.5mm大の白 色粒子を含む	硬	10GY6/1 (緑灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	60%	
第120図 195 図版71	B17 A D	土師器 甕	口径(22.1) 器高(4.5)	口縁部内外面ヨコナデ、頸 部内面ヘラケズリ	0.5~1.0mm大の白・ 灰色砂粒を含む	中	10YR8/2 (灰白色) 10YR7/4 (ぶい黄褐色) 10YR6/6 (明黄褐色)	3%	器面磨滅顕 著
第120図 196 図版73	B17 A D ・ B D ・ C D	土師器 甕	口径(24.6) 器高(8.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(11本/cm)→ 内面横ハケ(11本/cm)→ヘ ラケズリ	0.5~3.0mm大の白・ 灰色砂粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/3 (淡黄色) 2.5Y8/2 (灰白色)	20%	体部外面ス ス・内面オ コゲ付着
第120図 197 図版68	B17 A D	土師器 坏	口径(16.9) 器高5.3	口縁部内外面ヨコナデ、体 部・底部外面ヘラケズリ→ ナデ?内面ナデ、内面に放 射状暗文	0.5以下の細砂粒 を多く含む	硬	5YR6/6 (橙色) 5YR6/6 (橙色) 5YR6/6 (橙色)	25%	器外面磨滅 顕著
第120図 198 図版—	B17 A D ・ B D	土師器 坏	口径(17.3) 器高5.6	口縁部内外面ヨコナデ、体 部・底部外面ヘラケズリ→ ナデ?内面ナデ、内面に放 射状暗文	0.5~3.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	7.5YR7/3 (ぶい橙色) 10YR8/3 (浅黄褐色) 2.5YR6/6 (橙色)	30%	
第120図 199 図版53	B17 B D	須恵器 坏蓋	口径(10.7) 器高2.8	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、頂部ヘラ切り未 調整(R)	2.0~4.0mm以下の 白・黒砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) 7.5Y6/1 (灰色) 5YR8/2 (灰白色)	45%	
第120図 200 図版55	B17 B D	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径8.7 器高2.8	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り(R)→一部ヘラケズリ(R)	1.0~3.0mmの白色 砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	100%	83.6g
第120図 201 図版59	B17 B D	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径9.5 器高3.7	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラケズリ→ナデ	3.0mmの白色粒を 含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	
第120図 202 図版59	B17 B D	須恵器 坏身	口径(9.5) 器高(3.4)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	2.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	2.5GY7/1(明オリーブ灰色) 2.5GY8/1 (灰白色) N8/0 (灰白色)	50%	
第120図 203 図版59	B17 B D	須恵器 坏身 <sup>(a)</sup>	口径9.5 器高3.3	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	2.5mmの灰色粒を 含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	95%	口縁部歪み 顕著
第120図 204 図版59	B17 B D	須恵器 坏身	口径(13.9) 器高(5.5)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラケ ズリ→ナデ	2.0mm以下の白・ 黒色細砂粒を多く 含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N3/0 (暗灰色)	60%	204と 同 個 の 可 能 性 有 り、 底 部 外 面 に 火 罫
第121図 205 図版67	B17 B D ・ X C	須恵器 甕	口径19.6 器高42.0	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0~5.0mm位の白 色砂粒・1.0~4.0 mm位の異色砂粒を 含む	中	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	60%	口縁部内面 ヘラ記号
第121図 206 図版53	B17 C D	須恵器 坏蓋	口径(11.0) 器高3.1	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、頂部ヘラ切り→ ナデ	2.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色)	40%	
第121図 207 図版59	B17 C D	須恵器 坏身	口径(11.3) 器高4.0	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラケズリ(R)	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) 10R4/3 (赤褐色)	50%	
第121図 208 図版63	B17 C D	須恵器 短頸壺	口径4.6 器高7.1	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	緻密	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	底部外面爪 形庄痕

挿図 No. 図版	層地区	器種 器形	1. 法量 h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第121図 209 図版68	B17CD	土師器 坏身	口径10.7 器高3.0	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面ナデ、内面放射状暗 文	0.5~1.5mm大の白・ 黒・赤色砂粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 7.5YR8/3 (浅黄褐色) 5YR7/6 (褐色)	55%	
第121図 210 図版72	B17CD	土師器 甕	口径(21.1) 器高(7.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(9本/cm)、内 面ヘラケズリ?	0.5~3.0mm大の白・ 灰色砂粒と黒雲母 粒も若干含む	中	10YR7/2 (にぶい黄褐色) 10YR6/2 (灰黄褐色) 2.5Y6/6 (明黄褐色)	20%未滿	
第121図 211 図版72	B17CD	土師器 甕	口径(23.4) 器高(12.2)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(8本/cm)、内 面ヘラケズリ、頸部内面横 ハケ(9本/cm)	4.0mm以下の砂粒 を多く含む	硬	5Y8/2 (灰白色) 5Y8/2 (灰白色) 5Y8/2 (灰白色)	15%未滿	
第121図 212 図版73	B17CD	土師器 甕	口径(13.7) 器高11.6	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(10本/cm) 内面ヘラケズリ	1.0mm以下の白色 細砂粒を多く含む	硬	2.5Y8/2 (灰白色) 10YR8/3 (浅黄褐色) 5YR6/3 (にぶい褐色)	40%	外面スス付 着、口縁部 内面吹きこ ぼれ痕跡
第122図 213 図版55	B17DD	須惠器 坏身 <sup>(1)</sup>	口径8.8 器高2.7	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、底部ヘラ切り→ ナデ	2.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N7/0 (灰白色) 2.5GY6/1(オリーブ灰色) N5/0 (灰色)	60%	外面自然釉 厚く付着
第122図 214 図版55	B17DD	須惠器 坏身	口径(9.8) 器高3.0	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、底部ヘラ切り→ ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を多く含む	中	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%未滿	
第122図 215 図版53	B17EE	須惠器 坏蓋	口径(10.0) 器高3.4	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、頂部内面ナデ、 外面ヘラ切り(R)→ナデ	1.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	50%	
第122図 216 図版—	B17EE	須惠器 坏身	口径(12.6) 器高4.95 底径(8.6)	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラケズリ	0.1~2.5mm大の白 色砂粒0.1~0.8mm 大の黒色砂粒を含む	硬	5PB7/1 (明青灰色) N4/0 (灰色) 5R5/1 (赤灰色)	5%	外面自然釉 付着
第122図 217 図版59	B17FE	須惠器 坏身	口径10.8 器高4.0	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	4.0mmの黒色粒を 含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) —	70%	
第122図 218 図版55	B17FE	須惠器 坏身 <sup>(1)</sup>	口径8.7 器高3.1	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	2.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	100%	93.6g
第122図 219 図版63	B17FE	須惠器 壺	口径9.8 器高6.4	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面手持 ヘラケズリ	0.1~2.0mmの白色 砂粒を多く含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	95%	
第122図 220 図版—	B17FE ・GE	須惠器 横瓶	— 器高(20.0)	体部外面タタキ→カキ目、 内面当て具痕	0.5mm以下の白・ 黒色粒を含む	中	10Y8/1 (灰白色) N8/0 (灰白色) 10Y8/1 (灰白色)	20%	
第122図 221 図版—	B17HE	須惠器 坏身	口径(14.3) 器高3.7 底径(5.5)	口縁部・底部内外面ロクロ 回転ナデ	0.1~2.0mm大の白 色砂粒0.1~1.0mm 大の黒色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N4/0 (灰色) N4/0 (灰色)	5%未滿	
第122図 222 図版63	B17HE ・CD・ IF	須惠器 鉢	口径(25.4) 器高17.5	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面ロクロ回転ナデ、 体部外面下半部・底部外面 ヘラケズリ(R)底部内面ナデ	0.5~2.0mm位の白 色砂粒を多く含む	硬	N4/0 (灰色) N6/0 (灰色) —	50%	体部外面浅 い沈線2~4 本、底部外 面ヘラ記号
第122図 223 図版54	上層 B17HF	須惠器 坏蓋	口径(9.0) 器高(2.1)	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、頂部ヘラケズリ →ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	35%	
第123図 224 図版—	B17IF	須惠器 坏蓋	口径(10.2) 器高(1.6)	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、頂部ヘラケズリ	0.1~1.2mm大の白 色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	8%	
第123図 225 図版54	上層 B17IF	須惠器 坏蓋 <sup>(1)</sup>	口径14.1 器高2.2	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、頂部ヘラケズリ (R)	2.0~3.0mm大の白 色粒を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) 5Y7/1 (灰白色) —	95%	外面自然釉 付着
第123図 226 図版54	上層 B17IF	須惠器 坏蓋 <sup>(1)</sup>	口径16.8 器高2.8	口縁部・体内外面ロクロ 回転ナデ、頂部ヘラケズリ (R)	5.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N4/0 (灰色) N7/0 (灰白色) —	95%	
第123図 227 図版—	上層 B17IF	須惠器 坏蓋	口径(18.0) 器高0.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N5/0 (灰色)	15%	



挿図 No. 図版	層位 地区	器種 器形	l. h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第123図 228 図版一	B17 I F	須恵器 壺	口径(12.3) 器高3.2 底径(8.7)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	中	2.5GY7/1 (明オリブ灰色) N7/0 (灰白色) 2.5GY6/1 (オリブ灰色)	25%	
第123図 229 図版一	上層 B17 I F	須恵器 坏身	口径(14.9) 器高4.4 —	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	0.1~1.0mm大の白・ 黒砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N4/0 (灰色)	10%	口唇部面取 り
第123図 230 図版60	B17 I F	須恵器 坏身	口径(17.4) 器高5.0 底径(12.9)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り(R)→一部ロクロ回転ナ デ	2.0~5.0mm以下の 白色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	25%	
第123図 231 図版一	B17 I F	須恵器 長頸壺	— 器高(10.7)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	10%未満	外面自然釉 付着
第123図 232 図版一	B17 I F	須恵器 壺	口径(13.6) 器高(2.1) —	体部内外面・底部外面ロク ロ回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	2%	
第123図 233 図版一	B17 I F	須恵器 壺	— 器高(5.5) 底径(11.3)	体部内外面・底部外面ロク ロ回転ナデ	2.0mm位の白色砂 粒を含む	中	5BG5/1 (青灰色) 5BG4/1 (暗青灰色) 5P4/1 (暗紫灰色)	8%未満	内外面自然 釉付着
第123図 234 図版67	B17 I F ・H F	須恵器 甕	口径(29.1) 器高(10.2) —	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、底部外面タタキ、内面 当て具痕	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	6%未満	口縁部内面・ 体部外面自然 釉付着
第123図 235 図版一	B17 I F	須恵器 甕	口径(29.9) 器高(6.6) —	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ、内面 ナデ	白色微細粒を多く 含む	硬	5B5/1 (青灰色) 5B5/1 (青灰色) 5R6/1 (赤灰色)	3%未満	
第123図 236 図版一	B17 I F	須恵器 甕	— 器高(14.2) 底径(18.4)	体部外面タタキ、内面ヘラ ケズリ→ナデ、底端部内外 面ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	やや 軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	8%未満	器面磨滅顕 著
第123図 237 図版71	B17 I F	土師器 甕	口径(18.8) 器高(4.5) —	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(9本/cm)、内 面ヘラケズリ	0.5~3.0mm大の白色 砂粒、赤色粒子 を多く含む	中	10YR3/2 (黒褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/4 (にぶい赤褐色)	5%未満	外面スス付 着
第123図 238 図版71	B17 I F	土師器 甕	口径(19.6) 器高(5.3) —	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(8本/cm)、内 面ヘラケズリ	0.5~2.0mm大の白 色砂粒・赤色砂粒 を含む	中	7.5YR6/3 (にぶい褐色) 2.5Y7/1 (灰白色) 5YR6/6 (褐色)	8%未満	器面やや磨 滅
第123図 239 図版71	B17 I F	土師器 甕	口径(21.4) 器高(5.0) —	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(4本/cm)、内 面ヘラケズリ、頸部内面横 ハケ(6本/cm)	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/6 (明赤褐色)	6%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第124図 240 図版74	上層 B17 I F	土師器 カマド	— — —	口縁部外面縦or斜ハケ(7本/ cm)、口縁部・体部内面ナ デ、突帯部ヨコナデ	2.0mm以下の白色 粒を多く含み、4. 0mm以下の砂礫・ 赤色粒を少し含む	硬	10YR7/2 (にぶい黄褐色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色) 7.5YR4/6 (褐色)	—	内面灰黄褐 色に変色
第124図 241 図版74	B17 I F	土師器 カマド	— — —	体部外面斜ハケ(7本/cm)、 内面ヘラケズリ→ナデ、突 帯部ヨコナデ	細砂・赤色粒・白 色粒を含む	硬	7.5YR5/6 (明褐色) 7.5YR5/6 (明褐色) 10YR7/4 (にぶい黄褐色)	—	円形? 透し 内面灰黄褐 色に変色
第125図 242 図版一	B17 I F	土師器 皿	口径(17.0) 器高2.4 —	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、底部外面指 頭圧痕	0.5~1.0mm大の白 色砂粒・赤色砂粒 を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色) 5Y6/6 (褐色)	25%	
第125図 243 図版一	B17 I F	土師器 坏	口径(14.4) 器高2.8 —	口縁部外面ヨコナデ、底部 内外面ナデ?	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を多く含む	中	7.5YR6/6 (褐色) 2.5Y7/1 (灰白色) 7.5YR5/4 (にぶい褐色)	15%	器面磨滅顕 著
第125図 244 図版一	上層 B17 I F	土師器 坏	口径(17.9) 器高(3.5) —	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	7.5YR5/2 (灰褐色) 7.5YR4/3 (褐色) 7.5YR5/6 (明褐色)	10%	
第125図 245 図版117	B17 I F	土師器 坏or皿	— — —	内外面ヨコナデ	白色微粒を含む	中	5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR4/6 (赤褐色)	—	墨書土器 「?」
第125図 246 図版54	地区不明	須恵器 坏蓋	口径(7.9) 器高2.4 —	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、頂部外面ヘ ラケズリ(R)	0.1~1.0mm位の灰 色砂粒を多く含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%	

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第125図 247 図版55	最下層 地区不明	須恵器 坏身 <sup>66</sup>	口径8.4 器高2.9	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナデ、体部外面 ヘラケズリ、底部外面ヘラ 切り未調整(R)	2.0mm以下の白・ 黒色細砂粒を多く 含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	95%	器面磨滅顕 著
第125図 248 図版55	最下層 地区不明	須恵器 坏身 <sup>66</sup>	口径9.2 器高3.1	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ 切り→ナデ	3.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N7/0 (灰白色) 2.5GY7/1 (明オリブ灰色) 2.5Y6/1 (黄灰色)	50%	外面自然袖 付着 底部外面ヘ ラ記号
第125図 249 図版59	地区不明	須恵器 坏身	口径(9.1) 器高3.6	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナデ、体部外面 下半部ヘラケズリ(L)、底部 外面ヘラ切り未調整(R)	1.0mm以下の白・ 黒色粒子を多く含 む	硬	10YR6/2 (灰黄褐色) 2.5Y6/1 (黄灰色) 5Y5/1 (灰色)	50%	体部に浅い 沈線2本、 底部外面ヘ ラ記号
第125図 250 図版—	地区不明	須恵器 坏身	口径(9.9) 器高3.1	口縁部内外面・体部内面 クロ回転ナデ、体部外面 下半部ヘラケズリ(L)、底部 外面ヘラ切り未調整	白・黒色粒子を含 む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	15%	
第125図 251 図版60	地区不明	須恵器 坏身	口径9.6 器高3.7	口縁部内外面・体部内外 面クロ回転ナデ、底部外 面手持ヘラケズリ	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰色) N5/0 (灰色) N6/0 (灰色)	50%	内外面自然 袖付着
第125図 252 図版60	地区不明	須恵器 坏身 <sup>(6)</sup>	口径9.0 器高4.6	口縁部内外面・体部内外 面クロ回転ナデ、底部外 面ヘラ切り→ナデ	2.0mm大の白色粒 を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	80%	
第125図 253 図版60	地区不明	須恵器 坏身	口径(10.7) 器高4.6	口縁部内外面・体部内外 面クロ回転ナデ、底部外 面ヘラ切り未調整(L)	2.0~5.0mm以下の 白・黒色砂粒を含 む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	
第125図 254 図版72	地区不明	土師器 甕	口径(32.0) 器高7.8	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(4本/cm) 体部外面斜ハケ(4本/cm)、 内面ヘラケズリ→ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	中	10YR7/2 (にぶい黄褐色) 7.5YR5/3 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色)	5%未満	口縁部外面 スス付着
第125図 255 図版69	地区不明	土師器 甕	口径(19.8) 器高(11.5)	口縁部内外面ヨコナデ?体 部外面ナデ、内面ヘラケ ズリ	0.5~3.0mm大の白・ 灰色砂粒を多く含 む、粗	中	5YR5/6 (明赤褐色) 5YR6/6 (橙色) 2.5YR5/6 (明赤褐色)	10%	口縁部歪み 顕著
第125図 256 図版71	地区不明	土師器 甕	口径(15.4) 器高(8.5)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(7本/cm) 体部外面縦斜ハケ、内面 ナデ→ヘラケズリ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒、1.5~3.0 mm大の褐色砂粒を 含む	中	10YR3/3 (暗褐色) 7.5YR5/3 (にぶい褐色) 2.5YR5/4 (にぶい赤褐色)	8%未満	内面オコゲ・ 吹きこぼれ 痕跡、外面 磨滅顕著
第126図 257 図版53	下層 B11IR	須恵器 坏蓋	口径(11.6) 器高4.9	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、頂部ヘラ切り →ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	
第126図 258 図版60	B11HR	須恵器 坏身	口径(15.2) 器高3.75 底径10.0	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ 切り→クロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	口縁部やや 歪む
第126図 259 図版61	下層 B11IR	須恵器 高坏	器高(4.25) 底径(8.5)	坏部・脚部内外面クロ回 転ナデ	白・黒色砂粒を多 く含む	硬	N8/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	50%	脚部
第126図 260 図版67	上層 B11HR ・IR	須恵器 甕	口径(22.6) 器高(6.9)	口縁部内外面クロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	1.0mm以下の白色 砂粒を少し含み、 密	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) 5R7/1 (明赤灰色)	10%	口縁部内外 面・体部外 面自然袖付 着
第126図 261 図版—	下層 B11IR	土師器 甕	口径(25.2) 器高(7.0)	口縁部内外面ヨコナデ?体 部外面斜ハケ(8本/cm)内 面ヘラケズリ	2.0mm以下の白・ 赤色粒を多く含む	硬	7.5YR6/2 (灰褐色) 7.5YR6/2 (灰褐色) 7.5YR6/3 (にぶい褐色)	3%未満	器面磨滅顕 著
第126図 262 図版51-54	B11MY ・(NY)	須恵器 坏蓋	口径9.4 器高2.6	口縁部内外面クロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ(L)	5.0mm以下の白色 砂粒(1.0mm以下の白 色粒子多)と3.0mm 以下の黒色砂粒を 含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	75%	
第126図 263 図版51-54	B11MY ・(NY)	須恵器 坏蓋	口径(13.2) 器高2.4	口縁部内外面クロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ(L)	7.0mm以下の黒色 砂粒と3.0mm以下 の白色砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N4/0 (灰色) 2.5YR5/4 (にぶい赤褐色)	35%	
第126図 264 図版51-60	B11MY ・(NY)	須恵器 坏身	口径11.6 器高3.7	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部外面ヘラ 切り未調整(R)	1.0mm大以下の白・ 黒色粒を含む	硬	10Y5/1 (灰色) N5/0 (灰色) N8/0 (灰白色)	80%	内面自然袖 付着 口縁部歪み 大
第126図 265 図版51-60	B11(MY) ・NY	須恵器 坏身	口径(16.8) 器高7.05	口縁部・体部内外面クロ 回転ナデ、底部内面ナ デ、外面ヘラ切り→ナ デ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) 5R6/1 (赤灰色)	50%弱	口縁部歪み 大

挿図 No. 図版	層位 区	器種 器形	1. 法量 h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第126図 266 図版61	B11MY ・(NY)	須恵器 高坏	器高(3.0) 底径(8.4)	坏部内面ナデ、脚部内外面 ロクロ回転ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	20%未満	脚部 脚部外面に 火傷
第126図 267 図版54	B11MY ・(NY)	須恵器 坏蓋	口径17.2 器高5.0	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部ヘラケズリ→ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) 5R5/1 (赤灰色)	75%	外面自然釉 付着 内面火傷
第126図 268 図版—	B11MY ・(NY)	須恵器 長頸壺	口径(10.6) 器高(11.2)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頸部に浅い沈線2本	3.0mm以下の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5Y5/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) 5R5/1 (赤灰色)	20%	内外面自然 釉付着
第126図 269 図版51・64	B11(MY) ・NY	須恵器 長頸壺	口径9.4 器高(19.8)	口頸部・体部外面上半部・ 内面ロクロ回転ナデ、体部 外面下半部ヘラケズリ(L)	1.0mm以下の白色 砂粒と1.0~3.0mm の灰色粒(シャモッ ト?)を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	70%	浅い沈線が 頸部2本・ 体部1本
第126図 270 図版—	B11MY ・(NY)	須恵器 甕	口径(21.0) 器高(7.6)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	白・黒色微粒を含 む	中	N4/0 (灰色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	5%未満	
第126図 271 図版51・67	B11MY ・(NY)	須恵器 壺	口径(22.3) 器高23.3	口縁部内外面・体部内面上半部 ロクロ回転ナデ、体部外面上半 部タタキ→ヘラケズリ、下半部 タタキ→カキ目、内面当て具痕、 把手指ナデ	2.0mm以下の白色 粒、1.0~3.0mmの 白色粒(シャモッ ト?)を多く含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N5/0 (灰色)	80%	体部外面ス ス付着
第126図 272 図版—	B11MY ・(NY)	土師器 甕	口径(25.1) 器高(13.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(10本/cm)、 体部内面上半部ナデ→横ハ ケ下半部ヘラケズリ	2.0mm以下の白・ 赤色粒子を含む	硬	10YR7/2 (にぶい黄褐色) 10YR8/2 (灰白色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色)	20%未満	
第126図 273 図版72	B11MY ・(NY)	土師器 甕	口径(16.6) 器高14.5	口縁部内外面ヨコナデ、外面ヨ コナデ→横ハケ(6本/cm)、体部 上半部縦or斜ハケ(9本/cm)下半 部横ハケ(4本/cm)内面ヘラケズ リ	2.0mm以下の砂粒 を含む	硬	10YR7/2 (にぶい黄褐色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色) 10YR5/3 (にぶい黄褐色)	40%	外面スス付着 内面オコグ、 吹きこぼれ痕 跡
第127図 274 図版—	B11MY ・(NY)	須恵器 甕?	器高(10.5) 底径(12.2)	体部外面タタキ→ロクロ回 転ナデ、浅い沈線2本間に 櫛描波状文(5本・L)内面 当て具痕→ロクロ回転ナデ	細砂、白色粒子を 多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰白色)	15%未満	外面自然釉 付着

第 107表 3034-O S 出土遺物観察表

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	法 量 l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第130図 1 図版75	B11JV	須恵器 坏蓋 (B)	口径12.5 器高2.4	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ? 頂部外 面ヘラケズリ	0.5~1.0mm大の白・ 灰色粒を多く含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	60%	器面磨滅顕 著
第130図 2 図版75	下層 B11JV ・KU ・LT・JU	須恵器 坏蓋	口径(13.3) 器高2.25	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.1~0.3mmの白色 微粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰白色) 5YR4/4 (にぶい赤褐色)	40%	
第130図 3 図版—	下層 B11JU ・JY	須恵器 坏蓋	口径(13.4) 器高1.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.5mm以下の白色 粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N7/0 (灰白色) 2.5YR5/4 (にぶい黄褐色)	30%	5041-O X と接合 (B11JY)
第130図 4 図版75	下層 B11JV ・KU	須恵器 坏蓋	口径13.7 器高2.35	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ	白色微粒を含む	軟	5Y8/1 (灰白色) 5Y8/1 (灰白色) 5Y8/1 (灰白色)	80%	器面磨滅顕 著
第130図 5 図版75	B11JV	須恵器 坏蓋 (B)	口径(14.6) 器高(1.7)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラ切り→ヘ ラケズリ→一部ロクロ回転 ナデ	細砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	45%	つまみ欠損
第130図 6 図版75	上層 B11LT	須恵器 坏蓋	口径(15.1) 器高2.4	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	0.1~2.0mm大の白・ 灰色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	25%	
第130図 7 図版75	B11JV	須恵器 坏蓋	口径(17.3) 器高2.3	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	3.0mm大以下の白 色粒を多く含む	硬	N6/1 (灰色) N6/1 (灰色) 7.5R4/1 (暗赤灰色)	60%	外面自然釉 付着
第130図 8 図版75	上層 B11JU ・JV・KU	須恵器 坏蓋	口径18.3 器高3.3	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ(L)	2.5mmの白色粒を 含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	60%	5041-O Xと 接合(B11J U・JV) 口縁部内面自 然釉付着
第130図 9 図版—	B11JV	須恵器 坏蓋 (B)	口径19.4 器高2.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	細砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	80%	5041-O Xと 接合つまみ欠 損口縁部外面 自然釉付着
第130図 10 図版—	上層 B11KU	須恵器 坏蓋	口径13.4 器高0.8	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラ切り→ロ クロ回転ナデ	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N6/0 (灰色)	60%	5041-O Xと 接合(B11K U) つまみ欠損
第130図 11 図版75	B11KU ・KV	須恵器 坏蓋	口径(12.7) 器高1.5	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラ切り→ロ クロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を含み、密	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	30%	
第130図 12 図版75	B11KU	須恵器 坏蓋 (B)	口径(13.1) 器高1.6	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラ切り→ロ クロ回転ナデ	2.5mmの灰色粒を 含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	35%	
第130図 13 図版75	上層 B11KT	須恵器 坏蓋	口径13.4 器高1.7	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラ切り→ロ クロ回転ナデ	良	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	墨書土器 「井家」
第130図 14 図版75	B11KV	須恵器 坏蓋 (B)	口径14.3 器高1.4	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	密	硬	5B4/0 (暗青灰色) 5B4/0 (暗青灰色) 5B4/0 (暗青灰色)	95%	
第130図 15 図版75	B11KU	須恵器 坏蓋 (B)	口径17.9 器高1.8	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	細砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第130図 16 図版75	上層 B11LT	須恵器 坏蓋	口径19.0 器高1.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	2.0mm大の白色粒 と0.1~0.3mm大の 白色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	50%	
第130図 17 図版75	上層 B11JV ・KV	須恵器 坏蓋	口径(21.0) 器高1.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	白色微粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	40%	5041-O Xと 接合、口縁部 外面自然釉付 着転用現?
第130図 18 図版75	下層 B11JW	須恵器 坏蓋	口径(19.9) 器高2.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラケズリ (L)	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N6/0 (灰色)	25%	

挿図 No. 図版	層 地区	器 種 器 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第130図 19 図版76	上層 B11JW	須恵器 皿蓋	口径(27.8) 器高(2.4)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラケズリ (L)	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	中	2.5GY8/1 (灰白色) 2.5GY8/1 (灰白色) 2.5GY8/1 (灰白色)	10%	
第130図 20 図版76	上層 B11KU ・KV	須恵器 皿蓋 (B)	口径(30.2) 器高(3.4)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	細砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%	5041-OXと 同一個体(B 11KV)環状 つまみの可能 性あり
第130図 21 図版76	上層 B11KU	須恵器 皿蓋 (C)	口径(9.4) 器高0.9	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	1.0mm位の黒色砂 粒を少し含む	軟	5Y7/1 (灰白色) 5Y5/1 (灰色) 7.5Y7/1 (灰色)	20%	外面自然釉 付着
第130図 22 図版76	下層 B11JV ・JW	須恵器 皿蓋	口径(7.4) 器高(0.9)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	2.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色) 7.5Y6/1 (灰色)	10%	5041-OXと 接合 外面自然釉付 着
第130図 23 図版76	上層 B11LT	須恵器 坏蓋	口径(13.1) 器高(3.7)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	口縁部外面ヘ ラケズリ 外面自然釉付 着
第130図 24 図版76	B11JU ・FV	須恵器 皿蓋	口径13.3 器高3.6	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部内面ナデ、外面ヘ ラケズリ→ロクロ回転ナデ	白色粒子を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) 10R4/4 (赤褐色)	95%	外面自然釉 付着
第130図 25 図版—	下層 B11JV	須恵器 皿蓋	口径(14.3) 器高(2.6)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、頂部外面ヘラケズリ→ ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白色 粒子を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	10%	外面自然釉 付着
第130図 26 図版76	B11KV ・JU	須恵器 皿	口径(27.4) 器高3.9 底径(18.9)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(L)、底部外面ヘラケ ズリ→一部ロクロ回転ナデ	1.0mm位の白色砂 粒を少し含む	軟	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	5041-OX と接合
第130図 27 図版76	B11JV	須恵器 皿	口径(17.5) 器高1.8	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→一部ロクロ回転ナデ	1.0mm以下の白・ 黒色粒を少し含む	軟	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	90%	
第130図 28 図版76	B11JU ・LT	須恵器 皿	口径(16.9) 器高1.7	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	0.5mm位の白色砂 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) 5PB6/1 (青灰色)	15%	
第130図 29 図版76	上層 B11LT	須恵器 皿	口径(19.8) 器高1.8	口縁部内外面・底部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラ切 り→ヘラケズリ→ロクロ回 転ナデ	緻密	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	転用現? 内面火燻
第130図 30 図版—	上層 B11LT	須恵器 皿	口径(19.5) 器高2.0	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ(R)	白色粒子を含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) 2.5GY7/1 (明オリブ灰色)	18%	転用現? 内面火燻
第131図 31 図版76	B11JV	須恵器 坏身 (B)	口径(12.9) 器高3.5 底径(10.4)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	1.0mm大の茶色粒 を含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	
第131図 32 図版76	上層 B11KU	須恵器 坏身 (B)	口径(12.0) 器高3.6 底径(4.8)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	2.5mmの白色粒を 含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	20%	
第131図 33 図版76	下層 B11JW	須恵器 坏身 (B)	口径(11.4) 器高4.2 底径(9.2)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、体部外面ヘラ切 り(R)→一部ロクロ回転ナ デ	2.0mmの茶色粒を 含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	口縁部外面 自然釉付着
第131図 34 図版76	最下層 B11JW	須恵器 坏身 (B)	口径12.4 器高3.8 底径9.4	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り(R)→一部ロクロ回転ナ デ	2.5mmの白色粒を 含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	60%	
第131図 35 図版77	B11JV	須恵器 坏身 (B)	口径(13.3) 器高4.5 底径8.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、体部外面下半部 の一部ヘラケズリ、底部外 面ヘラ切り→ロクロ回転ナ デ	4.0mmの灰色粒を 含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第131図 36 図版—	B11KU	須恵器 坏身 (B)	口径(13.4) 器高3.8 底径(9.2)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、体部外面下半部 の一部ヘラケズリ、底部外 面ヘラ切り→ロクロ回転ナ デ	1.0mm位の白・褐 色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) 2.5YR5/6 (明褐色)	15%	
第131図 37 図版77	B11JV	須恵器 坏身 (B)	口径14.2 器高4.6 底径8.7	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、体部外面下半部 ヘラケズリ、底部外面ヘラ 切り→ロクロ回転ナデ	0.1~0.5mm大の白 色粒子を含む	軟	7.5Y8/1 (灰白色) 2.5Y8/1 (灰白色) 7.5Y8/1 (灰白色)	75%	器面磨滅顕 著

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	法 量 l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第131図 38 図版一	B11KU	須恵器 坏身 (B)	口径(14.7) 器高3.7 底径9.2	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部ヘラケズリ、 底部外面ヘラ 切り→口縁回転ナデ	細砂粒を1.0mm位 の白色粒を多く含 み、4～5mmの角 礫を含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	25%	
第131図 39 図版77	上層 B11JW	須恵器 坏身 (B)	口径(13.6) 器高4.2 底径(9.6)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部ヘラケズリ、 底部外面ヘラ 切り→口縁回転ナデ	細砂粒を含む	硬	N7/1 (灰白色) N7/1 (灰白色) N7/1 (灰白色)	40%	
第131図 40 図版77	下層 B11KU	須恵器 坏身 (B)	口径14.8 器高4.2 底径10.3	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部内面 ナデ、外面ヘラ切り (R)→一部口 縁回転ナデ	4.0mmの白色粒と 4.5mm褐色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	70%	
第131図 41 図版77	B11KU	須恵器 坏身 (B)	口径15.1 器高4.2 底径10.6	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部内面 ナデ、外面ヘラ切り (R)→口縁 回転ナデ	細砂粒を多く含み 1.0～5.0mmの白色 粒も少し含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第131図 42 図版一	上層 B11LT	須恵器 坏身	口径(16.6) 器高4.8 底径11.8	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部内面 ナデ、外面ヘラ切り (R)→口縁 回転ナデ	1.5mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	70%	
第131図 43 図版77	B11KU ・JU ・KS	須恵器 坏身	口径(16.4) 器高4.7 底径(11.6)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部内面 ナデ、外面ヘラ切り (R)→口縁 回転ナデ	1.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	硬	5B5/1 (青灰色) 5GY5/1 (オリーブ灰色) 5PB6/1 (青灰色)	30%	5041-OXと 接合(B11KS- KU) 外面自然軸付 着
第131図 44 図版77	B11JV	須恵器 坏身	口径(16.4) 器高4.9 底径(11.0)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部の一部ヘラ ケズリ、底部内 面ナデ、外面ヘラ ケズリ→口 縁回転ナデ	1.0mm大の白色粒 を若干含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%	
第131図 45 図版77	下層 B11JV	須恵器 坏身 (B)	口径(16.0) 器高5.3 底径10.7	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部の一部ヘラ ケズリ、底部内 面ナデ、外面ヘラ ケズリ→口 縁回転ナデ	細砂粒を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	
第131図 46 図版77	上層 B11KV	須恵器 坏身	口径(13.2) 器高4.1 底径(9.6)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部外面 ヘラ切り(R)→部 口縁回転ナ デ	3.0mm以下の白色 砂粒(シャモット?) を多く含む、密	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	30%	5041-OXと 接合 器面やや磨 減
第131図 47 図版一	B11JV	須恵器 坏身	口径(13.1) 器高(8.3)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部外面 ヘラ切り→口 縁回転ナデ	1.5mm以下の白色 砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	20%	
第131図 48 図版77	上層 B11KU	須恵器 坏身 (B)	口径(14.0) 器高3.7 底径(9.0)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部外面 ヘラ切り→部 口縁回転ナ デ	1.0mm大の黒色粒 を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	
第131図 49 図版一	B11IW ・JW	須恵器 坏身	口径(14.6) 器高4.0 底径(8.2)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部外面 ヘラ切り→部 口縁回転ナ デ	細砂粒と1.0mm位 の白色粒を多く含 む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	25%	器面やや磨 減
第131図 50 図版77	B11JV	須恵器 坏身	口径(14.8) 器高4.0 底径(11.0)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部外面 ヘラケズリ→口 縁回転ナデ	3.0mmの白色粒と 2.0mmの灰色粒を多 く含む	軟	N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%	器面磨減顕 著
第131図 51 図版77	上層 B11LT	須恵器 坏身	口径(15.0) 器高3.4 底径(10.7)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、底部内面 ナデ、外面ヘラ切り →一部口 縁回転ナデ	1.0mm以下の白色 粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	20%	外面火傷
第131図 52 図版一	B11KU	須恵器 坏身 (B)	口径(14.2) 器高4.2 底径(10.0)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部ヘラケズリ、 底部外面 ヘラ切り→口 縁回転ナデ	4.0mm大の白色粒 を含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	
第131図 53 図版78	B11JV	須恵器 坏身 (B)	口径(16.7) 器高5.4 底径(11.4)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部一部ヘラケ ズリ、底部外面 ヘラ切り→ヘラ ケズリ(L)	白・灰・黒色の細 砂粒を含む	硬	N8/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	40%	口唇部面取 り
第131図 54 図版一	B11JV ・JW	須恵器 坏身	口径(19.1) 器高6.3 底径(13.1)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部一部ヘラケ ズリ、底部外面 ヘラ切り→ヘラ ケズリ	白色細砂粒を多く 含む	硬	N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%	
第131図 55 図版78	下層 B11JV	須恵器 坏身 (B)	口径(19.2) 器高6.6 底径(13.8)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部一部ヘラケ ズリ、底部外面 ヘラ切り→ヘラ ケズリ	1.0～2.0mmの白・ 褐色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) 7.5YR6/6 (褐色)	30%	
第131図 56 図版78	下層 B11JV	須恵器 坏身	口径(19.7) 器高5.5 底径(14.7)	口縁部・体部内外面 口縁ナデ、体部外面 下半部ヘラケズリ →口縁回転ナ デ	白・黒色粒を含む	硬	10Y7/1 (灰白色) N5/0 (灰色) 10Y7/1 (灰白色)	10%	瓦質を呈す る

挿図 No. 図版	層位 地区	器種 器形	l. h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第131図 57 図版—	下層 B11J V ・JW・JU	須恵器 坏身	口径(19.7) 器高5.2 底径14.9	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、体部外面下半部 ヘラケズリ→ロクロ回転ナ デ、底部外面ヘラ切り→ヘ ラケズリ	白・黒色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	30%	5041—OXと 同一個体(B11 JU)
第131図 58 図版78	B11J V ・JW・IW	須恵器 坏身	口径(18.8) 器高(4.1)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、体部外面ヘ ラケズリ(L)→ロクロ回転 ナデ→一部ヘラミガキ	白色微粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	10%	5041—OXと 接合(B11JV) 体部外面浅い 辻線2本
第131図 59 図版78	下層 B11J V	須恵器 坏身	口径(21.5) 器高5.0 底径(17.0)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、体部外面下半部 一部ヘラケズリ、底部外面 ヘラ切り→ヘラケズリ	2.0mm大の白色粒 を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	10%	外面火燻
第132図 60 図版78	上層 B11K U	須恵器 坏身(A)	口径(9.4) 器高3.9	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り未調整(R)	1.0mm大の白色粒 と0.1~0.5mmの白 色粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	
第132図 61 図版78	最下層 B11J W	須恵器 坏身	口径(9.0) 器高4.3	口縁部内外面・体部外面上 半部ロクロ回転ナデ、下半 部ヘラケズリ(R)、底部外 面ヘラ切り未調整(R)	2.0mmの砂粒を含 む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	50%	
第132図 62 図版78	上層 B11L T	須恵器 坏身	口径(11.0) 器高3.7	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	細砂粒を含み、0.5 mm位の白色粒を少 し含む	硬	N6/6 (灰色) N6/6 (灰色) 10R4/4 (赤褐色)	70%	口縁部歪み 大 火ぶくれ
第132図 63 図版78	上層 B11L T	須恵器 坏身	口径(11.0) 器高3.2	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	1.0~2.0mm位の黒 色砂粒、0.5~1.0 mm位の白色砂粒を 含む	硬	N6/0 (灰色) N5/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	40%	
第132図 64 図版79	下層 B11J W	須恵器 坏身(A)	口径(12.7) 器高3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整(R)	細砂粒を少し含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	30%	
第132図 65 図版79	下層 B11J W	須恵器 坏身(A)	口径(13.3) 器高3.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り未調整(R)	細砂粒を0.5mm位 の白色粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N5/0 (灰色)	30%	
第132図 66 図版79	上層 B11L T	須恵器 坏身	口径(13.2) 器高2.9	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整	1.0mm以下の白・ 黒色粒を含む	硬	10BG6/1 (青灰色) 5BG6/1 (青灰色) 10BG6/1 (青灰色)	23%	外面火燻
第132図 67 図版79	下層 B11J W	須恵器 坏身	口径(11.1) 器高3.2	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り→ナデ	細砂粒を少し含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	50%	外面自然釉 付着
第132図 68 図版79	上層 B11K U	須恵器 坏身(A)	口径(12.5) 器高3.3	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ナデ	細砂粒を含む	硬	5PB7/1 (明青灰色) 5PB7/1 (明青灰色) 5PB7/1 (明青灰色)	25%	
第132図 69 図版79	B11J V	須恵器 坏身(A)	口径(11.7) 器高3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り未調整	細砂粒と0.5~1.0 mm位の白・黒色粒 を多く含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色)	40%	器面磨滅顕 著
第132図 70 図版79	下層 B11J W	須恵器 坏身(A)	口径(13.6) 器高3.1	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ナデ	細砂粒を含む	硬	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	20%	
第132図 71 図版—	下層 B11J W	須恵器 坏身(A)	口径(13.0) 器高3.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ナデ	細砂粒を少し含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	15%	5041—OX と接合(B11 JU)
第132図 72 図版79	下層 B11K V	須恵器 坏身(A)	口径(13.6) 器高3.4	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ナデ	3.0mmの白色粒を 含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	45%	内外面火燻
第132図 73 図版79	B11J U	須恵器 坏身(A)	口径(18.1) 器高3.8	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	細砂粒を多く含み、 1.0mm位の白色粒 を少し含む	硬	N4/0 (灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	25%	
第132図 74 図版79	下層 B11J V	須恵器 坏身(A)	口径14.1 器高3.6	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ナデ	細砂粒を少し含む	硬	5PB7/1 (明青灰色) N7/0 (灰白色) 5PB7/1 (明青灰色)	60%	外面自然釉 付着
第132図 75 図版—	B11J V	須恵器 坏身(A)	口径(14.6) 器高3.4	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部内面ナデ、 外面ヘラ切り→板ナデ	細砂粒と1.0mm位 の白色粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N6/0 (灰色)	25%	外面火燻

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 形	法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調	(内 面) (外 面) (断 面)	残 存 率	摘 要
第132図 76 図版79	B11J V	須恵器 坏身 (A)	口径(14.0) 器高3.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ロクロ回転ナデ	細砂粒と1.0mm位 の白色粒を含む	硬	N6/0 N6/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	30%	外面火燻
第132図 77 図版79	下層 B11J V	須恵器 坏身 (A)	口径(14.6) 器高3.2	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラズリ→ナデ	細砂粒を少し含む	硬	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	35%	
第132図 78 図版79	下層 B11L T	須恵器 坏身	口径(18.0) 器高4.5	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ナデ	1.0mm位の白色砂 粒を含む	中	10Y8/1 N6/0 10Y8/1	(灰白色) (灰色) (灰白色)	15%	口唇部面取 り
第132図 79 図版79	B11K U	須恵器 坏身 (A)	口径(18.9) 器高5.0	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ、底部外面ヘラ切 り→一部ナデ	3.5mmの白色粒を 含む	軟	N8/0 N5/0 N8/0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	70%	口唇部面取 り
第132図 80 図版—	下層 B11J V ・K U	須恵器 坏身	器高(2.5)	底部外面ヘラ切り未調整 (R)・内面ナデ	0.5~1.5mm大の白 色砂粒を含む	中	N5/0 N6/0 10R5/2	(灰色) (灰色) (灰赤色)	20%	5041-OXと 接合(B11K U) 底部外面ヘラ 記号
第132図 81 図版82	下層 B11K U ・J V	須恵器 鉢	口径(21.1) 器高(6.1)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N5/0 N4/0 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	8%	
第132図 82 図版80	下層 B11K U ・J V・J U	須恵器 鉢	口径(20.7) 器高(10.2)	口縁部・体部外面ヘラズリ →ロクロ回転ナデ→螺旋 暗文状にヘラミガキ、内面 ロクロ回転ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	N7/0 N7/0 N7/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	10%	5041-OXと 接合(B11J U) 外面火燻 口唇部面取 り
第132図 83 図版80	B11J V	須恵器 鉢	口径(23.4) 器高(11.6)	口縁部・体部外面ヘラズリ →ロクロ回転ナデ→螺旋 暗文状にヘラミガキ、内面 ロクロ回転ナデ	4.0mmの白色粒を 含む	硬	N8/0 N8/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	20%	口唇部面取 り
第132図 84 図版—	B11K U	須恵器 鉢	口径(20.2) 器高(4.4)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ? 体部外面ヘ ラズリ→ロクロ回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	軟	2.5Y7/1 2.5Y7/3 2.5Y7/1	(灰白色) (浅黄色) (灰白色)	8%未満	器面磨滅顕 著
第132図 85 図版80	B11J S ・J V・J W ・K U・K V	須恵器 鉢	口径(19.3) 器高(17.4)	口縁部内外面・体部内面ロ クロ回転ナデ、外面ヘラケ ズリ→ロクロ回転ナデ	0.5~2.0mm位の白 色砂粒を多く含む	中	5Y6/1 5Y5/1 5Y5/1	(灰色) (灰色) (灰色)	50%	5041-OXと 接合(B11J S・ J V)器面磨滅 顕著
第133図 86 図版80	B11J W	須恵器 壺	口径9.6 器高18.3 底径10.9	口頸部内外面・体部外面上 半部・内面ロクロ回転ナデ 体部外面下半部・底部外面 ヘラズリ→ロクロ回転ナ デ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N7/0 N6/0 N7/0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	95%	口頸部内外面・ 肩部外面・底 部内面自然袖 付着
第133図 87 図版80	下層 B11J W	須恵器 長頸壺	口径(9.4) 器高(10.9)	口頸部内外面ロクロ回転ナ デ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 N4/0 N4/0	(灰色) (灰色) (灰色)	25%	内外面自然 袖付着
第133図 88 図版82	下層 B11K U	須恵器 長頸壺	器高(11.0)	頸部内外面ロクロ回転ナデ	0.5~3.0mmの白・ 灰・黒色粒を含む	硬	7.5Y7/1 N7/0 N6/0	(灰白色) (灰白色) (灰色)	5%以下	頸部外面浅い 沈線2未外面 自然袖付着
第133図 89 図版81	B11J V ・L T・K U	須恵器 壺	器高(10.5)	頸部内外面・体部外面上半 部・内面ロクロ回転ナデ、 体部外面下半部ヘラズリ →ロクロ回転ナデ	0.5~2.0mm大の白・ 灰・褐色粒を含む	硬	N4/0 2.5GY4/1 10R4/3	(灰色) (暗オリーブ灰色) (赤褐色)	40%	頸部内外面・ 体部外面上半 部自然袖付着、 P-43
第133図 90 図版81	B11J V ・J W・K U ・K V・L T	須恵器 壺	器高(19.4) 底径(9.9)	頸部内外面・体部外面上半 部・内面ロクロ回転ナデ、 体部外面下半部ヘラズリ →ロクロ回転ナデ、底部外 面ヘラ切り→ナデ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 7.5Y6/1 N6/0	(灰色) (灰色) (灰色)	50%	5041-OXと 接合(B11J W) 外面・頸部・ 底部内面自然 袖付着P-6
第133図 91 図版82	上層 B11J U ・K U	須恵器 短頸壺	口径(12.8) 器高(4.8)	口縁部・体部内外面ロクロ 回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	硬	5B7/1 5B6/1 5B7/1	(明青灰色) (青灰色) (明青灰色)	3%未満	5041-OXと 接合(B11J U) 外面自然袖付 着
第133図 92 図版81	アゼ B11K U ・J U・J W ・J W	須恵器 短頸壺	口径(11.9) 器高(15.2) 底径(13.8)	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面ロクロ回転ナデ、 体部外面下半部ヘラズリ、 底部外面ヘラズリ→ナデ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	2.5YR5/3(にぶい赤褐色) 10BG4/1 (暗青灰色) 5YR5/4 (にぶい赤褐色)		30%	5041-OX と接合(B11 K U)
第133図 93 図版—	B11J V ・J U・K V	須恵器 壺	器高(6.8) 底径12.9	体部外面ヘラズリ→ロクロ 回転ナデ、内面ロクロ回 転ナデ、底部外面ヘラ切 り→ヘラズリ→ロクロ回 転ナデ	0.5~3.0mmの白・ 灰・黒・褐色粒を 含む	硬	N8/0 N8/0 N8/0	(灰白色) (灰白色) (灰白色)	20%	5041-OXと 接合(B11J U・ K V)底部内面 自然袖付着、 P-29
第133図 94 図版81	B11J V ・J W・K V	須恵器 平瓶	器高(10.1) 底径(11.5)	体部外面上半部・内面ロ クロ回転ナデ、体部外面下 半部ヘラズリ→ロクロ回 転ナデ、頸部外面手持ちヘ ラズリ→ナデ	3.0mm以下の白・ 黒色粒を多く含む	中	N7/0 N6/0 N7/0	(灰白色) (灰色) (灰白色)	30%未満	頸部内面・体 部外面上半部 自然袖付着



挿 図 No. 図 版	層 位 区 域	器 種 形	1. 法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調  (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第133図 95 図版82	下層 B11JV ・KU	須恵器 壺	口径(7.8) 器高(3.8)	口縁部内外面・体部外面上 半部・内面ロクロ回転ナデ、 体部外面下半部ヘラケズリ →ロクロ回転ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	硬	7.5Y7/1 (灰白色) N6/0 (灰色) 7.5Y8/1 (灰白色)	10%未満	外面自然釉 付着
第133図 96 図版81	下層 B11JW	須恵器 壺	器高(3.1) 底径(6.4)	体部外面上半部・内面ロク ロ回転ナデ、体部外面下半 部ヘラケズリ→ロクロ回転 ナデ、底部外面ヘラケズリ	0.5mm大の白色砂 粒を含む、黒色粒 を多く含む	硬	N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色) N8/0 (灰白色)	10%未満	外面自然釉 付着
第133図 97 図版一	B11KU	須恵器 壺	器高(4.5) 底径(5.0)	体部内外面ロクロ回転ナデ、 底部外面ヘラ切り→一部ロ クロ回転ナデ	白色微粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N4/0 (灰色)	10%未満	底部外面ヘ ラ記号
第133図 98 図版82	上層 B11JW ・LT	須恵器 高杯	器高(6.6)	坏部内面・脚部内外面ロク ロ回転ナデ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N5/0 (灰色) N5/0 (灰色) N6/0 (灰色)	30%	
第134図 99 図版81	B11JV ・IU・IE ・IT・JS ・JU・KT ・KU・KV ・LT・VY	須恵器 甕	口径(12.6) 器高23.4	口頸部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ、内面 当て具痕→ナデ	1.0~3.0mm位の白・ 黒微粒を含む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	40%	5041-OXと 接合 口頸部内面・ 体部外面上半 部自然釉付着
第134図 100 図版83	上層 B11KU	須恵器 壺	口径(17.0) 器高(3.4)	口頸部内外面ロクロ回転ナ デ	0.5~2.0mmの白・ 灰・褐・黒色粒を 含む	硬	N7/0 (灰白色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	5%	
第134図 101 図版83	上層 B11IW ・JU・JV ・JW	須恵器 壺	口径(23.1) 器高(3.7)	口縁部外面タタキ→ロクロ 回転ナデ、内面ロクロ回転 ナデ	1.0mm大の白色砂 粒を含む	硬	N6/0 (灰色) N6/0 (灰色) N7/0 (灰白色)	3%未満	5041-OXと 接合(B11JU・ JV)口縁部に 沈線1本
第134図 102 図版81	B11JV ・KT・KU LT	須恵器 甕	口径(15.0) 器高(21.0)	口縁部内外面ロクロ回転ナ デ、体部外面タタキ→カキ 目、内面当て具痕	0.1~1.0mm位の白・ 灰色砂粒を多く含 む	中	N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色) N7/0 (灰白色)	60%	5041-OX と接合(B11 KT・LT)
第134図 103 図版83	下層 B11JV	須恵器 甕	器高(5.8)	口頸部外面ロクロ回転ナデ →播磨波状文、内面ロクロ 回転ナデ	0.5~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	N4/0 (灰色) N4/0 (灰色) N4/0 (灰色)	—	5041-OXと 接合 口縁部に凹 線
第135図 104 図版一	B11JV	土師器 坏 (A)	口径(18.2) 器高(2.9)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部外面ヘラケズリ、内面に 斜放射暗文	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	8%未満	108と同個 の可能性あ り、
第135図 105 図版一	B11KU	土師器 坏 (A)	口径(18.3) 器高2.8	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨滅顕著、調整不明	白・赤色粒を含む	軟	2.5Y8/2 (灰白色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色)	10%	
第135図 106 図版一	B11JV	土師器 坏 (A)	口径(18.8) 器高(3.2)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部外面ヘラケズリ	0.1~1.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR8/2 (灰白色)	5%未満	暗文の有無 不明
第135図 107 図版一	B11KU	土師器 坏 (A)	口径(18.8) 器高3.3	口縁部内外面ヨコナデ、底 部外面ヘラケズリ	0.5mm位の白色砂 粒を含む	硬	2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色)	5%未満	暗文の有無 不明
第135図 108 図版83	B11JV	土師器 坏 (A)	口径(20.6) 器高3.3	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ、内面に斜放射暗文	1.0mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 5YR5/3 (にぶい赤褐色) 10YR7/1 (灰白色)	30%	5041-OXと 接合 104と同個 の可能性あ り
第135図 109 図版83	B11JW ・JV	土師器 坏 (A)	口径(21.6) 器高2.9	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ、内面に斜放射暗文	0.1~6.0mm大の白 色砂粒と小石、赤 色粒子を含む	硬	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	12%未満	
第135図 110 図版一	下層 B11JV	土師器 坏 (A)	口径(15.8) 器高3.8	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ	0.5~2.0mm大の白・ 灰・赤色粒を含む	硬	5YR7/6 (褐色) 5YR7/8 (褐色) 7.5YR8/4 (浅黄褐色)	15%	暗文の有無 不明
第135図 111 図版一	B11KV ・JV	土師器 坏 (A)	口径(17.6) 器高3.9	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨滅顕著、調整不明	0.1~1.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	軟	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色) 5Y6/1 (灰色)	10%	口縁部外面 黒斑あり
第135図 112 図版83	B11KV	土師器 坏 (A)	口径(19.9) 器高3.8	口縁部内外面ヨコナデ? 底 部外面ヘラケズリ? 器面磨 滅顕著、調整不明	1.0mm大の白・赤 色粒子を多く含む	中	5YR7/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 2.5Y7/1 (灰白色)	25%	
第135図 113 図版83	上層 B11KU	土師器 坏 (A)	口径(22.3) 器高3.8	口縁部内外面ヨコナデ? 器 面磨滅顕著、調整不明	1.0mm大の白色砂 粒、赤色粒子を含 む	中	7.5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 10YR7/1 (灰白色)	25%	

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調	(内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第135図 114 図版83	下層 B11J V	土師器 坏 (B)	口径16.8 器高3.7 底径12.3	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ、内面に斜放射暗 文	赤・白色粒子微砂 粒を含むが、胎土 はきわめて精せん	硬	2.5YR6/8 2.5YR6/8 2.5YR7/8	(褐色) (褐色) (褐色)	40%	
第135図 115 図版83	B11K U ・J V	土師器 壺	口径(13.4) 器高3.45	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ	0.1~0.5mmの白・ 黒色砂粒を含む	中	10YR3/1 7.5YR4/2 10YR7/1	(黒褐色) (灰褐色) (灰白色)	5%	搬入品? 暗文なし
第135図 116 図版—	B11J V	土師器 壺	口径(16.0) 器高3.55	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR3/3 2.5Y4/1 5YR6/6	(暗褐色) (黄灰色) (褐色)	10%未満	搬入品? 暗文なし
第135図 117 図版—	下層 B11J V	土師器 壺	口径(13.0) 器高3.4	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.5~2.0mmの白・ 褐・黒色粒を含む	硬	7.5YR7/6 5YR7/6 10YR8/4	(褐色) (褐色) (浅黄褐色)	5%	暗文なし
第135図 118 図版—	下層 B11J W	土師器 壺	口径(13.5) 器高4.0	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.1~3.0mm大の白 色砂粒0.1~1.0mm 大の黒・褐色砂粒 を含む	硬	5YR6/6 5YR6/4 10YR7/2	(褐色) (にぶい褐色) (にぶい黄褐色)	5%	暗文なし
第135図 119 図版83	B11J V	土師器 壺	口径(14.3) 器高3.2	口縁部外面ヨコナデ、底部 外面ヘラケズリ→ナデ、内 面器面磨減顕著、調整不明	0.1~2.0mm位の白 色砂粒を含む	軟	10YR7/1 10YR5/1 10YR7/1	(灰白色) (褐灰色) (灰白色)	40%	5041-OX と接合 搬入品?
第135図 120 図版—	B11J V	土師器 壺	口径(14.7) 器高(3.4)	口縁部内外面・底部内面ヨ コナデ、外面ヘラケズリ→ ナデ	0.5mm大の白色砂 粒4.0mm以下の小 石、赤色粒子を含 む	中	10YR3/1 10YR4/1 5YR6/6	(黒褐色) (褐灰色) (褐色)	20%	搬入品? 暗文なし
第135図 121 図版84	B11J V	土師器 壺	口径(14.5) 器高3.2	口縁部内外面ヨコナデ?器 面磨減顕著、調整不明	0.1~1.0mm位の白 色・赤色粒子を含 む	軟	7.5YR7/4 7.5YR7/4 7.5YR7/4	(にぶい褐色) (にぶい褐色) (にぶい褐色)	40%	
第135図 122 図版84	B11K U	土師器 壺	口径(13.9) 器高3.4	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.1~1.0mm位の白・ 灰色砂粒あり	中	5YR6/6 5YR6/6 5YR6/6	(褐色) (褐色) (褐色)	15%	口縁部外面 に黒斑
第135図 123 図版84	B11K V	土師器 壺	口径(16.1) 器高3.5	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ?器面磨減顕著	0.5mm大の白色砂 粒と赤色粒子を含 む	中	5YR3/1 5YR5/4 2.5Y8/1	(黒褐色) (にぶい赤褐色) (灰白色)	10%	搬入品?
第135図 124 図版84	上層 B11L T	土師器 壺	口径(18.0) 器高(3.7)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ	0.1~0.5mm大の白 色粒子、2.0~4.0 mm大の白色の小石 を含む	硬	10YR8/1 5YR7/4 5YR5/6	(灰白色) (にぶい褐色) (明赤褐色)	10%	暗文なし
第135図 125 図版84	上層 B11K U	土師器 皿	口径(14.7) 器高3.8	口縁部内外面ヨコナデ?底 部内面ナデ?外面ヘラケズ リ→ナデ、器面磨減顕著、 調整不明	0.5~4.0mmの白・ 灰・褐・赤色粒を 含む、片岩?を含 む	硬	2.5Y8/4 2.5YR6/8 7.5YR6/6	(淡黄色) (褐色) (褐色)	30%	
第135図 126 図版84	上層 B11L T	土師器 皿	口径(15.0) 器高3.05	口縁部内外面ヨコナデ、内 面ナデ、外面ヘラケズリ→ ナデ、器面磨減顕著	1.0mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR7/2 10YR7/2 5YR6/6	(にぶい黄褐色) (にぶい黄褐色) (褐色)	30%	暗文なし
第135図 127 図版—	下層 B11K U	土師器 皿	口径(15.7) 器高2.1	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、内面斜放射 螺旋状暗文	0.5~2.0mm大の白・ 灰・褐色粒を含む	硬	2.5YR6/8 2.5YR6/8 5YR7/6	(褐色) (褐色) (褐色)	40%	B11J Uと 接合
第135図 128 図版—	下層 B11J V	土師器 皿	口径(16.2) 器高2.5	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ、内面斜放射暗文	1.0mm大の白色砂 粒を含む	中	5YR7/4 2.5YR6/6 2.5YR4/4	(にぶい褐色) (褐色) (にぶい赤褐色)	5%未満	
第135図 129 図版—	下層 B11J W	土師器 皿	口径(16.6) 器高2.9	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ、内面斜放射暗文	0.1~1.0mm大の白・ 黒色粒子を含む	硬	5YR6/4 5YR7/4 7.5YR7/3	(にぶい褐色) (にぶい褐色) (にぶい褐色)	5%	
第135図 130 図版—	上層 B11K T	土師器 皿	口径(20.1) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ	0.5mm大の白色砂 粒、チャート等1.0 mm前後の角ばった 砂粒を含む	中	2.5Y8/2 5YR6/4 5YR5/6	(灰白色) (にぶい褐色) (明赤褐色)	10%	暗文なし?
第135図 131 図版—	下層 B11J V	土師器 皿	口径(21.8) 器高2.8	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ、内面斜放射暗文	0.5~1.5mmの白・ 黒・赤色粒を含む	硬	2.5YR6/8 5YR6/8 5YR5/8	(褐色) (褐色) (明赤褐色)	5%	底部外面に 黒斑
第135図 132 図版84	B11J V	土師器 皿	口径(23.2) 器高3.0	口縁部内外面ヨコナデ、器 面磨減顕著、調整不明	1.0mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5YR6/6 2.5YR7/6 2.5Y5/1	(褐色) (褐色) (黄灰色)	20%	

挿 図 No. 図 版	層 位 区	器 種 形	l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調  (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第135図 133 図版—	B11 J U	土師器 皿	口径(22.0) 器高2.5	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ→ナデ、内面斜放射暗文	白色微粒を少し含 む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 2.5YR/2 (灰白色)	5%未満	
第136図 134 図版—	下層 B11 J V	土師器 皿	口径(23.2) 器高2.1	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ、器面磨減顕著	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5YR/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色) 2.5YR/1 (黄灰色)	5%未満	
第136図 135 図版—	B11 J V	土師器 皿	口径(23.4) 器高(2.3)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ、外面ヘラケズ リ、内面斜放射暗文	0.1~1.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色)	5%未満	
第136図 136 図版84	下層 B11 J W	土師器 皿	口径(29.4) 器高2.6 底径(23.4)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内面ナデ?外面ヘラケズ リ→ナデ、内面斜放射暗文	1.0mm大の白色砂 粒・赤色粒子を含 む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 7.5YR/1 (明褐色)	15%	器面磨減顕 著 外面に黒斑
第136図 137 図版84	上層 B11 L T	土師器 皿	口径(19.2) 器高2.5	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ	0.5mm以下の白色 微粒を多く含む	軟	7.5YR4/2 (灰褐色) 5YR4/2 (灰褐色) 5YR5/6 (明赤褐色)	15%	搬入品? 暗文なし
第136図 138 図版—	上層 B11 L T	土師器 皿	口径(18.1) 器高(2.9)	口縁部内外面ヨコナデ、底 部内外面ナデ、器面磨減顕 著	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含み、黒 雲母粒も含む	中	5YR6/6 (褐色) 2.5YR6/6 (褐色) 5YR5/6 (明赤褐色)	5%	
第136図 139 図版—	下層 B11 J W	土師器 環	器高(4.5) 底径(11.0)	体部内外面ヨコナデ、底部 内外面ナデ、体部外面一部 ヘラミガキ、内面斜放射・ 螺旋状暗文	0.1~0.3mm大の白 色微粒と0.1~0.5 mm大の褐色粒を含 む	硬	2.5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) 5Y4/6 (赤褐色)	5%	
第136図 140 図版84	B11 L T	土師器 皿	口径(13.9) 器高2.6	口縁部内外面ヨコナデ、器 面磨減顕著、調整不明	0.5~3.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	軟	2.5YR8/2 (灰白色) 2.5YR/2 (灰白色) 2.5YR/2 (灰白色)	40%	口唇部2ヶ 所にスス付 着
第136図 141 図版—	B11 L T	土師器 皿	口径(15.5) 器高2.4		赤色(シャモット?) 白色粒子、小石を 含む	中	7.5YR8/3 (浅黄褐色) 10YR7/3 (にぶい黄褐色) 7.5YR8/3 (浅黄褐色)	18%	
第136図 142 図版84	B11 K U	土師器 環蓋	口径(20.4) 器高4.0	口縁部・頂部内外面クロク 回転ナデ	0.5~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を赤色粒 子(シャモット?) を含む	中	2.5YR/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色) 2.5YR/2 (灰白色)	30%未満	頂部外面に 暗文
第136図 143 図版84	上層 B11 J W	土師器 環蓋	器高(1.55)	頂部外面クロク回転ナデ、 内面ナデ	0.1~1.0mm大の白・ 赤褐色粒子を含む	硬	5YR6/4 (にぶい褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%	
第136図 144 図版84	上層 B11 K V	土師器 環蓋	器高(1.45)	頂部外面クロク回転ナデ、 内面ナデ	0.1mm大の白色砂 粒を含む	硬	5YR6/6 (褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%	
第136図 145 図版85	B11 L T	土師器 高環	口径(22.7) 器高(2.1)	口縁部内外面ヨコナデ、内 面ナデ、外面ヘラケズリ→ ナデ、内面に斜放射・螺旋 状暗文	0.5~1.0mm位の白 色砂粒、赤色粒子 を含む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色) N6/0 (灰色)	5%	坏部
第136図 146 図版86	B11 J V ・ K V	土師器 高環	口径(28.6) 器高(2.5)	内面クロク回転ナデ、外面 ヘラケズリ→ナデ、内面に 斜放射・螺旋状暗文、外面 一部ヘラミガキ	0.1~0.5mm位の白 色砂粒を含む	中	5YR6/6 (褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR6/6 (褐色)	10%	坏部
第136図 147 図版86	下層 B11 J W ・ J V	土師器 高環	口径(28.2) 器高(2.1)	口縁部内外面ヨコナデ、内 面ナデ、外面ヘラケズリ→ ナデ?内面に斜放射・螺旋 状暗文	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR5/6 (明赤褐色) 10YR8/3 (浅黄褐色)	4%未満	坏部 B11 J Vと接 合 器面磨減顕著
第136図 148 図版86	B11 J V	土師器 高環	口径(20.3) 器高(1.8)	内面クロク回転ナデ、外面 ヘラケズリ→ナデ、内面に 斜放射暗文、外面一部ヘラ ミガキ	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	2.5YR6/6 (褐色) 2.5YR6/6 (褐色) 10YR8/2 (灰白色)	10%	坏部
第136図 149 図版87	B11 J V	土師器 高環	器高(9.0)	外面ヘラケズリによる面取 り、内面ナデ、粘土紐巻上 痕顕著	0.1~2.0mm大の白 色砂粒、1.0mm大 の赤褐色粒を含む	硬	5YR5/8 (明赤褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR5/4 (にぶい赤褐色)	45%	脚部
第136図 150 図版87	B11 K U	土師器 高環	器高(5.55)	坏部内面ナデ、脚部外面ヘ ラケズリによる面取り、内 面ナデ、裾部内外面ヨコナ デ	0.1~1.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	10YR7/3 (にぶい黄褐色) 7.5YR7/6 (褐色) 2.5YR6/8 (褐色)	25%	脚部
第137図 151 図版88	B11 K V	土師器 甕	口径(16.7) 器高(6.2)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(6本/cm) 内面ヘラケズリ、頸部内面 横ハケ、口唇部面取り	白色細砂を含み、 密	硬	5YR6/1 (褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色)	10%	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	法 量 l. h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面) (外面) (断面)	残 存 率	摘 要
第137図 152 図版87	B11KV ・JV	土師器 甕	口径(14.4) 器高(6.5)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(5本/cm)内面 ナデ?頸部内面横ハケ、口 唇部面取り	0.5~1.0mm位の白 色砂粒を含む	硬	10YR8/3 (浅黄褐色) 5YR6/3 (にぶい褐色) 2.5Y8/2 (灰白色)	5%	器面磨滅顕 著
第137図 153 図版91	B11JV	土師器 甕	口径(16.4) 器高(7.3)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(4本/cm)、内 面ヘラケズリ、口唇部面取 り	0.5~4.0mmの白・ 灰・褐色粒を含む	硬	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR5/6 (明褐色) 5YR6/6 (褐色)	10%	内面オコゲ 痕跡
第137図 154 図版87	B11JV	土師器 甕	口径(16.8) 器高(8.2)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(6本/cm)、 体部外面縦ハケ(5本/cm)、 内面ヘラケズリ、口唇部面 取り	1.0~2.0mmの白・ 灰・褐色粒を含む	硬	10YR4/2 (灰黄褐色) 7.5YR6/8 (褐色) 7.5YR6/8 (褐色)	10%	5041-OXと 接合 体部内面オコ ゲ痕跡
第137図 155 図版88	下層 B11LT	土師器 甕	口径(16.6) 器高(7.2)	口縁部内外面ヨコナデ、外 面斜ハケ(5本/cm)、内面ヘ ラケズリ、頸部内面横ハケ、 口唇部面取り	0.5~3.0mmの白・ 褐・黒・赤色粒を 含む	硬	7.5YR8/4 (浅黄褐色) 7.5YR6/6 (褐色) 7.5YR8/6 (浅黄褐色)	10%以下	外面スス付 着
第137図 156 図版89	B11KV ・JV	土師器 甕	口径(18.1) 器高(10.1)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(8本/cm) 体部外面縦or斜ハケ(4本/ cm)内面ヘラケズリ、口唇 部面取り	0.5mm大の白色砂 粒を含む、4.0mm 大の砂礫を含む	硬	2.5Y8/3 (浅黄色) 7.5YR6/3 (にぶい褐色) 2.5Y8/2 (灰白色)	10%未満	口縁部内面 吹きこぼれ 痕跡
第137図 157 図版89	B11JV	土師器 甕	口径(18.8) 器高(12.0)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(6本/cm)、 体部外面上半部縦ハケ・下 半部横ハケ(6本/cm)内面ヘ ラケズリ、口唇部面取り	0.1~1.0mm位の白 ・黒色砂粒を含む	硬	10YR6/2 (灰黄褐色) 7.5YR7/3 (にぶい褐色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色)	10%	外面スス・体 部内面オコゲ 付着 口縁部内面吹 きこぼれ痕跡
第137図 158 図版89	B11JV ・JU	土師器 甕	口径(27.2) 器高(8.6)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ、体部外 面斜ハケ(5本/cm)、内面ヘ ラケズリ、口唇部面取り	0.5~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色)	5%	5041-OXと 接合(B11JU) 外面スス付着
第137図 159 図版89	B11JW ・JV ・IW	土師器 甕	口径(28.3) 器高(11.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上半部斜ハケ(11本/ cm)下半部横ハケ(8本/cm) 内面ヘラケズリ→ナデ、口 唇部面取り	0.1~1.0mm位の灰・ 黒色砂粒を多く含 む	中	10YR8/2 (灰白色) 5YR7/6 (褐色) 10YR8/2 (灰白色)	10%	体部外面に スス付着
第137図 160 図版87	B11JU ・JV	土師器 甕	口径(27.3) 器高(13.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(5本/cm) 内面ヘラケズリ、口唇部面 取り	0.5~3.0mmの白・ 黒色砂粒を含む	中	10YR8/3 (浅黄褐色) 10YR8/2 (灰白色) 10YR8/2 (灰白色)	20%	5041-OXと 接合(B11JV) 体部外面に黒 斑
第137図 161 図版87	B11JU ・JW ・JV	土師器 甕	口径(28.7) 器高(14.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(6本/cm)、内 面ヘラケズリ、頸部横ハケ (6本/cm)、口唇部面取り	0.1~3.0mm位の白 色砂粒を含む	中	7.5YR7/3 (にぶい褐色) 7.5YR6/4 (にぶい黄褐色) 10YR8/2 (灰白色)	10%	5041-OXと 接合(B11JU) 口縁部外面ス ス付着
第137図 162 図版87	上層 B11LU	土師器 甕	口径(30.8) 器高(11.9)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(9本/cm)、内 面ヘラケズリ→ナデ→一部 ヘラミガキ、口唇部面取り	細砂粒を多く含む	硬	2.5Y6/2 (灰黄色) 2.5Y6/2 (灰黄色) 2.5Y6/2 (灰黄色)	10%	体部外面に スス付着
第138図 163 図版90	B11JV	土師器 甕	口径(14.8) 器高(8.5)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(9本/cm)、 内面ヘラケズリ、口唇部面 取り	1.0mm位の黒色砂 粒を多く含む	硬	7.5YR7/3 (にぶい褐色) 7.5YR6/1 (褐灰色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色)	5%	体部外面に スス付着
第138図 164 図版90	下層 B11JV	土師器 甕	口径(16.0) 器高(5.5)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(6本/cm) 体部外面縦ハケ(6本/cm)内 面ヘラケズリ、口唇部面取 り	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	中	7.5YR4/2 (灰褐色) 7.5YR6/4 (にぶい褐色) 7.5YR5/8 (明褐色)	6%	内面オコゲ 痕跡
第138図 165 図版90	アゼ B11IW ~JV	土師器 甕	口径(16.2) 器高(6.65)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ(8本/cm)→ヨコナデ 体部外面縦or斜ハケ(7本/ cm)内面ヘラケズリ・斜ハ ケ	0.1~1.0mm大の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5YR7/2 (明褐色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色) 10YR8/2 (灰白色)	5%	
第138図 166 図版91	B11JU	土師器 甕	口径(16.2) 器高(5.9)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ(5本/cm)→ヨコナデ 体部外面縦or斜ハケ(5本/ cm)内面ヘラケズリ、口唇 部面取り	0.5~3.0mmの白・ 灰・赤褐色粒を含 む	硬	10YR6/4 (にぶい黄褐色) 10YR6/4 (にぶい黄褐色) 10YR8/4 (浅黄褐色)	5%	
第138図 167 図版91	B11JV	土師器 甕	口径(16.35) 器高(5.5)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(8本/cm)、 内面ヘラケズリ	0.1~0.3mm大の白 色粒と1.0~2.0mm 大の褐色粒を含む	中	7.5YR5/1 (褐灰色) 7.5YR6/3 (にぶい褐色) 7.5YR6/4 (にぶい褐色)	5%	口縁部内面吹 きこぼれ痕跡 P-51
第138図 168 図版88	下層 B11KU	土師器 甕	口径(17.0) 器高(7.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(5本/cm) 内面ヘラケズリ→ナデ、口 唇部面取り	1.0~3.0mmの白・ 灰・黒・赤褐色粒 を含む	硬	7.5YR7/6 (褐色) 5YR7/6 (褐色) 7.5YR7/6 (褐色)	5%	内面オコゲ
第138図 169 図版91	B11JV	土師器 甕	口径(16.8) 器高(6.2)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(8本/cm)内面 ヘラケズリ→ナデ?器面磨 滅顕著	0.1~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	7.5YR8/3 (浅黄褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 2.5Y3/1 (黒褐色)	5%	内面吹きこ ぼれ痕跡
第138図 170 図版88	上層 B11KU	土師器 甕	口径(17.8) 器高(5.15)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(5本/cm)内面 ヘラケズリ、口唇部面取り	0.1~1.5mm大の白 色砂粒を含む	硬	7.5YR5/4 (にぶい褐色) 10YR7/1 (灰白色) 5YR6/6 (褐色)	5%	

挿図 No. 図版	層位 地区	器種 器形	l. h. b.	調整	胎土	焼成	色調 (内面) (外面) (断面)	残存率	摘要
第138図 171 図版90	B11 J V	土師器 甕	口径(18.6) 器高(5.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(15本/cm)、 内面ヘラケズリ、口唇部面 取り	0.1~2.0mm大の白 色砂粒を含む	硬	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 10YR5/2 (灰黄褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色)	5%	外面スス付 着
第138図 172 図版90	B11 J V	土師器 甕	口径(18.7) 器高(7.2)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ→ヨコナデ、体部外 面斜ハケ(6本/cm)、内面ヘ ラケズリ→ナデ? 口唇部面 取り	0.1~2.0mm大の白 色砂粒と7.0mm大 の白・黒色の石を 含む	硬	2.5Y7/3 (浅黄色) 10YR5/4 (にぶい黄褐色) 5YR6/6 (褐色)	7%	内面器面磨滅 顯著 内面吹きこぼ れ痕跡
第138図 173 図版90	B11 J V	土師器 甕	口径(26.0) 器高(7.4)	口縁部外面ヨコナデ、内面 斜ハケ→ヨコナデ、体部外 面斜ハケ(9本/cm)内面斜ハ ケ→ヘラケズリ、口唇部面 取り	2.0mm以下の白色 砂粒を含む	硬	5YR5/8 (明赤褐色) 5YR5/8 (明赤褐色) 5YR5/8 (明赤褐色)	5%未満	
第138図 174 図版90	上層 B11 J W	土師器 甕	口径(26.3) 器高(7.05)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(5本/cm)内面 ナデ? 頸部内面横ハケ(5本/ cm)、口唇部面取り	0.1~1.5mm大の白・ 黒色砂粒を含む	硬	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 10YR8/2 (灰白色)	7%	器面やや磨 滅
第138図 175 図版89	B11 J V ・KV・IW ~JW	土師器 甕	口径(28.1) 器高(8.5)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ→ヨコナデ、体部外 面斜ハケ(7本/cm)内面ヘラ ケズリ→ナデ、頸部内面横 ハケ(6本/cm)口唇部面取り	0.5mm大の白色砂 粒と2.0mm以下の 砂粒を多く含む	中	2.5Y8/3 (淡黄色) 10YR8/3 (浅黄褐色) 2.5Y8/3 (浅黄色)	3%未満	体部外面スス 付着
第138図 176 図版90	B11 J W	土師器 甕	口径(27.5) 器高(8.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(8本/cm)、内 面ヘラケズリ→ナデ、口唇 部面取り	0.5~3.0mm位の白・ 黒色砂粒を多く含 む	中	5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/3 (にぶい褐色) 10YR8/2 (灰白色)	5%	内面オコゲ 付着痕跡
第138図 177 図版89	B11 J V	土師器 甕	口径(26.4) 器高(10.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(6本/cm)内面 ナデ? 口唇部面取り、器面 磨滅顯著	1.0~6.0mm位の白・ 灰・黒色砂石を含 む	中	2.5Y8/3 (淡黄色) 2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色)	5%未満	
第138図 178 図版—	B11 J U ・KV	土師器 甕	口径(27.85) 器高(6.0)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ(5本/cm)→ヨコナデ、 体部外面斜ハケ(13本/cm) 内面ヘラケズリ、口唇部面 取り	0.5~1.0mm大の白 色砂粒を含む	中	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 2.5Y8/2 (灰白色)	3%未満	内面オコゲ 付着痕跡
第138図 179 図版90	上層 B11 J W	土師器 甕	口径(28.0) 器高(8.2)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ→ヨコナデ、体部外 面斜ハケ(8本/cm)、内面ナ デ、指オサエ痕跡、口唇部 面取り	1.0mm大の白・赤 色砂粒を多く含む	中	2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/2 (灰白色) 2.5Y8/1 (灰白色)	3%未満	180と同個 の可能性あり
第138図 180 図版—	B11 J V	土師器 甕	口径(29.0) 器高(6.2)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(7本/cm)、内 面ナデ、指オサエ痕跡、口 唇部面取り	2.0mm以下の白・ 赤色砂粒を含む	中	10YR7/3 (にぶい黄褐色) 10YR7/3 (にぶい黄褐色) 10YR7/3 (にぶい黄褐色)	6%	上層B11 J W と接合 口縁部外面黒 斑
第139図 181 図版93	B11 K V	土師器 甕	口径(13.8) 器高(12.2)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(8本/cm)、 内面ヘラケズリ→ナデ、底 部外面横ハケ(8本/cm)内面 ヘラケズリ	0.1~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	7.5YR7/3 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 2.5YR8/2 (灰白色)	20%	口縁部内面吹 きこぼれ痕跡 底部外面スス 付着 器面やや磨滅
第139図 182 図版87	B11 J V	土師器 甕	口径(16.9) 器高(8.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or横ハケ(7本/cm) 内面ヘラケズリ、頸部内面 横ハケ、口唇部面取り	1.0~4.0mmの白色 砂粒を含む	硬	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR5/2 (灰褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色)	20%	口縁部内面吹 きこぼれ痕跡 体部外面スス 付着
第139図 183 図版93	B11 J V	土師器 甕	口径(17.5) 器高(6.1)	口縁部外面タタキ→内外面 ヨコナデ、体部外面タタキ →縦ハケ(9本/cm)、内面ヘ ラケズリ、口唇部面取り	2.0mm以下の白色 砂粒を含む	軟	7.5YR5/3 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色)	13%	口縁部内面吹 きこぼれ痕跡 体部外面スス・ 内面オコゲ付 着
第139図 184 図版90	上層 B11 J W	土師器 甕	口径(19.8) 器高(6.6)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(5本/cm)、内 面ヘラケズリ、口唇部面取 り→沈線1本	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR6/2 (灰黄褐色) 10YR5/2 (灰黄褐色) 5YR6/4 (にぶい褐色)	5%	第2層、B11 F Rと接合 外面スス付着
第139図 185 図版90	B11 J V	土師器 甕	口径(18.0) 器高(5.9)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(8本/cm)内面 ヘラケズリ、口唇部面取り	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR6/3 (にぶい黄褐色) 10YR5/2 (灰黄褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色)	12%未満	内面オコゲ 付着
第139図 186 図版91	B11 J U	土師器 甕	口径(19.3) 器高(9.55)	口縁部内外面ヨコナデ、内 面横ハケ(5本/cm)→ヨコナ デ、体部外面縦or横ハケ(6 本/cm)内面ヘラケズリ、口 唇部面取り	0.1~2.5mm大の白 色砂粒と黒色砂粒 を含む	中	10YR6/2 (灰黄褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 10YR7/1 (灰白色)	5%	外面スス付 着
第139図 187 図版88・ 120	B11 L U	土師器 甕	口径(22.4) 器高(7.8)	口縁部外面縦ハケ→ヨコナ デ、内面斜ハケ→ヨコナデ、 体部外面縦or横ハケ(4本/ cm)、内面ヘラケズリ、口 唇部面取り	0.1~2.0mm位の白・ 黒色砂粒を含む	中	10YR6/1 (褐灰色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/6 (褐色)	5%未満	体部内面に 植物種子の 圧痕?
第139図 188 図版89	B11 J V	土師器 甕	口径(22.6) 器高(9.6)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ(4本/cm)→ヨコナデ、 体部外面斜ハケ(4本/cm・7 本/cm)内面ナデ、口唇部面 取り	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	10YR4/1 (褐灰色) 2.5Y8/2 (灰白色) 5YR6/6 (褐色)	10%	内面オコゲ 付着痕跡
第139図 189 図版88	B11 K V	土師器 甕	口径(23.8) 器高(7.6)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦ハケ(18本/cm)、 内面ナデ、一部ハケ、口唇 部面取り	1.0mm以下の砂粒 を多く含む	硬	10YR8/1 (灰白色) 10YR8/1 (灰白色) 10YR8/1 (灰白色)	5%未満	

挿 図 No. 図 版	層 位 地 区	器 種 器 形	法 量 h. b.	調 整	胎 土	焼 成	色 調 (内面 外面 断面)	残 存 率	摘 要
第139図 190 図版92	B11JV	土師器 甕	口径(25.8) 器高(6.5)	器面磨減顕著、調整不明	小石を含む	中	10YR8/3 (浅黄褐色) 10YR8/3 (浅黄褐色) 10YR8/1 (灰白色)	4%	
第139図 191 図版88	B11KU	土師器 甕	口径(26.6) 器高(5.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(6本/cm) 内面ヘラケズリ	0.5~3.0mmの白・ 黒色砂粒を含む	中	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 2.5YR8/2 (灰白色)	5%	体部外面ス ス付着
第139図 192 図版91	B11JV	土師器 甕	口径(26.0) 器高(7.4)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ→ヨコナデ、体部外 面斜ハケ(6本/cm)、内面ナ デ、指オサエ痕跡、口唇部 面取り	細砂粒を含む	硬	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 10YR7/4 (にぶい黄褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色)	5%	
第139図 193 図版—	B11JU ・JV	土師器 甕	口径(28.8) 器高(5.8)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(5本/cm) 体部外面縦ハケ(4本/cm)、 内面ヘラケズリ、口唇部面 取り	1.0~3.0mm大の白 色石、0.5mm大の 赤褐色粒を含む	硬	10YR6/2 (灰黄褐色) 10YR7/2 (にぶい黄褐色) 7.5YR5/1 (明褐色)	13%	5041-OX と接合(B11 JU)
第139図 194 図版93	B11JW ・KV	土師器 甕	口径(25.4) 器高(12.6)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ→ヨコナデ、体部外 面斜ハケ(上半部3本/cm下 半部9本/cm)内面ヘラケズ リ→一部ヘラミガキ、口唇 部面取り	細砂粒を多く含む (2.0mm以下)	硬	10YR8/3 (浅黄褐色) 10YR8/3 (浅黄褐色) 10YR8/3 (浅黄褐色)	35%	下層B11JV と接合 体部外面に黒 班有、ス付 着
第139図 195 図版91-93	B11JU	土師器 甕	口径(26.3) 器高(13.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面斜ハケ(7本/cm)、内 面ヘラケズリ→ナデ・斜ハ ケ、口唇部面取り	0.5~4.0mmの白色 砂粒・赤色粒子・ 黒雲母粒を含む	硬	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/3 (にぶい褐色) 10YR8/3 (浅黄褐色)	5%	外面スス付 着
第140図 196 図版88	上層 B11KV	土師器 鍋	口径(26.5) 器高(6.2)	口縁部外面ヨコナデ、内面 横ハケ→ヨコナデ、体部外 面縦or斜ハケ(6本/cm)内面 横ハケ→ヘラケズリ、口唇 部面取り	1.5mm以下の赤褐 色砂粒、2.0mm以 下の黒色砂粒を含 む	中	10YR8/3 (浅黄褐色) 10YR8/4 (浅黄褐色) 10YR8/3 (浅黄褐色)	5%未満	
第140図 197 図版88	B11KV	土師器 鍋	口径(27.0) 器高(6.3)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面縦or斜ハケ(8本/cm) 内面斜ハケ(8本/cm)、口唇 部面取り	1.0mm以下の白・ 赤色砂粒を含み、 密	硬	7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色)	5%未満	
第140図 198 図版—	上層 B11JW	土師器 鍋	口径(27.8) 器高(7.5)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上半部斜ハケ(6本/ cm)、下半部横ハケ(12本/ cm)、内面横ハケ(6本/cm)、 口唇部面取り	1.0mm以下の白色 砂粒を含む	中	5YR7/3 (にぶい褐色) 5YR6/1 (褐灰色) 5YR7/3 (にぶい褐色)	4%未満	
第140図 199 図版92	下層 B11JV	土師器 鍋	口径(30.1) 器高(7.5)	口縁部外面ヨコナデ、内面 ヨコナデ→横ハケ(6本/cm) 体部外面縦ハケ(7本/cm)内 面斜ハケ→ヘラケズリ、口 唇部面取り	2.0mm以下の黒色 砂粒を含む	中	7.5YR7/3 (にぶい褐色) 7.5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR8/2 (灰白色)	6%	
第140図 200 図版92	B11JV	土師器 鍋	口径(30.6) 器高(8.0)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上半部斜ハケ(7本/ cm)下半部横ハケ、内面横 ハケ(7本/cm)、口唇部面取 り	2.0mm位の赤褐色 粒と1.0mm以下の 白色粒子・黒雲母 粒を含む	中	5YR7/3 (にぶい褐色) 5YR7/4 (にぶい褐色) 7.5YR8/3 (浅黄褐色)	2%	
第140図 201 図版88	上層 B11LU	土師器 甕	口径(15.4) 器高(7.4)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ? 器面磨減顕 著、口唇部面取り	2.0mm以下の白色 砂粒を多く含む	中	7.5YR7/2 (明褐色) 7.5YR7/2 (明褐色) 2.5YR6/8 (褐色)	10%未満	
第140図 202 図版88	上層 B11LU	土師器 甕	口径(19.8) 器高(4.1)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、口唇部面取 り	4.0mm以下の白色 粒を含む	硬	7.5YR4/2 (灰褐色) 7.5YR4/2 (灰褐色) 2.5YR5/8 (明赤褐色)	6%未満	外面スス付 着
第140図 203 図版93	B11JV ・JU	土師器 甕	口径(19.0) 器高(6.7)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ、口唇部面取 り	0.5~3.0mmの白・ 灰・褐色粒を多く 含む	硬	7.5YR4/4 (褐色) 5YR6/8 (褐色) 5YR6/8 (褐色)	20%以下	5041-OXと 接合(B11JU) 内面オコゲ付 着痕跡
第140図 204 図版92	B11JV	土師器 甕	口径(16.8) 器高(6.25)	口縁部内外面ヨコナデ? 体 部内外面ナデ? 器面磨減顕 著	0.5~5.5mmの白・ 灰・褐色粒を含む	中	5YR5/4 (にぶい赤褐色) 5YR6/6 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%	
第140図 205 図版92	B11JV	土師器 甕	口径(17.0) 器高(6.95)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部内外面ナデ	0.5~3.0mmの白・ 灰・褐・黒色粒を 含む	硬	5YR6/6 (褐色) 5YR6/8 (褐色) 5YR6/6 (褐色)	5%以下	
第140図 206 図版92	B11JV	土師器 甕	口径(23.1) 器高(5.1)	口縁部内外面ヨコナデ? 口 唇部面取り、器面磨減顕著、 調整不明	1.5mm以下の白・ 赤褐色砂粒を含む	やや 軟	7.5YR8/4 (浅黄褐色) 7.5YR8/6 (浅黄褐色) 7.5YR8/4 (浅黄褐色)	6%	
第140図 207 図版—	B11JV	土師器 甕	口径(24.6) 器高(5.6)	口縁部内外面ヨコナデ? 体 部外面斜ハケ(9本/cm)内面 ヘラケズリ、頸部内面横ハ ケ(6本/cm)、口唇部面取り	0.5mm大の白色砂 粒を含む	中	2.5YR8/1 (灰白色) 2.5YR8/2 (灰白色) 2.5YR8/1 (灰白色)	4%	器面磨減顕 著
第140図 208 図版93	B11JV ・JU	土師器 鉢	口径(22.1) 器高(10.3)	口縁部内外面ヨコナデ、体 部外面上半部斜ハケ(6本/ cm)下半部横ハケ(8本/cm)、 内面横or斜ハケ(3本/cm)、 口唇部面取り	白色細砂粒を多く 含む	硬	7.5YR3/1 (黒褐色) 7.5YR3/1 (黒褐色) 10YR4/2 (灰黄褐色)	50%	5041-OX と接合(B11 JU)